

# RAKUNO GAKUEN UNIVERSITY



北の大地で  
「好きか」  
をき  
た  
ち  
に



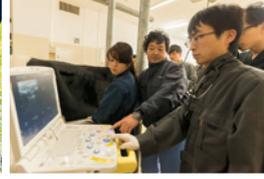
酪農学園大学  
公式サイト



RAKUNO GAKUEN UNIVERSITY  
酪農学園大学



# 北の大地で「好き」をかたちに



大学って、何をするとところだろう？  
みんなが行くから、行くところ？ 就職のための通過点？

## 自分の「好き」をかたちにするとところ

- 私たち酪農学園大学は、そう考えています。
- それを次の5学類で追求し、日々実践しています。
- 「持続性のあるバランスの取れた農業」を目指す **循環農学類**
- 「食のスペシャリストと管理栄養士」を目指す **食と健康学類**
- 「環境と調和・共生する社会」を目指す **環境共生学類**
- 「臨床から先端研究までを視野に入れた獣医師」を目指す **獣医学類**
- 「高度化する獣医療をサポートするスペシャリスト」を目指す **獣医保健看護学類**

人間は好きなことに打ち込む時に、全力を傾けて努力します。  
そして目標を達成した時に、深い喜びを感じます。  
あなたが自分の「好き」に打ち込んで、人格の形成という「かたち」に結びつけ  
人生を切り開いていくことを  
酪農学園大学のすべての教職員は全力で応援します。





## CONTENTS

- 3 になりたい自分になれる大学
- 5 高校生のやりたいを応援します
- 11 酪農学園大学で学ぶことで  
あなたの好きをかたちにできる理由
- 25 建学の精神
- 26 学長メッセージ
- 27 教育基本方針
- 29 学群・学類紹介
- 31 農食環境学群 **循環農学類**
- 41 農食環境学群 **食と健康学類**
- 51 農食環境学群 **環境共生学類**
- 59 獣医学群 **獣医学類**
- 69 獣医学群 **獣医保健看護学類**
- 77 国際交流
- 79 酪農学園大学大学院
- 80 酪農学園大学で教員を目指す
- 81 キャリアサポート
- 86 CAMPUS LIFE  
キャンパス  
部活動 クラブ・サークル  
暮らし
- 95 オープンキャンパス
- 97 キャンパスマップ

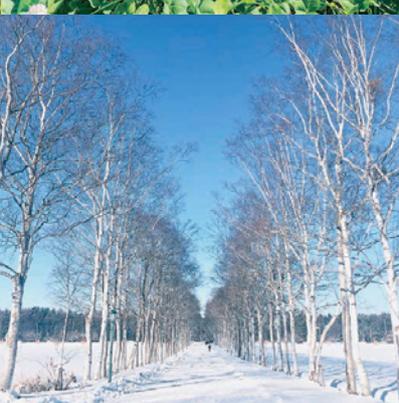


# なりたい自分になれる大学

---

酪農学園大学は、北海道らしい雄大な自然あふれる環境で、  
学生たちが伸び伸びと将来なりたい自分への第一歩を踏み出しています。  
キャンパスの雰囲気を肌で感じて、これからはじまる大学生活を想像してみてください。

酪農学園大学はなりたい自分になれる大学です。





# 高校生の やりたいを 応援 します

「農業がしたい」

「牛や馬と暮らしたい」

「森の中で勉強したい」

「チーズをつくりたい」

「動物を助けたい」

やりたいことがあるのは素晴らしいこと。

酪農学園大学は、ここでしかできない  
学びの宝庫です。

**リケジヨ**も**ノケジヨ**もたくさんいます。

同じ「好き」を持った人たちと

「やりたいこと」にどっぷり浸かってみると  
きっとあなたの「なりたい」がつかめます。





# 01 牛の飼料研究から 乳業メーカーへ

私は家の近くに牧場がある環境で育ち、そのためか牛も牛乳も大好きです。進学先も「牛が近くにいる」本学を迷わず選びました。1年生で初めて搾乳を体験し、「カワイイ」から「生産動物として扱うことの難しさ」を実感。また牛乳の官能試験で、味の違いが飼料に由来することを知り、卒論で牛の飼料研究に取り組みました。

研究テーマは「飼料の大きさ」。干し草、サイレーシ、トウモロコシなどをふるいに掛け大・中・小極小にわけて、乳牛のエサとして与えたのち、一定の時間を置いてから食べ残した割合を調べたり、経過時間を変えて食べ残しがどう変化するか

を調べました。エサの刻み方を変えると、食へ方にも変化が現れ、それが乳質にも影響します。同じエサでも与え方で、乳質が変わることが分かったのです。

就職先は乳業メーカーのタカナシ乳業に決まりました。面接で「有機牛乳はどことよりもおいしい」と自信を持って話せたことが、良かったのかもしれない。好きな牛乳への情熱が、自然にじみ出ていたと思いますので(笑)。仕事では営業職を希望しています。タカナシ乳業の牛乳



の良さを、多くの人に伝えたいです。

農業や牛が好きの人にとって、ここできできない勉強、実習がたくさんあり、充実した学生生活が送れます。私は3・4年生の時は学内の牛舎で、搾乳や掃除などのアルバイトをしていました。サークルは中小家畜研究会で豚・羊・鶏・ヤギの世話や羊の繁殖、毛刈り、肉の販売もしました。農業にとっぷり浸かることができる4年間、かけがえのない時間です。



「高校生の私」



農食環境学群  
循環農学類 4年  
家畜栄養学研究室

**清野 一葉さん**

東京学館新潟高校  
出身



# 02 ひまわり油の特産化に手ごたえ

私は高校時代に農業と食品関係や6次産業化に興味を持ち、本学に入学しました。食品企画開発研究室では、北竜町との共同研究でひまわり油を使った商品開発をしております、願いが叶いました。

研究テーマは「北竜町ひまわりオイル特産化プロジェクト」。3年生の時に北竜町役場、農家、食用油メーカー、学生の4者が共同して、ひまわりの圃場計画、植え付け、生育、収穫まで手作業で行いました。社会人との関わりがなかった私にとって、このプロジェクトでコミュニケーションが取れたことも、勉強になりました。

ひまわりの種は収穫時期によって、含まれる油量・水分量が異なります。いつでもという状態がベストなのか、2年間かけて分析しています。まだ結果は出ていませんが、種の成熟具合でいうと、ガクが開いた頃だと推測しています。また、殻つきそのまま搾油するのが一般的ですが、種を脱穀して焙煎し、絞ると、甘みのあるナッツ系の香り豊かなオイルが取れることもわかりました。今後は後輩に分析結果を追求してもらい、北竜町の特産品として

「生絞りひまわり油」を広めると共に、これを生かした料理方法も提案して欲しいと願っています。卒業後の就職先は敷島製パンです。製造部門で技術や知識を身につけ、いつかは商品開発の仕事をしてみたいと思っています。

本学は農業や食べることに関わりたい人にとって、充実した環境が整っています。企業との共同研究やフィールドワークも多く、早くから社会とつながった研究ができるのも魅力です。今は明確な目標がなくても、入学してからやりたいことが見つかる選択肢の広い大学です。



「高校生の私！」



農食環境学群  
食と健康学類 4年  
食品企画開発研究室

長澤 恵さん

福島県立郡山高校  
出身





# 03 モンゴル遊牧民の 行動調査から新たな夢へ

季節ごとに生活の場を変えて暮らすモンゴルの遊牧民のことが知りたくて、彼らの行動調査を行いました。実際にモンゴルまで出向き、2017年8月には草原で暮らす遊牧民たちに、2018年2月には首都ウランバートルで暮らす元遊牧民たちにアンケートを実施。そこで分かったことは、広大な自然の中で伸び伸びと暮らせる環境、スマートフォンやSNSなどがないゆえの生きたコミュニケーションによる良好な親子関係の構築など、草原で暮らす遊牧民たちの方が幸福度の高い生活を送っているということがわかりました。

しかし、その一方で、長い遊牧生活による教育・情報格差により、遊牧民になる以



外の選択肢がない、夢を持っていない子どもたちがいるという現実も判明しました。この研究をきっかけに、教育を受けられない・情報量の少ない環境で暮らす子どもたち



をサポートするような場をつくりたいと思うようになり、卒業後は青年海外協力隊(JICA)の一員となって海外で活動するという目標ができました。具体的には、2年の海外活動を経て帰国したら、実家のある栃木県に戻り、子どもから大人まで、さまざまな人たちが集える場をつくりたいと考えています。年齢、性別、立場、国籍、障がいの有無など一切関係なく、そこに来れば誰もが一人のヒトとして関わりが持て、社会とつながれるコミュニティを創造するという、人生をかけた大きな目標に向けて邁進していきたいです。

具体的には、2年の海外活動を経て帰国したら、実家のある栃木県に戻り、子どもから大人まで、さまざまな人たちが集える場をつくりたいと考えています。年齢、性別、立場、国籍、障がいの有無など一切関係なく、そこに来れば誰もが一人のヒトとして関わりが持て、社会とつながれるコミュニティを創造するという、人生をかけた大きな目標に向けて邁進していきたいです。

「高校生の私」



農食環境学群  
環境共生学類 4年  
環境リモートセンシング研究室

**篠原 優衣さん**

宇都宮文星  
女子高校出身



# 04 未解明の 乳房炎原因菌を研究

私は獣医師になりたいと入学しました。最初は「動物のお医者さん」が目標でしたが、生産動物実習で学生一人に牛一頭あてがわれるという恵まれた環境で学ぶうちに、「違う道もある」と確信。現在は病理の分野にも目を向けるようになりました。

私の研究テーマは乳房炎の原因菌の1つ、ストレプトコッカス・ウベリスです。この菌による乳房炎は重篤にはなりづらいのですが、抗生物質では治りにくく、かつ再発しやすいやっかいなもの。まだ研究が少ないため、牛の体の中で何が起きているのか、解明したいと思っています。そうすれば、薬やワクチンなど、治療法の開発に結び付きます。

現在取り組んでいるのは、主に2つ。1つは牛の血から白血球を分離し、 $\gamma$ - $\text{IFN}$ という白血球のシグナルとなるサイトカインを出す遺伝子や、白血球の数機能の変化を調べる。もう1つは、乳汁から乳腺上皮細胞を分離し、その変化を追跡すること。これは乳汁を合成する細胞ですが、培養すること自体が難しく、最近やっと成功しました。これから何が

分かるのか、ワクワクしています。

牛のいる環境で「好き」を追求した結果、今にたどり着きました。本学だからこそ見つけられた道であり、卒業後も大学院で研究を続け、研究者になりたいと思います。

親元を離れて暮らす学生が多いので、友人関係が濃く、勉強もご飯もイベントも、みんな一緒。また、やりたいことは行動次第で、何でもできます。自分の可能性を信じて、新しいチャレンジへの扉を開けてください。

「高校生の私」



獣医学群  
獣医学類 5年  
獣医衛生学ユニット  
**渡辺 麗奈さん**  
日本女子大学附属高校  
出身





# 05 動物リハビリの資格を目指して



私は高校時代、愛犬がヘルニアになって歩けなくなった時に、動物リハビリの存在を知ったことがきっかけで、本学に入学しました。1年生の時には実習で牛など大型動物と触れ合い、循環農法を体験できたのは、他大学にはない経験だと思えます。3年生の冬には動物看護師とペット栄養管理士の資格を取り、4年生の夏にはインディアナ州パデュー大学に2週間留学し、附属動物病院のさまざまな診療科を周り実習をさせていただきました。その中にリハビリテーション科もあり、「CCRP」取得動物看護師の方に指導していただく場面もありました。

行方アメリカの認定資格です。その資格取得が現在の目標です。パデュー大学での実習は本当に楽しく、またCCRPとして働くイメージもできました。将来、アメリカで本格的に学び、CCRPの技術を日本で普及させることに役立ちたいと思っています。

リハビリの魅力は、動物が頑張って改善していけること。ゼミ活動では、大学附属病院で脳障害の後遺症として起立できなかった犬のリハビリをしています。少しずつ改善していくプロセスを見ることができ印象的でした。就職にあたっては5つの動物病院に各5日間インターンシップ



「高校生の私」



獣医学群  
獣医保健看護学類 4年  
動物理学療法研究室

**矢部 真彩さん**

滋賀県立守山高校  
出身

プで実習させていただき、名古屋の動物病院に決めました。ここではCCRPの症例研究もさせてもらえます。

本学は、動物看護師だけでなく、家畜人工授精師、薬品やドッグフードといった動物関連企業などさまざまな道があります。学びながらやりたいことが探せるので、「動物が好き」から将来の可能性を広げられます。





# 本場・北海道での体験があなたを変える

学外農場実習 北海道の各地にある酪農、畜産、畑作などさまざまな農家に学生が1〜2人ずつ泊まり込んでお世話になりながら、農作業と農家生活、地域の文化などを体験します。

はまなか  
浜中町

酪農家の実際の暮らし、  
牛との関わり方に感動！

学外農場実習  
循環農学類 3年

大城 萌乃果さん  
静岡県／浜松日体高校出身



私は小学生の時から牧場に興味があり、大学1年生の10日間実習だけでは物足りず、2年生では4カ月間の長期にわたる「実践酪農学実習」で、放牧を取り入れている牧場にお世話になりました。朝5時から夜までエサやり、搾乳、牛舎掃除、牛出し・牛入れなどびっしり作業をしました。酪農家の実際の暮らし、さまざまな性格の牛との接し方、40牛乳（乳脂肪分4.0%以上で通常より濃厚な牛乳）を生産するための飼育のこだわり、そして農家と乳業メーカーの交流など、現地でし



か体験できないことが盛りだくさんでした。  
新規就農を目指して、40〜50頭の牛が幸せに暮らせる牧場を営みたいと思っています。



標茶町  
●(約347km)

浜中町  
●(約386km)





おおぞら  
大空町

**農業を見る目が  
変わる体験！**

学外農場実習  
循環農学類 2年  
西片 かりんさん  
新潟県 / 新潟県立巻総合高校出身

私は高校生の時に参加した「サマーアグリキャンプ」(酪農学園大学の学生が主体となって、夏休み中に高校生と1週間農家体験をするというもの)がきっかけとなり、本学へ進学を決めました。

2年生で参加した「実践農学実習」では、女満別の畑作農家さんにお世話になりました。期間は9月1日からの20日間。朝6時30分には畑に向かいます。私が主に担当したのはジャガイモの収穫。機械に乗り込んで、土から掘り出されたジャガイモの大きさを確認して、選別をします。

こうした体験から農業を見る目が変わり、時間をかけて粘り強く最後まで頑張る仕事のやり方に感動しました。



環境共生学類  
狩猟管理学研究室  
伊吾田 宏正 准教授

環境共生学類では3年次に西興部村において、2泊3日の実習を行います。西興部村は村面積の約89%が森林で野生動物が多く生息しています。また、鳥獣保護法に基づく猟区としてエゾシカのハンティングが盛んです。本学はこの村と地域総合交流協定を結んでおり、学生たちは人と自然との共生について現場で学ぶことができます。冬期にはシカ猟に同行し、シカの解体やビームライフル・模擬銃を用いた射撃訓練、山スキーの実習も行います。



にしおこっぺ  
西興部村

**農食環境学群 環境共生学類  
野生動物保全技術実習**



P11~14で紹介している実習先

※市町村名の後ろの( )内の距離は本学から各市町村役場までの距離です。



酪農学園大学で学ぶことで

あなたの好きをかたちにできる理由



# 北海道の大自然が あなたを成長させるキャンパス

うらほろ  
浦幌町

農食環境学群 環境共生学類  
野生動物生態学研究室のフィールドワーク

環境共生学類  
野生動物生態学研究室  
佐藤 喜和 教授



ため、専門的な知識と技術をも身につけた人材が求められています。

そのためには、キャンパス内の座学や実習だけでなく、ヒグマの暮らす森を地形図とコンパスを片手に歩き、野生動物の痕跡を見分け、生態や動向を調査する方法を身につける必要があります。私たちは北海道十勝地方の浦幌町を調査研究拠点に、3年次から4年次にかけて各自がテーマを設定して卒業研究に挑みます。クマの生態や行動や個体群動態、森林や人の営みとの関係、そして人との共生に向けた課題の解決など、テーマは多岐にわたります。得られた成果は、大学内だけでなく、報告会などを通じて地域にも還元します。豊富なフィールドワークを通じて、野生動物の問題とその解決は人の課題であることを実感しながら、問題解決に貢献できる人材になるための一歩を踏み出します。



ヒグマの爪あと



定点カメラ設置

北海道の豊かな自然を象徴する野生動物、ヒグマ。最大で400kgを超える大型哺乳類が、今日もこの北の大地で悠々と暮らしています。一方で、農地に出没して作物を荒らしたり、市街地に出没して住民の安全を脅かしたり、稀に人身事故を起こしたりするのも事実です。後世までヒグマが暮らしている環境を守りつつ、人の暮らしとのトラブルを減らす



山の実り調査



シラルト口湖



しべち茶町  
標茶町

農食環境学群 環境共生学類  
環境地球化学研究室のフィールド観測（釧路湿原）

環境共生学類  
環境地球化学研究室

吉田 磨 教授

自然と、人の生活を守るため、私の研究室では「グローバル」な視点で活動しています。これは、地球規模で物事を考えつつ、地域に根付いて活動するという意味です。

環境の急激な変化と生物多様性の喪失は、地域でも地球規模でも起こっている大きな課題です。近年では自然災害リスクとの関連も指摘されています。環境変

化の原因は何か、どうすれば元の自然の姿に戻せるのか、そんな研究を「環境のお医者さん」になつて解き明かしていきます。

ここに紹介する釧路湿原は日本最大の湿原です。国際的に重要な湿地を保全するラムサール条約に国内で最初に登録されました。湿原の中にあるシラルト口湖には、天然記念物として阿寒湖で有名なマリモもかつては生息していました。水環境の激変で今では生息を確認されていません。また釧路湿原全体の面積も減り、そこに繁茂する植物相も変化しています。

自然環境保全と持続可能な産業の共生を目指して、北海道のさまざまな研究フィールドにおいて教育を展開している私の研究室では、キャンプ用テントに泊まりながら2、3日かけて「環境の診断」を行います。早朝5時、学生たちはベースキャンプとなっているテントから観測現場に向かいます。時には朝霧の中ヘッドライトを灯して黙々と機材を準備します。東京ドーム38個分もの面積をほこるシラルト口湖にボートを浮かべて、北海道の大自然を感じる景色をご褒美に、今日も学生たちとフィールド観測は続きます。

えにわ  
恵庭市

獣医学群 獣医学類  
生産動物医療アドバンスドコース、  
生産動物医療クリニカルローテーションおよび  
酪農学園大学附属動物医療センター通常診療

獣医学類  
生産動物内科学IIユニット

安藤 達哉 准教授

毎朝7時。酪農学園大学附属動物医療センターでは、生産動物医療分野に所属する学生たちによる入院および提供畜への診療活動が始まります。患者の温かみ、息遣い、食欲や活気、そして昨日とは違う声なき訴えを感じ取る心の対話は真剣です。そして、「製品を消費者に届ける生産者とその原料をつくり出す牛たちが居る臨床現場でもっと痺れる勉強がしたい」の思いを叶えるために舞台は生産農場へ移ります。

医療センターでは、2018年度春から恵庭市において酪農業（経産牛頭数120頭、育成牛頭数100頭）を営む生産農場での、すべての獣医業務を請け負う試みを開始しました。人工授精、受精卵移植および定期繁殖検診、疾病牛への処診療や外科的手術および蹄病等への処



置、乳房炎、周産期病、そして子牛の呼吸器疾患などへの予防対策と、受け持つ業務は多岐にわたります。所属する学生は練習ではない真剣勝負に日々挑みます。診る、聴く、触る。直腸、尿、乳汁、血液そして糞便検査。超音波やレントゲンを使用した診断と治療。学生は現場の獣医療に触れながら獣医師とはどうあるべきかを体感します。第六感まで研ぎ澄ます貴重な時間と日々向き合い、生命の前に学びの終わりはありません。

# 最新設備の附属動物医療センターで 専門性の高い診療が学べる



伴侶動物エリア

処置室



待合室



画像診断室



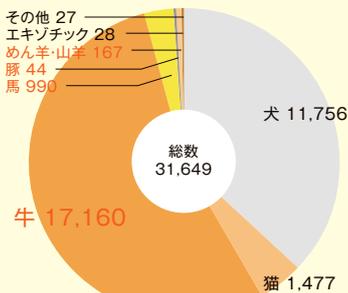
生産動物エリア

牛手術室



CT検査室

■2017年度診療動物内訳(件数)



生産動物の多さは、  
北海道の大学ならではの!

キャンパス内に設置されている附属動物医療センターは日本一の診療件数を誇り、年間の診療件数は犬や猫などの伴侶動物で約13、000件、牛や馬などの生産動物で約18、000件を数えます。附属動物医療センターでは、本学獣医学類および獣医保健看護学類すべての学生に先進的な獣医療を含む実践的な獣医臨床教育を実施。伴侶動物医療部門には、内科・外科・循環器科・神経科・腫瘍科・眼科・リハビリテーション科、診療支援部門には、画像診断科・麻酔科・集中治療科などの診療科があり、臨床実習では専門性の高い診療と日本で最高レベルの動物のためのチーム医療に触れることができます。生産動物医療部門では、専用の入院棟と臨床実習棟で、生産現場に近い臨床実習を展開しています。また他にも、環境汚染物質・感染病原体分析監視センター、野生動物医学センターなどがあり、2017年には、獣医系大学初の動物用医薬品の開発業務受託機関である「動物薬教育研究センター」を開設しました。施設規模は全国の獣医師養成大学の中で最大規模を誇ります。

## TOPICS

### 手術室映像記録 配信システムを導入

2018年10月に手術室映像記録システム(カメラ、ディスプレイ、PC等)を、臨床ローテーションなど学生の臨床教育の充実を目的に、附属動物医療センターに設置しました。手

術室(小動物手術室5つと大動物手術室2つ)で実施される外科手術の様子と麻酔モニター画面を記録し、その映像を同センターに併設された臨床獣医学教育研究棟3階のvetOSCE室へ配信して、大勢の学生が同時に手術見学できるシステムです。



7つの手術室が映し出される



手術見学できるvetOSCE室



手術室



眼科診察室



1.5テスラMRI



診察室



待合室



犬の眼底写真



リハビリテーション室



入院棟



手術室



開放的なサロン



食品加工実習室で製品づくり。自分でつくったものは格別においしい

酪農学園大学  
だからできる、  
プロフェッショナルな  
製品づくり

# 「食」のエキスパートに 実習を通して、本物の

## 食と健康学類 食品加工実習室

ソーセージやハム、ベーコンなどの製造工程を深く学べる本格的な実験実習設備を完備。ここで製造される製品は、「酪農学園大学ブランド」として、学内の生協にて委託販売しています。原料から販売まで、食に対する理解を体系的に深めることができます。



ロースハムの糸巻き作業



くん煙後のベーコン。食欲をそそる香りがただよ



酪農学園大学ブランドの肉製品



スモークハウスに入れてじっくりいぶす



ミートチョッパーで肉を挽く作業



オリジナルバターは大学生協で委託販売しています



バターを缶に詰める作業



オリジナル牛乳の製造ライン

**食と健康学類  
乳製品製造実験実習室**

キャンパス内の乳牛から搾った新鮮な生乳を使って、牛乳やチーズ、バター、アイスクリームなどの本格的な乳製品づくりを学べます。ここでつくられた乳製品は、食品加工実習室の製品と同様に、「酪農学園大学ブランド」として学内でも人気です。



白カビの生育を待つ若いカンパベルチーズ



酪農学園大学ブランドの牛乳・乳製品



熟成中のゴーダチーズ  
うま味がどんどん増していきます



フリーザーから出てきたアイスクリーム



アイスクリームをカップに詰めていく作業



「酪農」「肉畜」  
「作物」の3分野で  
より高度で実践的な  
学びができます

酪農学園フィールド教育研究センター

# 現場に強い 実践力が身につく

広大なキャンパスには、酪農・肉畜・作物に関する3つの農業生産ステーションを備えています。  
ここで搾乳、肥育、栽培などの実務をしっかりと経験。各分野で強い実践力が育まれます。  
酪農学園大学ならではの規模と専門的な設備は、あなたの「好き」と「やりたい」にしっかり応えます。





## 酪農生産ステーション

キャンパス内にある牛舎で  
日々乳牛の飼育に取り組める。

3つの異なるシステムの牛舎があり、循環農法型により約180頭の乳牛を飼育しています。フリーストール牛舎は

牛が自由に行動・採食できます。自動搾乳システム牛舎は人の手をかけずにロボットで搾乳します。繋ぎ飼い牛舎は1頭1頭の牛をしっかりと管理しながら飼育することができ、このように、さまざまな酪農形態を学ぶことが可能です。

また、草地・飼料畑はキャンパス内に牧歌的な景観を見せられています。

### DATA

<b>【土地】</b>	
牧草地	48.5ha
デントコーン	18.1ha
放牧地	1.4ha
<b>【主な施設】</b>	
フリーストール牛舎	1,474.4㎡
繋ぎ飼い牛舎	550.8㎡
自動搾乳システム牛舎	518.4㎡
育成牛舎	498.9㎡
搾乳棟	754.1㎡
バンカーサイロ	1,062.5㎡
乳牛(ホルスタイン種、ジャージー種)	





# 肉畜生産ステーション

## 肉畜の飼育・生産・ 医療・出荷まで学ぶ

約80頭の黒毛和種や日本短角種がいる肉牛の畜舎と、めん羊、豚、鶏など中小家畜の畜舎群の2力所の農場があります。飼料設計から日々の世話まで学生が交代で行い、肉牛では低コスト飼料で最高等級のA5を獲得。肉牛の共進会にも積極的に出品し、好成績を収めています。その他の生産動物においても繁殖から出荷して肉になるまでの一連の流れを体験でき、看護を含めた動物医療の学びの場として活用されています。



肉用牛共進会に出品

### DATA

<b>【土地】</b>	
採草・牧草地	66.9ha
<b>【主な施設】</b>	
肉牛牛舎	1,678.3㎡(80頭)
豚舎	904.2㎡(100頭)
鶏舎	498.9㎡(ケージ:400羽・平飼い:450羽)
羊舎	419.5㎡(20頭)
多目的倉庫	396.9㎡
肉牛(黒毛和種、日本短角種)	
豚(交雑種母豚(主にLW種*)、種雄豚(デュロック種)、肥育豚(主にLWD種*))	
羊(サフォーク種、テクセル種)	
鶏(白色レグホン、ロードアイランドレッド、烏骨鶏、アローカナ)	
※Wは大ヨークシャ種、Lはランドレース種、Dはデュロック種	



学生が飼育を行っている



ここで生まれた子豚たち



鶏舎はケージ飼いと平飼いの両方がある





作物を栽培する圃場は、本学ならではの広さ

4棟のガラス温室は、温度や日射量などを計測し、自動で栽培環境を制御できます。冬場でも水稲などの作物の栽培が可能ですので、1年を通して栽培や育種に関する研究、作物の病害虫防除の研究ができます。ビニールハウスでは、トマトやアスパラガスなどの野菜やカーネーションなどの花きの栽培研究が行われています。露地圃場では、ダイズやムギ類など畑作物の栽培が行われ、さまざまな教育・研究に活用されています。

## 作物生産ステーション

先進的な施設、広大な畑を活用して、  
品種改良から生理生態、病害虫管理を学ぶ



気温や風、雨を感じて自動で制御するガラス温室

### DATA

<b>【土地】</b>	
露地栽培露地圃場	13,618㎡
園芸作物露地圃場	1,040㎡
展示圃場	691㎡
畑作物露地圃場	3,840㎡
サンプル採集圃場(作物病理学用)	139㎡
<b>【主な施設】</b>	
実習棟	1,257㎡
ビニールハウス	1,759㎡
花きガラス温室	331㎡
野菜ガラス温室	331㎡
作物ガラス温室	331㎡
作物保護ガラス温室	331㎡



花きの栽培や研究方法を学ぶ





基盤教育

つながりの大切さを学ぶ  
「生きる力」をつける

学びの  
流れ

1年次  
基盤教育

2年次  
専門基礎  
教育

3年次  
専門教育

1年次に全員が受ける「基盤教育」は、高校までの受動的な学びから大学の主体的な学びへと姿勢を変える大事なプロセスです。全国から集まった仲間たちと協同する中でチームワークの大切さを知り、学生の自主性を促す幅広い学習によって自ら課題を乗り越える力を身につけます。それは2年次以降の専門基礎教育および専門教育に進んだ時、そして社会に出た時にも、柔軟な心を持って何事もあきらめることなく進んでいける力「人間力」として生かされます。

POINT  
03

学ぶこと、生きるための  
基礎を教えます

POINT  
02

全学類の教員が  
授業を行います

POINT  
01

1年生全員が  
同じ授業を受けます



バターづくり

畑づくりや搾乳体験、  
文学や経済学など、五感全部を使って  
「つながり」の大切さを知る。  
この一年で、キミは何を得て、  
どれだけ成長するだろうか。

製造実習ではバターをつくります。生クリームをペットボトルに入れて振り続けること約10分。なめらかな黄金色のバターができます。



採卵

採卵を収集しながら、産んでいない鶏をチェックしたり、個々の様子を観察したり。卵はその場でゆでいただけます。

ミッションは放牧されている牛をつかまえて牛舎に連れてくること。



牛追



座学

酪農学園大学の建学の精神を知ること大事な学び。さらに、文学や経済学などの人文・社会科学から生物学、化学などの自然科学まで、さまざまな領域を学ぶ。単に知識を得るだけでなく、グループ発表をしたり、論理的思考方法を習得することで、学びの姿勢を身につけます。

インテリジェント牛舎で搾乳体験。初めて牛に触れる学生も多く、ミルクを取りつけるのは緊張の瞬間です。実習後に牛乳をいただけます。



搾乳

## 授業科目区分

### 酪農学園教育

建学の歴史などについて理解を深め、農場実習や酪農体験を行うことで、知識だけでなく体感を交えながら未来まで受け継がれる酪農学園大学の理念と思想を身につけます。

### 導入教育

グループ単位で作物を育てる基礎演習により、学問に必要な研究から発表まで全工程を経験。また、各学類の全体像を把握する概論では、専門教育に進む前に取り組む姿勢と考える力を養います。

### キャリア教育

2年次から、学外の企業・団体・行政機関などでの実習、またはその実習に行くための準備を行います。学生のうちから社会と接することで、将来の進路にしっかり向き合うことができます。

### 人文社会科学教育

### 自然科学教育

### 情報教育

### 外国語教育

### 保健体育教育

### 乳牛体格測定



酪農生産ステーションで乳牛の扱い方を学びます。主要な部位を覚えたら、協力しながら体格測定と体格審査をします。

### 基礎ゼミ農園



入学するとチームが生まれ、畑が割り当てられます。植える野菜は自分たちで決めることができ、収穫まで共同で作業を行います。農業高校出身の学生など経験者はリーダーとして活躍しています。



### 収穫



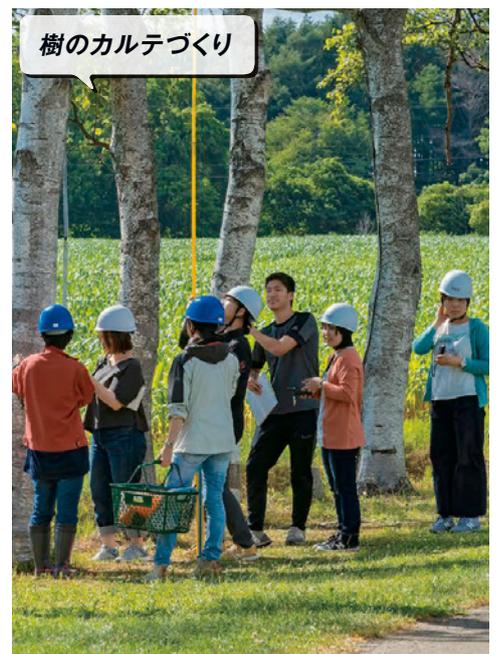
春に植えたジャガイモを収穫。ゴロゴロとれるので、みんな夢中になって掘ります。収穫の喜びを初めて味わう学生もいます。

### 寄生虫の標本観察



牛など家畜の消化管から検出された寄生虫の標本を観察。

### 樹のカルテづくり



キャンパス内の樹木の大きさを1本ずつ調べ、木の成長量とそれに伴う二酸化炭素の吸収量を記録しています。

### 収穫感謝祭



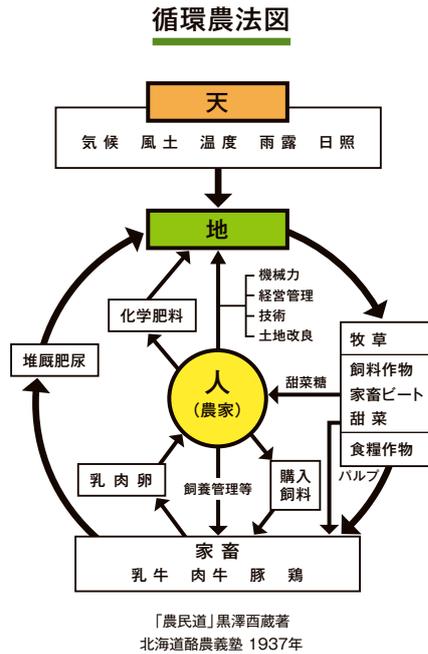
学生たちが育てた作物が実りの秋を迎えたら収穫祭が開催されます。グループごとに作物栽培の取り組みを報告するポスター発表を行い、優秀なチームは表彰されます。



創立者 黒澤 西蔵(くろさわ とりそう)

1885(明治18)年茨城県久慈郡世矢村(現常陸太田市)に生まれる。20歳で北海道に渡り、牧夫になる。以後、96歳までの生涯をかけて酪農の振興に尽力し、農民のための会社を立ち上げ、農民のための学校をつくった。その業績から、日本酪農の父と呼ばれる。

# 酪農学園大学は、一人の青年の熱い想いから始まった。



田中正造との出会いが思想の原点

茨城の貧しい農家に生まれた西蔵は、14歳で学業を志して東京に出ました。住み込みの仕事しながら学校に通うなか、16歳の時に足尾銅毒事件で田中正造氏を知り、その正義感と人間愛に感銘を受けます。この出会いが西蔵の生を決定づけました。田中正造氏は、人間にとって国土がいかに大切かを語り、「**健土健民**」を理想とする西蔵の思想の根がつくられたのです。鉱毒によって田畑を汚染され、健康を損なった農民救済のため西蔵は「青年行動隊」の結成を図りましたが、被害救済をめぐる世論が広がっていたとただに、官憲は彼を極端に警戒しました。「反対運動よりも示談が得策だ」とする農民を説得しようとしたところ、西蔵は逮捕投獄され、6カ月間の未決拘留の後、無罪の判

決が下されました。しかしこの獄中での聖書との出会いが、その後の人生に大きな影響を与えました。

健土健民

「健やかな土地から生み出される健やかな食物によって健やかな生命が育まれる」、この理念は本学の前身「北海道酪農義塾」から脈々と受け継がれてきた実学教育の核をなすものです。

北海道に渡り、酪農の発展に尽くす

田中正造氏の援助によって学業を修めていた西蔵でしたが、母の死を契機に貧しい弟妹を守るため、20歳で北海道に渡りました。宇都宮牧場の宇都宮仙太郎氏から牛飼いは「役人に頭をさげなくてもよい」「牛が相手だからウソをつかなくてもよい」「牛乳は人々を健康にする」という酪農三得を教わり、西蔵は「生を酪農に捧げる決心をします。1909(明治42)年に牛1頭を借りて念願の酪農自営を果たしました。事業にまい進するなかで北海道畜牛研究会を結成し、生乳が

酪農学園大学は創立時から変わらぬ想いを受け継いでいます。それは一人の青年が生涯をかけた使命感から生まれたもの。そして北海道の酪農の振興と歩みを同じくするもの。創立者 黒澤西蔵の軌跡のなかには、本学に息づく建学の精神があります。

余って酪農家たちが危機に立たされた時には、酪農家自らが製品をつくって売る北海道製酪販売組合、現在の雪印メグミルクを立ち上げました。こうして北海道酪農のリーダーとなった西蔵は、寒地農業に必要なのは酪農を軸とした「**循環農法**」でなければならないとの思いを強くします。

循環農法

「地下資源には限りがある。しかし土の寿命は尽きることがない。その生命力を育てれば無尽蔵の資源となる」「農業とは天地人の合作によって、人間の生命の糧を生み出す聖業である」ことから人と自然が共生し、物質やエネルギーが循環するシステムをつくる思想。「循環農法」は「健土健民」思想の実践といえます。

すべては農民教育のために

「人が育たなければ、酪農が育つわけがない」、酪農家の組織化運動のなかで教育の必要性を実感した西蔵は、1933(昭和8)年に酪農学園大学の前身である北海道酪農義塾を開校します。不毛の大地を酪農によって沃野に変えたテンマークを手本とし、建学の精神をキリスト教の聖書からとった「**三愛精神**」としました。当時は全寮制で学生は農場の一員となり働きながら学ぶ実践学を徹底。卒業生たちは地元へ帰って酪農のモデル経営者として活躍するなど、酪農の発展に貢献しました。

三愛精神

本学の人間教育は、神を愛し、人を愛し、土を愛す、「三愛精神」に基づきます。「神を愛する」とは普く人になろうと努力すること、「人を愛する」とは互いの違いを受け入れて生かすこと、「土を愛する」とは大地を健康に育てること。この3つの愛が合わさって初めて、健やかな人と大地が生まれます。

未来へ受け継がれる想い

2020年に酪農学園大学は60周年を迎えます。時代とともに学びの分野が酪農から農業や食品、獣医、自然環境まで広がりましたが、その根本に流れる思想は「貫して変わっていません」。「健土健民」の理念のもと「人ひとりの個性を磨き、身につけた知識や技術を社会で活かす力を育む「**実学教育**」を実践。酪農を通じて人の真の豊かさを追い求めた西蔵の想いは、今もこれからも生き続けていきます。

実学教育

単に実用的であるというのではなく、実際の経験を積みこむことでどんな変化にも対応できる力をつけ、本質を見極めながら未来を切り拓いていける人材を育てることが本学の「実学教育」です。



酪農義塾農場(札幌村三角 1935年)

# 学生は宝の原石。磨き、磨かれ、人間性と専門性を深めてください。

酪農学園大学 学長 竹花 一成

私は、酪農学園大学に入学以来、大学生、大学院生から教員へと44年間にわたって在籍してきました。私自身を大きく成長させてくれた母校の学長となり、先人たちの本学創立の想いを引き継ぎ伝えていくことが責務と強く感じています。

本学は、キリスト教の教えに基づいた三愛精神のもと、人格形成を行っています。その柱は隣人愛であり、誰もが持つているものです。本学で学んだ学生たちには、それぞれの地域へ帰り、また、新しい場所へ行くつても、その地の中核となり自分の器で周囲を幸せにする人になってほしいと思っています。

農業・食・環境・生命の各分野

で現場に即した専門性の高い教育が本学の特徴ですが、教育とは学生を決まった色に染めるのではなく、学生が元々持っているものを磨きあげることです。いわば、学生は宝の原石。「学問とは不完全な学生と不完全な教師との共同作業」と言われた先人の言葉どおり、人間に完成形はなく、その都度新しい発見があり成長します。大学は、皆さんに「出会いの場」を提供しま

す。教員や友人をはじめ、色々な人と出会い、時にはぶつかり合うことでお互いに人間性と専門性を磨きあってください。それが、「人間力」です。

教員は様々な情報を専門家の立場で与えますが、そこから何を選ぶのかは皆さん次第です。本学は、柔軟な思考を持ち、自分で物事を判断できる「のびしろのある人間」を育ててきました。のびしろとは、色々な形になれるということです。そのためには多くの経験を積む必要があります。人は、ゼロからできることは何もありません。失敗と反省があつてこそ、自分のものとして生きる糧ができ、その上に初めて新しいものをつくり出せるのです。本学の実学教育はここからきています。なんでもやってみることに、知識だけでなく現場で体験すること「知行合一」が可能性を広げる力になります。

また、心に余裕がないと、考えも硬直してしまいます。のびしろには潤いも必要です。その環境が本学にはあります。ここに来たら、耳を澄ませなくても自然に風の音が聞こえます。その静寂を十分に楽しんでください。広大なキャンパスでは、身も心も解放されます。エゾリスなど野生の動植物に癒やされることもあるでしょう。北海道ならではの恵まれた環境で、皆さんがやりたいことにどんどんチャレンジしてください。

## 沿革

1998(平成10)年	酪農学園大学環境システム学部経営環境学科及び地域環境学科を開設 北海道文理科短期大学を酪農学園大学短期大学部に校名変更及び酪農科を酪農学科に学科名変更	1981(昭和56)年	酪農学園大学大学院獣医学研究科獣医学専攻(博士課程)を開設 酪農学園大学大学院酪農学研究科酪農学専攻(修士課程)を開設	1933(昭和8)年	北海道酪農義塾開設
2001(平成13)年	酪農学園大学酪農学部食品科学科に食品科学専攻と健康栄養専攻(管理栄養士)の2専攻を開設	1984(昭和59)年	三愛女子高等学校英語コースを開設 酪農学園機械農高等学校を酪農学園大学附属高等学校に校名変更	1942(昭和17)年	野幌機農学校開設
2003(平成15)年	酪農学園大学大学院酪農学研究科食品栄養科学専攻(修士課程及び博士課程)を開設	1985(昭和60)年	酪農学園短期大学を北海道文理科短期大学に校名変更 北海道文理科短期大学教養学科を開設(1999(平成11)年12月に廃止)	1948(昭和23)年	学制改革により野幌機農学校を野幌機農高等学校に校名変更 野幌高等酪農学校(通信教育)開設(1991(平成3)年3月に廃止)
2011(平成23)年	酪農学園大学農食環境学群循環農学類・食と健康学類・環境共生学類及び獣医学群獣医学類・獣医保健看護学類を開設(酪農学部・獣医学部及び環境システム学部を改組) 酪農学園大学短期大学部募集停止(2012(平成24)年10月に廃止)	1988(昭和63)年	酪農学園大学酪農学部食品科学科を開設 三愛女子高等学校とわの森三愛高等学校(共学)に校名変更	1949(昭和24)年	酪農学園大学部(各種学校)を開設(1950(昭和25)年3月に廃止)
2015(平成27)年	酪農学園大学大学院獣医学研究科獣医保健看護学専攻(修士課程)を開設	1990(平成2)年	北海道文理科短期大学経営情報学科を開設(1999(平成11)年12月に廃止)	1950(昭和25)年	酪農学園短期大学酪農科を開設
2016(平成28)年	酪農学園大学酪農学部農業経済学科・食品科学科食品科学専攻・食品科学科健康栄養学専攻・食品流通学科・環境システム学部地域環境学科廃止	1991(平成3)年	酪農学園大学附属高等学校とわの森三愛高等学校が統合し、(新生)とわの森三愛高等学校(酪農経営科・普通科・英語科)を開設 酪農学園大学大学院酪農学研究科食生産利用科学専攻(博士課程)を開設	1958(昭和33)年	酪農学園女子高等学校(全日制 普通科)を開設
2017(平成29)年	酪農学園大学酪農学部酪農学科・環境システム学部環境マネジメント学科・生命環境学科廃止	1994(平成6)年	酪農学園大学酪農学部食品流通学科を開設	1960(昭和35)年	酪農学園大学酪農学部酪農学科を開設 酪農学園女子高等学校を三愛女子高等学校に校名変更
		1995(平成7)年	酪農学園大学大学院酪農学研究科フードシステム専攻(修士課程)を開設	1962(昭和37)年	酪農学園短期大学製造科を開設(1972(昭和47)年3月に廃止)
		1996(平成8)年	酪農学園大学獣医学部獣医学科を開設(酪農学部獣医学科を改組)	1963(昭和38)年	酪農学園大学酪農学部農業経済学科を開設
				1964(昭和39)年	酪農学園大学酪農学部獣医学科を開設 酪農学園短期大学酪農科を1コース(全日制)・2コース(季節制)(1984(昭和59)年3月に廃止)とする 野幌機農高等学校を酪農学園機械農高等学校に校名変更
				1975(昭和50)年	酪農学園大学大学院獣医学研究科獣医学専攻(修士課程)を開設
				1978(昭和53)年	酪農学園大学酪農学部獣医学教育修士課程を含む6年制に移行



# 教育基本方針

## 農食環境学群

### 基本方針

本学は、建学の精神「三愛精神」を理解し、「健土健民」の教えを実践するために積極的に行動する強い開拓者精神を持った人物を求める。農業は食を保証し、環境との調和を必然とし、健康な生命を育むまさに母なる大地と同義である。農業は総合科学であり、理論と実践を融合し、「命を紡ぐ健土健民」社会の実現を志す意志の強い人物を求める。どの専門分野においても、「農食環境生命」の有機な結びつきを理解できる担い手は、自己教育能力を持ち高度の専門性を持った質の高い教養人として社会貢献をなされる。

### 循環農学類

● 卒業時の方針(DP)  
資源循環型農業の実現に向けた広い知識と技能を会得し、人類社会の持続的な発展に貢献できる人材を輩出する。

● 教育課程の方針(CP)  
初年次教育では本学の基本精神を会得し、専門基礎科目では資源を有効に活用する農業(資源循環型農業)に関する基礎知識、専門科目では農学・畜産学・農業経済学に関する質の高い専門知識と実践力を身につける。

● 学生受け入れの方針(AP)  
資源循環型農業の実現を通じて人類社会の持続的発展に貢献するための知識と技能の習得に意欲と主体性をもって、社会と協働しながら取り組むことができる人を求める。

### 食と健康学類

#### 1. 食品機能科学・食品開発学・食品流通学コース

● 卒業時の方針(DP)  
食に関わる様々な課題に対して積極的に対応できる知識と技能を有し、安全・安心の基本概念のもと、社会の発展に貢献できる人材を輩出する。

### ● 教育課程の方針(CP)

初年次教育では本学の基本精神を会得し、専門基礎科目では食に関する基礎知識を自然科学と人文・社会科学の両面から学ぶ。専門科目では質の高い専門知識を得て課題解決能力を養い、食の専門家としての実践力を身につける。

● 学生受け入れの方針(AP)  
食に関する様々なことさらに興味を持ち、食を通して社会に貢献するための知識と技能の習得に向けて意欲あふれる人を求める。

#### 2. 管理栄養士コース

● 卒業時の方針(DP)  
管理栄養士に求められる人の健康と栄養に関わる豊かな知識と技能を有し、高い職業倫理観と使命感を持って社会の発展に貢献できる人材を輩出する。

### ● 教育課程の方針(CP)

初年次教育では本学の基本精神を会得し、専門基礎科目では医学や食品学、栄養学分野の基礎知識を学ぶ。専門科目では質の高い専門知識と技能の習得を通して、管理栄養士としての職業倫理観と使命感を養成する。

● 学生受け入れの方針(AP)  
栄養と健康そして社会環境と人との関わりについて広く学ぶ意欲を持ち、管理栄養士の資格取得を目指して日々努力できる人を求める。



## 環境共生学類

### ● 卒業時の方針(DP)

地域から地球規模まで幅広い環境問題に対応可能な専門知識と技能を会得し、人間と自然が共生できる社会の実現に貢献できる人材を輩出する。

### ● 教育課程の方針(CP)

初年次教育で本学の基本精神を会得し、専門基礎科目で野生動物や生命環境に対する人類活動の

影響を理解する。専門科目では環境共生のための知恵と技術を追求し、効果的な課題解決能力と地球的視野をもって活躍できる実践力を養成する。

### ● 学生受け入れの方針(AP)

人間と野生動物、そして生命環境が持続的に共生できる社会を実現するための幅広い知識と技能の習得を目指す人を求める。

## 獣医学群

### 基本方針

建学の精神(三愛精神・健土健民実学教育)に基づき、高度かつ幅広い専門知識と技術、総合的な判断力を習得し、国際的視野と豊かな人間性を持つてワンヘルスおよびチーム獣医療に貢献できる人材を育成する。

## 獣医学類

### ● 卒業時の方針(DP)

社会的責務を果たすための倫理観と責任感を修得し、学際的な視点を持つてワンヘルスに立脚した世界的な視野で人間社会の健全な発展に寄与できる能力を体得した人材を輩出する。

### ● 教育課程の方針(CP)

初年次教育では高大接続教育の円滑化を図り専門教育の基礎を築くとともに、自校教育を通して本学設立の基本精神を学ぶ。専門教育では基礎から応用へと体系的な講義と実習を通して獣医療の専門知識と技術を向上させる。

### ● 学生受け入れの方針(AP)

社会に対する幅広い視野をもち、地域さらに地球全体における人と動物との調和に深い関心を寄せ、日々進歩する最新知識を吸収できる基礎学力と、生涯にわたって自ら積極的に学ぶ意欲をもつ人を求める。

## 獣医保健看護学類

### ● 卒業時の方針(DP)

動物に対する深い愛情と高度な知識と技術を有し、地域社会において人間と動物との絆の構築とチーム獣医療に貢献できる人間性豊かな人材を輩出する。

### ● 教育課程の方針(CP)

初年次教育では高大接続教育の円滑化を図り専門教育への基礎を築くとともに、自校教育を受講する事で本学設立の基本精神を学ぶ。専門教育では基礎から応用へと体系的な講義と実習を通して獣医療を支える専門知識と技術を向上させる。

### ● 学生受け入れの方針(AP)

大学の基本理念と教育目標を理解し獣医保健看護学とその関連分野での自主的学習を通じ、人間と動物の良き関係の構築と動物の健康向上に貢献したいという目的意識を持った人を求める。

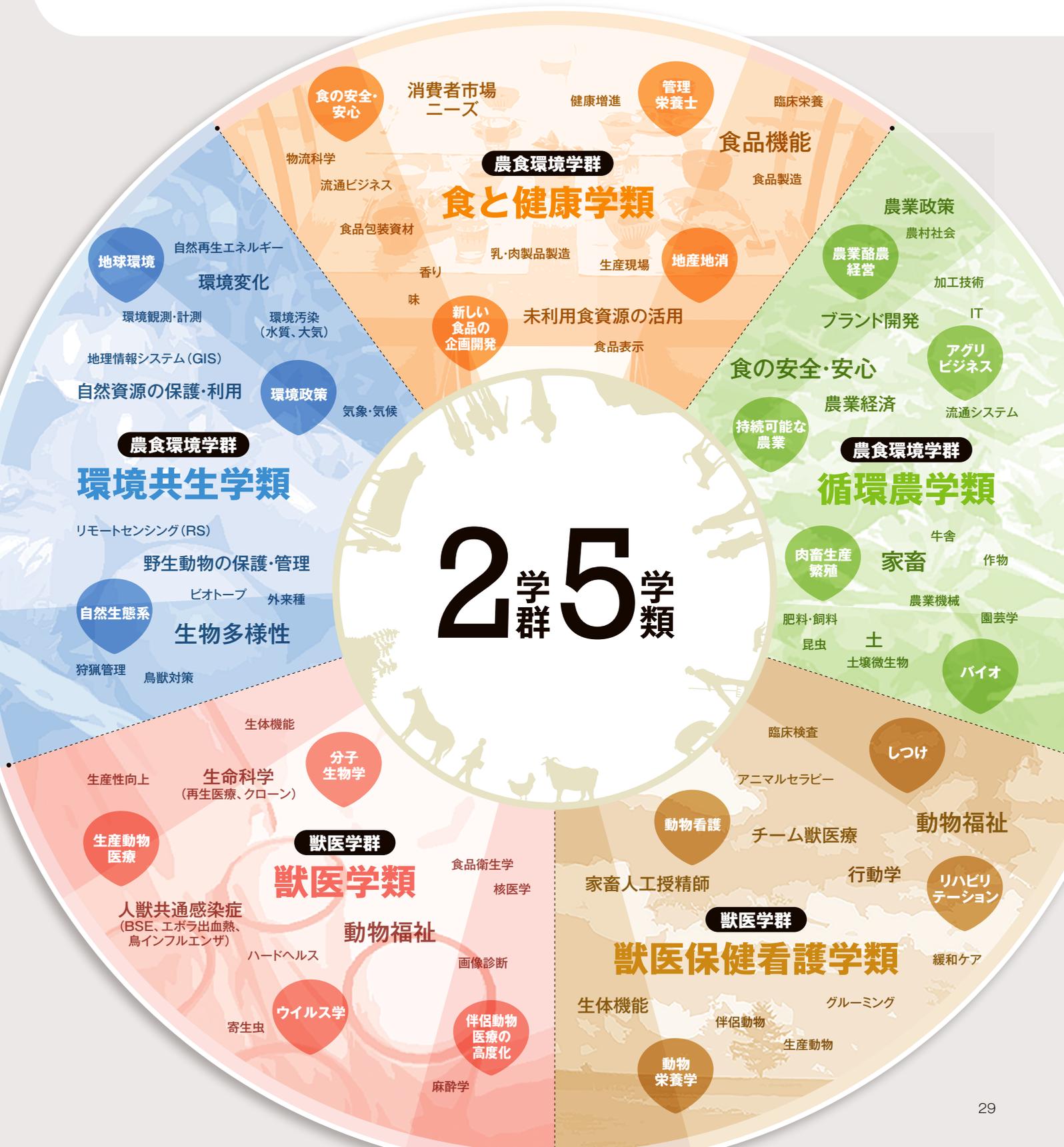
# すべての学びは つながっている

酪農学園大学の5学群は互いに深く関係しています。

そのつながりを生かし、あなたの「好き」を他の分野と結びつけて、大きく発展させることができます。

たとえば、酪農経営×食の安全・安心×自然再生エネルギー＝地球の環境保全かもしれません。

「好き」から始まる新しい未来を、あなた自身の手で創造できます。



# 農食環境学群

農食環境学群の中では、3つの学類の枠を超えて興味のある科目を履修できます。また、「循環農学類」と「食と健康学類」には教員養成を目的にした「教職コース」を設置しています。

※農食環境学群(管理栄養士コースを除く)では、「教職コース」に所属しなくても専門的に学びながら教員免許を取ることができます。

## 循環農学類



安全な食料を供給する農業について、酪農学・畜産学・農学・農業経済学など多角的に追究。

## 食と健康学類



食の生産・加工・製造、流通ならびに健康など、食のシステムに関して幅広く学ぶ。

## 環境共生学類



野生動物学・生命環境学を学び、環境と調和・共生する社会の形成に貢献できる力を育成。

## 獣医学類



獣医療をはじめ生命科学における先端的研究を推進する、高度な専門性を有した獣医師を育成。

## 獣医保健看護学類



獣医学と動物看護学を学び、幅広い獣医保健看護領域を担える人材を育成。

### 1年次 基盤教育

酪農学園教

人文社会科学教育

自然科学教育

保健体育教育

情報教育

外国語教育

導入教育

キャリア教育

基盤教育については  
23-24ページを  
ご覧ください

### 2年次 専門基礎教育

### 3・4年次 専門教育

酪農学コース

畜産学コース

農学コース

農業経済学コース

教職コース

※循環農学類、食と健康学類いずれかの学類に所属する。

食品機能科学コース

食品開発学コース

食品流通学コース

管理栄養士コース

野生動物学コース

生命環境学コース

6年次

獣医学類

生体機能学分野

感染・病理学分野

衛生・環境学分野

生産動物医療学分野

伴侶動物医療学分野

獣医保健看護学類

詳しくは  
31ページ

詳しくは  
41ページ

詳しくは  
51ページ

詳しくは  
59ページ

詳しくは  
69ページ

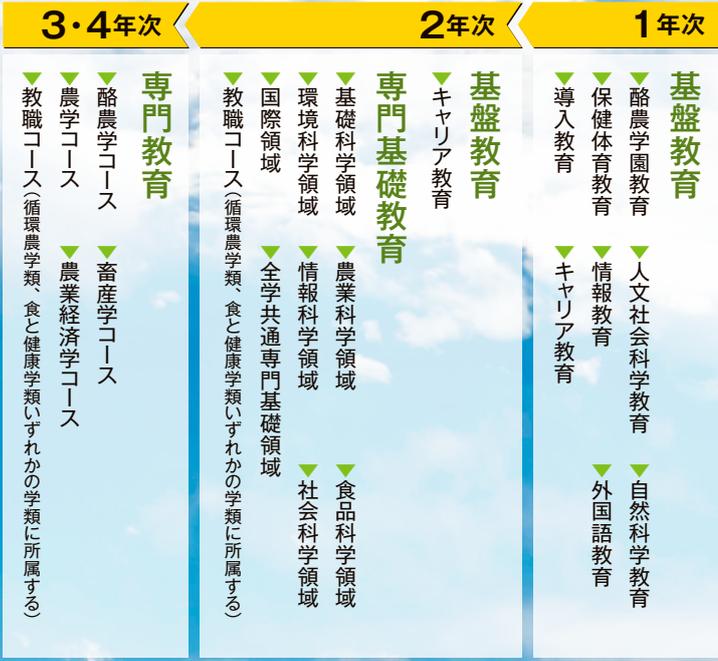
# 学びの流れ

農食環境学群

# 循環農学類

College of Agriculture, Food and Environment Sciences  
Department of Sustainable Agriculture

日々が「農」の現場  
本物の楽しさがわかります





1 ミルキングバーラーにて搾乳  
2 牛の体型測定  
3 サフォーク種の育成  
4 牛の飼料となるデントコーン畑  
5 なすびの収穫

# 「好き」をかたちに

## 学びのポイント

### POINT 1

生産から経営、経済まで「農」という産業のすべてを網羅

農家の方々とも密接に連携しながら農学全般を学びます。本学類の教員は農業試験場をはじめとする学外のさまざまな人や機関とつながりがあり、新たな視点を得る機会を与えてくれます。



### POINT 2

循環農法 環境に負担をかけない農業を探求する

人と自然が共生し、物質やエネルギーが循環するシステムをつくる「循環農法」を基本思想にして、これからの農業を学びます。

### POINT 3

インテリジェント牛舎や農場などで実践する多彩な実習カリキュラム

酪農、肉畜、作物の3つの生産ステーションがあり、日々実践的な学びを展開しています。また、農家に泊まり込む学外農場実習では農の現場を実際に体験できます。

### POINT 4

日本全国47都道府県から「農」に関心のある学生が集まる

実家が農業を営んでいる人から初めて農業を学ぶ人まで、日本全国から「農」に関心のある学生が集まり切磋琢磨します。卒業後は全国にネットワークができるのも本学ならではの強みです。

#### 取得可能資格

必要要件をみたせば卒業と同時に取得可能な資格です。

- 中学校教諭1種(理科社会)
- 高等学校教諭1種(理科・農業・公民)
- ※教職コースに所属しなくても教員免許の取得は可能です。
- 准学校心理士
- 家畜(牛)人工授精
- 家畜体内(外)受精卵移植
- ※講習会受講・最終試験合格の場合
- 食品衛生責任者

#### 任用資格

特定の職業に任用されるための資格。資格を取得後その職務について初めて効力を発揮する資格です。

- 食品衛生監視員
- 食品衛生管理者
- 飼料製造管理者

#### 学類でサポートする資格

- 簿記検定2級・3級
- 経済学検定(EIRE)
- 食生活アドバイザー3級
- 北海道フードマイスター
- 食の6次産業化プロデューサー(レベル1・2・3)

#### 目指す職業

- 酪農・農業経営
- 農業(酪農・畜産含む)法人
- 農業資材卸売・小売業・食品製造業
- 食品卸売小企業
- 宿泊・飲食サービス業
- 農業協同組合
- 教員
- 公務員 など

学生からの  
メッセージ

農業がもつと楽しくなった4年間

実家が農業を営んでおり、いつか家業を継ぐことになってほしいというのと農業高校に進学しました。そこで農業の面白さを再確認し、もっと勉強したいと、酪農学園大学へ進学を決めました。

農業と一言にいつてもさまざまな分野があります。それを体験的に学習できるのが1年のときに受ける「健土健民入門実習」でした。キャンパス内にある附属農場や関連施設で、農作物の栽培やバターづくりなどを体験しますが、なかでも乳牛など家畜の飼育はこれまで経験したことがなかったのでもとても新鮮でした。

2年になると専門科目が増え、特に「植物遺

伝学」など植物に関する講義は、高校時代に学んでいたこともあって、より知識を深められる楽しさがありました。

3年から学びはさらに実践的になり、「作物栽培学実習」ではジャガイモや大豆などを栽培。気候や微生物の影響で収穫量が変化する様子にドキドキしたものです。

さまざまな学びを通じて、農作物の栽培に興味を持ち、ゼミでは「栽培学研究室」に所属。卒業論文として、震災などによる津波の被害に遭った農地でイネを栽培したときの影響について研究しています。

命と向き合い続けた4年間で得たものは、作物が成長する様子を観察する楽しさでした。発芽した、花が咲いた、実がなつたという一連の様子はいくら眺めても飽きません。今では、朝8時前には大学に来て、温室で栽培中の農作物に水をやりながら、日に日に大きくなる様子を観察するのが一番の楽しみになっています。



循環農学類  
栽培学研究室 4年  
杉野 巧真さん  
北海道／岩見沢農業高校出身

循環農学類  
家畜遺伝学研究室  
天野 朋子 准教授



私は本学の酪農学科出身です。最初は生殖工学を専攻し、「体外受精による家畜の改良」がテーマでした。しかし、研究を進めるにつれて、遺伝子領域での改良をテーマにするようになりました。具体的には、乳量の多い牛と少ない牛のDNAを、シーケンサーで読み取って比較し、差異を見つけます。その差異を検証して、本当にその遺伝子の性質が表現型（この例では牛の乳量）と結びついているかを確かめます。

さまざまな家畜が対象となり、また表現型も多様です。たとえば怒りっぽい、おとなしいといった気質も、表現型としてとらえることができ、「おとなしい牛」の遺伝子を見つけることができます。これは私の研究テーマの一つで、酪農家の協力を得て数年がかりで実現した研究プロジェクトでした。現在は、1年間の予定で、スイスで在外研究をしています。ここでのテーマは「時計遺伝

子」の研究。この遺伝子の機能解析をして、出産との関係を解明したいと思っています。

私は会社員の家庭で育ちましたが、牛、馬が大好きで、家畜の多い酪農学園大学は楽園のような場所でした。酪農家に少しでも近いところに、という気持ちで選んだ研究の道ですが、一本道でこうなったわけではありません。「好き」だからこそ粘り強く続け、自分のテーマを現実落とし込んできました。「好き」の形を見つけるのは、社会に出てからのこともあてでしょう。それには続けていく情熱が必要で、そのための基礎教育は、しっかりとここで受けられます。



教員からの  
メッセージ

「好き」を継続していく粘り強さをもって

# [ カリキュラム ] ☆1は外国人留学生のみ

※この内容は2019年4月1日現在のもので  
今後変更もあります。

## 1 年次

### 基盤教育

- 建学原論
- キリスト教I
- キリスト教II
- 循環型農業論
- 健士健民入門実習
- 哲学

- 心理学
- 文学
- 社会学
- 日本史
- 世界史
- 地誌

- 地理学
- 法学
- 日本国憲法
- 経済学
- 数学I
- 数学II

- 生物学
- 生物学実験
- 化学
- 化学実験
- 物理学
- 地学

- 運動の科学
- 体育実技I
- 体育実技II
- 情報科学の基礎
- 情報処理基礎演習
- 英語I

- 英語II
- 英語III
- 英語IV
- 日本語I ☆1
- 日本語II ☆1
- 基礎演習I

- 循環農業概論
- 食と健康学概論
- 環境共生学概論
- 獣医療概論

### 専門基礎教育

- 国際関係とメディアコミュニケーションの科学
- 循環農法とワンヘルスサイエンス
- 人と動物の関係の科学

### 専門教育

- 【実践農学・実践酪農学】
- 実践酪農学
- 実践酪農学演習
- 実践農学

### 教職課程教育

- 教育原理
- 教職入門
- 教育心理学

## 2 年次

### 基盤教育

- キリスト教と諸宗教
- キリスト教と生命倫理
- 統計学I
- 統計学II
- 物理学実験
- 地学実験
- 英語演習I
- 英語演習II
- ドイツ語I
- ドイツ語II
- フランス語I
- フランス語II
- 中国語I
- 中国語II
- ハングルI
- ハングルII
- 基礎演習II
- キャリアベーシック
- キャリア実習I

### 専門基礎教育

- 無機化学
- 有機化学
- 物理化学
- 分析化学
- 生化学
- 微生物学
- 土壌学
- 植物遺伝学
- 動物遺伝学
- 植物生理学
- 動物生理学
- 民法・商法
- 行財政学概論
- 経済学概論
- ミクロ経済学
- マクロ経済学
- マーケティング論
- 経営学総論
- 日本経済論

- エネルギーの物理学
- ボランティア活動・NPO・NGO論
- 品質管理論
- 家畜解剖学
- 家畜生理・解剖学実験
- 家畜行動学
- 畜産学総論
- 畜産経営論
- 農業微生物学実験
- 農産物利用学実習
- 農業機械学
- 草地・飼料作物学
- 作物生態生理学実験
- 作物栽培学
- 園芸学
- 農業経営学概論
- 農業政策学
- 農業法

- 学外農場実習
- 海外農業実習
- 実践農学実習I
- 実践農学実習II
- 食品学
- 乳科学
- 食肉科学
- 食品化学
- 食品分析学
- 食品製造学
- 食品流通論
- 食品産業論
- 食料経済論
- 食品総合実験
- 応用生化学
- 食品卸・小売商業論
- 環境物理学
- 生物分類学
- 動物形態機能学

- 気象学の基礎
- 生物地球化学
- 北海道環境学
- アジア環境学
- 自然環境学実験・実習
- 環境法
- 野生動物学の基礎
- 動物生態学
- 植物生態学
- 地形・地質学
- 環境共生学外実習
- 地域研究
- 海外自然環境実習
- 情報処理演習
- GIS基礎演習
- GIS応用演習
- リモートセンシング基礎演習
- 流通経済論

- 簿記・会計学概論
- 協同組合学
- 中小企業論
- 農畜産物市場論
- 農村社会学
- 社会調査法
- 国際経済論
- 国際関係論
- 国際理解
- 国際法
- 観光と地域振興の科学
- GIS・リモートセンシングによる空間情報の科学
- エントロピーから見たエネルギーの科学
- 食の安全・安心の科学
- 全学専門基礎特別演習

### 専門教育

- 【教職コース】
- 理科教育法I
- 理科教育法II
- 農業科教育法I
- 農業科教育法II
- 社会科・地理歴史科教育法I

- 社会科・地理歴史科教育法II
- 社会科・公民科教育法I
- 社会科・公民科教育法II
- 教職特論
- サービス・ラーニング

- 【実践農学・実践酪農学】
- 実践酪農学実習I

### 教職課程教育

- 特別支援教育論
- 教育課程論
- 教育方法論
- 生徒・進路指導論
- 教育相談論

## 3 年次

### 基盤教育

- キャリアデザインI
- キャリアデザインII
- プレゼンテーション
- キャリア実習II

### 専門教育

- 専門ゼミナールI
- 専門ゼミナールII
- 【酪農学コース】
- 家畜育種学
- 家畜繁殖学
- 家畜育種・繁殖学実験
- 家畜管理学
- 家畜栄養学
- 家畜管理・栄養学実験I
- 家畜管理・栄養学実験II
- 家畜衛生学
- 家畜衛生学実験
- 畜産物利用学
- 乳用家畜飼養学

- 酪農経営学
- 泌乳生理学
- 【畜産学コース】
- 家畜育種学
- 家畜繁殖学
- 家畜育種・繁殖学実験
- 家畜管理学
- 家畜栄養学
- 家畜管理・栄養学実験I
- 家畜管理・栄養学実験II
- 家畜衛生学
- 家畜衛生学実験
- 畜産物利用学
- 肉用家畜飼養学

- 肉用中小家畜飼養学
- 肉用家畜飼養学実習
- 【農学コース】
- 水稻栽培学
- 畑作物栽培学
- 作物栽培学実習
- 野菜園芸学
- 花き園芸学
- 園芸学実習
- 作物育種学
- 作物育種学実験
- 作物栄養学
- 土壌・作物栄養学実験
- 植物病理学

- 応用昆虫学
- 作物保護学実験I
- 作物保護学実験II
- 【農業経済学コース】
- 農業経営学
- 農業市場論
- 食料・農業政策学
- 農業協同組合論
- アグリビジネス論
- 農と食の社会経済史
- 簿記・会計演習
- 農業経済学演習
- 経済データ分析演習
- 食料農業農村調査実習

- 地域計画論
- 地域経済論
- 営農システム論
- 【教職コース】
- 教育実習(高1免)
- 教育実習(中・高1免)
- 教職インターンシップI
- 教職応用演習I
- 教職応用演習II
- 理科教育法III
- 理科教育法IV
- 【実践農学・実践酪農学】
- 実践酪農学実習II

### 専門基礎教育

- 統計データ分析演習
- 農業施設学
- 農業施設・機械学実習
- 雑草学
- 実践農学実習III
- 食品衛生学

- 公衆衛生学
- 食品関係法
- 免疫学
- 栄養生理学
- 食品物性学
- 食品資源学

- 消費者行動論
- 景観生態学
- 保全生物学
- サステナビリティ学
- 資源管理論
- 資源経済学

### 教職課程教育

- 教職概論
- 教育社会学
- 生涯学習論
- 理科教育法I
- 理科教育法II
- 農業科教育法I

- 農業科教育法II
- 社会科・地理歴史科教育法I
- 社会科・地理歴史科教育法II
- 社会科・公民科教育法I
- 社会科・公民科教育法II
- 道徳教育指導論

- 総合的な学習の時間の指導法
- 特別活動論
- 職業指導I(農業)
- 職業指導II(農業)

## 4 年次

### 専門教育

- 専門ゼミナールIII
- 専門ゼミナールIV
- 卒業論文
- 家畜繁殖技術論
- 受精卵移植論
- 家畜体内・体外受精卵移植実験
- 乳用家畜飼養学実習

- 畜産物利用学実習
- 実験動物学
- 果樹園芸学
- 有機フードシステム論
- 有機農業総論
- 農産加工学

- 【教職コース】
- 教職インターンシップII
- 教材開発演習

### 教職課程教育

- 理科教育法III
- 理科教育法IV
- 教職実践演習(中・高1免)
- 教育実習(高1免)
- 教育実習(中・高1免)

# 研究室紹介

あなたの「好き」が  
きつと「かたち」に。

## 家畜繁殖学研究室

堂地 修 教授

牛の人工授精、胚移植、体外受精、繁殖管理、肉牛の飼養管理に関する研究  
人工授精、胚移植、体外受精などの専門技術を学ぶとともに、生産現場で実践応用できる力の修得を目指しています。牛の繁殖技術（人工授精、胚移植、体外受精、繁殖生理、繁殖管理）の高度化および肉牛の哺育・育成・繁殖・肥育に関する研究を行っています。

繁殖	人工授精	受精卵移植
体外受精	肉牛	乳牛

## ユニットの見方

ユニットの名称と担当の教員名です

家畜繁殖学研究室  
堂地 修 教授

牛の人工授精、胚移植、体外受精、繁殖管理、肉牛の飼養管理に関する研究  
人工授精、胚移植、体外受精などの専門技術を学ぶとともに、生産現場で実践応用できる力の修得を目指しています。牛の繁殖技術（人工授精、胚移植、体外受精、繁殖生理、繁殖管理）の高度化および肉牛の哺育・育成・繁殖・肥育に関する研究を行っています。

研究内容です

学びのKeywords  
気になるキーワードはインターネットなどで検索して興味を深めてみよう

繁殖	人工授精	受精卵移植
体外受精	肉牛	乳牛

## ルミノロジー研究室

泉 賢一 教授

ウシの第一胃の秘密を探る

ウシは4つの胃を持っていますが、特に第一胃（ルーメン）には牧草を牛乳や肉につくり変えるための秘密が隠されています。そこで、ルーメンからみたウシの栄養生理学を第一の研究テーマとし、得られた基礎情報を応用して酪農生産ステーションをフィールドに適切な牛群管理技術を学びます。

酪農	乳牛	飼料
牛乳	家畜飼育	牛舎

## 農畜産物市場論研究室

相原 晴伴 教授

農畜産物・食料の流通の仕組み、需給や価格の動向を研究

今日の市場経済では、大量生産性や効率性が至上命題とされ、日本では、工業製品の大量輸出と極端に低い食料自給率の並存という経済構造となっています。当研究室では、グローバルな視野から農畜産物市場の動向を考察・研究しています。

アグリビジネス	ブランド開発	農業政策
農作物	農業経済学	稲

## 家畜栄養学研究室

中辻 浩喜 教授

草食家畜の栄養生理学を基本に  
土地利用型乳肉生産を実現する

牧草や飼料作物、農業副産物等を利用できる「草食系」の消化特性を最大限生かし、輸入穀類に極力依存せず国内の飼料資源を有効に利用した乳肉生産体系の確立を目指します。また、土地利用型畜産を実現するための究極のツールともいえる「放牧」について、そのメカニズムの科学的解明に取り組んでいます。

酪農	乳牛	栄養
飼料	草地	放牧

## 草地・畜産学教育研究室

岡島 毅 教授

草地・畜産に関連するさまざまな対象間における相互作用の解明と教育現場への適用

幅広いゼミ活動や卒論研究を通し、草地・畜産に関連する多種多様な対象間における多彩な相互作用に関わる要因を解明し、得られた研究成果を教育現場へ適用すべく奮闘しています。担当する教職志望の学生には、将来そのような多種多様な対象に興味と関心を持って生徒と向き合ってもらえるよう、希望します。

教職	農業科教育	畜産
草地		

## 動物生殖工学研究室

今井 敬 教授

バイオで牛をつくり育てる  
-120μmの卵子から800kgの肥育牛まで一

牛の受精卵移植、体外受精および妊娠成立などの動物生殖工学について研究しています。最近では体外受精卵の初期発生を観察し、受胎性の高い受精卵を生産・選別する技術を確立しました。これら動物生殖工学を駆使し、受精卵を生産する実験室から、受精卵移植・分娩や育成・肥育など牛を育てる牛舎まで幅広い活動を実施しています。

繁殖	受精卵移植	体外受精
生体卵子吸引	肉牛	乳牛

## 農業政策学研究室

井上 誠司 教授

農村にとって有効な  
農業政策について考察する

農村は多様であり、そこで営まれる農業は地域ごとに異なっています。したがって、国の農業政策だけではなく、地域独自の農業政策も重要なものとなります。こうしたスタンスから、当研究室では国だけでなく市町村が策定する農業政策や農協が策定する農業振興計画の重要性についても学ぶよう心がけています。

農業政策	農業経済学	農村
計画	地域資源	歴史

## 農業機械システム学研究室

小宮 道士 教授

機械利用による安全かつ能率的、合理的な農作業を考える

農業機械はそれらの効率的な利用方法を考える、導入することが重要です。また生産現場で使用される電力や化石燃料などに代わる新エネルギーについても考えます。労力や生産費の低減、生産量の増大のため、効果的に機械や施設を利用する方法を学び、新しい農業生産システムの構築に向けた研究を行っています。

農業機械	IT	技術開発
酪農	エネルギー	農業工学

## 国際経済学研究室

小糸 健太郎 教授

国際的な視野で  
食料・農業・地域の問題を学ぶ

食料・農業・地域経済に関わる問題を考察するとき、諸外国の経済問題や経済政策を無視することはできません。当研究室では、さまざまな統計データと経済モデルを用いて、農産物の輸入自由化や他国の経済政策などの国際情勢とわが国の食料・農業・地域経済に関連する問題について経済学の視点から研究しています。

農業経済学	貿易	生産性
食料自給率	社会調査	統計学

## 天然物化学研究室

小澤 修二 教授

植物の化学成分の構造を明らかにし、  
その生理活性を調べる

植物には多種多様な化学成分が含まれています。その中で特に二次代謝成分であるポリフェノール化合物に着目し、それらの化学構造や生理活性を調べ、さらに健康に及ぼす効果などを検討しています。また、農業系副産物などの未利用有機物資源の有効利用を目的として、含有する機能性成分の評価を行っています。

天然物	生理活性物質	化学
植物		

## 生物学研究室

佐藤 元昭 教授

昆虫の細胞を用いた  
細胞分裂機構の研究

細胞分裂の仕組みを形態的な特徴から解明すべく取り組んでいます。主に昆虫の細胞を対象として、細胞分裂が盛んな配偶子形成や、受精から初期発生、さらに体を形成していく形態形成や分化にも目を向けています。色々な細胞の分裂を解析することで、細胞分裂の本質が少しずつ明らかになってきます。

細胞分裂	細胞培養	顕微鏡
プレパラート		

## 食料経済分析学研究室

佐藤 和夫 教授

多様化する「食と農」を分析する

食料と農業の問題を中心に、食品安全性に対する消費者評価の分析、農業・農村ツーリズムの分析、農産物のパッケージが与える印象の計量分析など、コンピュータと統計学を駆使した実証的研究を行っています。

社会調査	応用統計学	消費者の意識
食品安全性	食料自給率	環境

## 草地・飼料生産学研究室

三枝 俊哉 教授

草地・飼料作物の効率的な生産による  
持続的な土地利用技術の研究

牧草と飼料作物の生産は、土-草-牛の養分循環の起点です。環境保全に配慮しながら良質な粗飼料を安定的に確保するため、最小限の投入量で最適な生産量を維持する栽培・草地管理技術を研究します。目の前にある草地の問題点は何か？改善するにはどうしたらよいか？たくさん意見を出し合い、論議できる研究室を目指します。

草地	飼料	土
肥料	養分循環	持続可能な農業

## 畜産衛生学研究室

高橋 俊彦 教授

### 畜産現場における実践的衛生管理、 感染症対策の実施

畜産現場における衛生管理について家畜、農場、地域において調査・研究します。主な研究テーマは1)子牛、2)乳房炎、3)寄生虫に関する研究です。研究の基本は、健康な牛の育成を目指して細菌、ウイルス、消化管内線虫、原虫感染の衛生対策による効果と牛乳房炎に関する研究で、地域の衛生を守ります。

酪農	乳牛	肉牛
農場衛生	家畜の病気	疾病予防

## 農場生態学研究室

園田 高広 教授

### 野菜と病害の生理生態を踏まえた 栽培法や病害防除法の開発

野菜園芸学、育種学、植物病理学等の専門分野をベースにして、新たな栽培法や新品種による安定生産技術の開発、病害の発生に適切かつ、作物の持つ抵抗性を利用した耕種的病害防除法の開発に取り組んでいます。研究の実施に際しては、生産現場との連携を軸に展開できるような現場ニーズを踏まえた取り組みを行っています。

持続可能な農業	野菜園芸	栽培技術
品種改良	植物病理	

## 土壌環境学研究室

澤本 卓治 教授

### 土壌を中心とした物質動態と その環境との関わりを研究

農地には、化学肥料やたい肥といった作物の養分を補給するための資材が施用されます。例えば、窒素(N)やカリウム(K)などが重要ですが、これらの元素からなる物質の土壌中での動きやバランス(収支)、さらに農地から環境中に排出される環境負荷物質(温室効果ガスなど)を調べています。

土	肥料	農学
化学	持続可能な農業	

## 家畜育種学研究室

寺脇 良悟 教授

### 優れた能力を長期にわたって発揮する ホルスタイン牛を育種する

人類は食料確保のため野生動物を家畜化し、より生産性の高いものへと改良してきました。家畜育種学は、家畜の遺伝的な改良に必要な理論とその応用に関する学問です。当研究室では乳牛を主な研究対象とし、近年めざましく発展している育種理論の理解と実践を目的としています。

乳牛	家畜育種	肉牛
----	------	----

## 理科教育研究室

玉利 和弘 教授

### 高校・中学校の教師力の研究

「高等学校理科」および「中学校理科」の教員になることを目指して、観察実験を中心とする理科の学習指導法の研究、生徒や地域の実態に応じた生徒指導・進路指導の在り方の研究、さらにHR担任の学級経営法の研究などを通して、教育目標を実現するための組織的かつ機能的な学校運営の戦略を研究します。

理科教育	観察実験	中学校理科
高校物理・化学	生物・地学	教材研究

## 環境会計研究室

玉川 真弓 教授

### 農業経営を支える 会計リテラシーの醸成

農業の6次産業化が推奨される中、農家は、良質な素材の栽培・育成に力を注ぐ一方で、生産物等を流通にのせ、資金を回収し、次の栽培・育成に投資していく循環プロセスを自分自身で描いていくことが求められます。環境会計研究室では、このような経営に必要な基礎的会計知識の習得を行っています。

簿記	会計	環境
財務	経営	地域

## 家畜管理・行動学研究室

森田 茂 教授

### 「動物に配慮」した管理システムを 動物行動から構築する

乳牛が生活に使う道具や、生活する施設、動物の世話を人間自身など、牛たちが生活する環境の多くは人間が提供しています。これを管理システムと呼びます。人間の身勝手な判断ではなく、「動物に聞く」という視点から、動物がみせる行動や動作を解析します。それにより、「動物に配慮」した管理システムの構築を目指します。

酪農	乳牛	牛舎
家畜福祉	動物行動	肉畜生産

## 数量経済学研究室

丸山 明 教授

### 食料消費の計量分析と 生乳生産の規模の経済性の分析

ミクロ経済学を基礎とし、さまざまな食料消費の特性を計量経済学、多変量解析あるいは色々な統計的手法を用いて数量的に明らかにすることに挑戦しています。また酪農生産の規模の経済性を同様に統計的手法を用いて分析しています。

農業経済学	社会調査	統計学
多変量解析	食料の消費	IT

## 食料経済史研究室

發地 喜久治 教授

### 世界の多様な食文化を理解し 多文化共存型社会の実現を考える

食料問題を経済と文化の視点から多面的に学びます。世界の多様な食文化を比較して、多文化共存型社会の実現について考えます。日本の食料経済の変化を分析し、これからの消費生活、健康と長寿をもたらすとされる「日本型食生活」、ユネスコ無形文化遺産に登録された「和食」の伝統などに対する理解を深めます。

食料問題	食文化	多文化共存型社会
消費生活	日本型食生活	和食

## 作物学研究室

義平 大樹 教授

### 人類生存に不可欠な穀物類の 良質多収栽培法の研究

世界人口の急増と地球環境の変化により穀物不足が深刻化しています。近代育種により改良された作物品種の能力を最大限に発揮させ、良質かつ多収を実現できる栽培技術の開発が常に求められています。人類の生存に不可欠な食用畑作物(ムギ類、マメ類)と飼料用穀物(トウモロコシ類)の多収栽培法について研究しています。

作物栽培	畑作物	栽培技術
農作物	肥料	飼料

## 農村計画論研究室

吉野 宣彦 教授

### 農村人口を減らさないために、農業のコスト低下や、 付加価値生産、経営の多角化を考え、支える

地域の酪農経営を簡易に分析してコスト低下を支えるプログラムを開発して、農協での利用をサポートしています。学生とは、新しい作物の普及、新規就農を促進するための課題、有機農業の普及、農業振興計画の策定方法などについて、全国各地を調査・実習しています。

農業経済学	酪農	経営
農村社会	持続可能な農業	IT

## 人と動物の関係学研究室

山田 弘司 教授

### 人と動物の相互理解と よりよい関係を目指して

「乗馬で集中力アップ!」、「ハムスターとのふれ合いでリラックス」。私たちは、アニマルセラピーや乗馬セラピー、家畜の教育的利用、動物園動物の福祉の研究をしています。そのために、動物や人の心理や行動を科学的に測定するさまざまな工夫をしています。そして、人と動物が助け合える関係を見つけようと考えています。

動物心理学	動物行動学	乗馬セラピー
教育体験ファーム	動物園	動物福祉

## 化学研究室

大和田 秀一 准教授

### 化学で科学的思考を学ぶ

マニュアルには、無限にある事例のうちの数個の典型しか載っていません。真の実学を修めた人は、マニュアルに載っていないどんな事例に遭遇しようとも、それに適した智慧を働かすことができます。化学は、その智慧を生み出す基本的素養です。当研究室では協同学習の理念に基づいた新しい化学教授法の開発などに取り組んでいます。

化学	新しい化学教授法の開発
物理化学	協同学習

## 家畜遺伝学研究室

天野 朋子 准教授

### 遺伝情報を活用し、より能力の高い 家畜を作出する

家畜の群れの中には、他の個体よりも乳量や肉質が良く、病気にかかりにくいなど、優れた形質を持つものが存在します。こうした形質の違いは、多くの場合、個体間のDNAの差異と関係しています。この研究室では家畜のDNAの解析を通じ、より優れた形質をもつ家畜の選抜や増殖を目指しています。

乳牛	肉牛	中小家畜
動物(馬など)	品種改良	バイオ

## 資源植物学研究室

我妻 尚広 教授

### 植物群落の保全や緑化を目的とした 植物の生態遺伝学的研究

一年の1/3は高山や湿原、圃場に植物を求めて旅をしています。1/3は実験室で核や葉緑体のDNA解析をしています。残り1/3は素敵な植物の生活について想像しています。現在は①サクランボ属やキスゲ属などの個体群の保全に関する研究②緑化植物としてのキリンソウに関する研究③野生植物の種子発芽に関する研究を行っています。

植物	品種改良	植物遺伝
遺伝的多様性	植物生理	緑化

## 作物栄養学研究室

小八重 善裕 准教授

### 作物の栄養と健康を見つめ、豊かな食料生産に貢献する

作物の品質は、自身の栄養生理システムだけでなく、土の特性や共生微生物の機能との共同作業で決定されます。本研究室では、分子生物学、細胞生物学的手法を基本に、植物の栄養や共生微生物との相互作用を観察し、調べ、新しい発見を行い、社会に広く還元することで、豊かな食料生産に貢献します。

作物	栄養	土壌
共生	菌根菌	イメージング

## 農業科教育研究室

飛谷 淳一 准教授

### 実践的・体験的な学習活動を通じた農業教育に関する研究

次期学習指導要領を踏まえ、農業高校の授業における「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、農業経営のグローバル化等に対応した経営感覚の醸成を図るための学習など、地域の特性や教育力を活用することができる農業教員の養成を目指し活動しています。

教職
----

## 酪農・畜産経営論研究室

日向 貴久 准教授

### 優れた経営管理と農村地域の持続に向けた合意形成を考える

酪農をはじめとする畜産経営では、飼養、繁殖、飼料生産といった複数の部門管理が存在し、経営者は常に自らの経営に係る意思決定を行います。本研究室では、合理的な経営管理をテーマに、意思決定に向けた判断と選択の方法を考えます。また、農村地域を持続させるための行政や住民の合意形成方法を研究します。

酪農	経営管理	意思決定
農村社会	合意形成	農業経済学

## 中小家畜飼養学研究室

山田 未知 准教授

### 豚の効率的な飼養管理技術を探求する

豚は多産で成長も早く、生後約6カ月で出荷となり、私たちに美味しい豚肉を提供してくれます。子豚を生産し、肥育豚として出荷するまでの過程において、管理者が行う作業意義を理解した上で、美味しい豚肉を生産してくれる「豚」の快適飼養環境に配慮した、更なる効率的な飼養技術の確立について研究を行います。

肉畜生産	中小家畜	家畜飼養
人工授精	飼育環境	エコフィード

## 栽培学研究室

亀岡 笑 講師

### 環境変動に適応可能な作物デザイン・栽培技術を考える

作物は、環境条件の変化に適応しようと姿かたちをさまざまに変化させます。栽培学研究室では、環境条件の変化に対して作物が発揮する適応性を、特に「根」に注目して評価します。これらの評価を通じて、作物の収量や品質を高めるために必要な栽培方法を、異なる環境条件ごとに明らかにしたいと考えています。

持続可能な農業	栽培技術	環境ストレス
根系発育	稲	畑作物

## 植物育種学研究室

岡本 吉弘 准教授

### 水稻を中心とした遺伝・育種に関する研究

花粉からイネを再生させる育種法は、遺伝子解析材料や品種を作出するツールとして、遺伝・育種学の基礎から応用研究の場面で活用されています。育種法の適用範囲を拡大するため、多様なイネ品種に対する高効率の培養方法の開発をはじめ、培養効率に関与する遺伝子領域の解明に取り組んでいます。

農学	品種改良	バイオ
育種学	遺伝子	遺伝変異

## 植物病理学研究室

藤田 優香 准教授

### 植物と病原体との相互作用について学ぶ

植物も、人間と同じようにさまざまな病気にかかります。農作物を病原体から守るためには、まず病原体の詳細を知ることが大切です。当研究室では、植物病原ウイルスを中心に、病原体の感染・増殖メカニズムや、病原体と植物との相互作用メカニズムの詳細解明を目指し、研究に取り組んでいます。

植物の病気	植物ウイルス	感染生理
病害抵抗性	遺伝子工学	

## 実践農学研究室

猫本 健司 准教授

### 畜産環境や循環利用ならびに営農や就農に関する現況や課題の整理

卒論研究としてゼミ生が取り組んでいる内容は、畜産環境や家畜管理に関すること(搾乳排水の処理や水質分析、糞尿の循環利用や化学分析など)、農場の評価や新規就農に関すること(地域や個別農場の複合的評価、酪農・畑作の新規参入の調査)など実践的なテーマです。学生個々がテーマを決めて取り組んでいます。

畜産環境	家畜管理	糞尿処理
排水処理	経営評価	新規就農

## 園芸学研究室

森 志郎 准教授

### 花きを中心とした新規園芸植物の作出と高品質栽培技術の確立

花きには生活に豊かさや潤いを与える農作物のひとつです。研究室では植物組織培養などによって従来の品種改良では獲得できない新規性の高い園芸植物の作出を試みます。また、丹念な観察を通して生理生態学的情報を蓄積し、植物に合った環境条件を整えることで高品質な花きの栽培技術の確立を目指します。

園芸	花き	植物
品種改良	バイオ	栽培技術

## 協同組合学研究室

糸山 健介 講師

### 協同組合とは何か？新しい協同の形を考察する

協同組合とは、そもそも助け合って、組合員の発展に尽力する非営利組織です。具体的には、協同による交渉でもって、高く売って収入向上、安く買って費用節減などを実現します。しかし、近年では必ずしもそのようにならない場合があり、その背景に迫りながら、協同組合の進む方向について研究します。

農業経済学	持続可能な農業	流通システム
農業政策	農村社会	

## 環境微生物学研究室

岡本 英竜 准教授

### 酪農環境における微生物による発酵メカニズムを解析する

微生物と聞くと、病原体をイメージするかもしれませんが、しかし、酪農産業の安定生産に貢献している有用な微生物が存在し、我々の食料供給に役立っています。当研究室では、酪農生産や農畜産物食品あるいはそれらを取り巻く環境の微生物の生態と機能を探究しています。

悪臭低減	微生物群集	集積培養
培養不可能な微生物の検出		

## キリスト教応用倫理学研究室

小林 昭博 准教授

### 現代世界の多様なテーマを聖書やキリスト教思想を通して読み解く

応用倫理学は現代世界の多様な問題を現代世界に生きる人間の課題として思索する学問です。当研究室では、ジェンダー、セクシュアリティ、平和、自然との共生、終末期医療、脳死・臓器移植、いじめ、児童虐待、動物の権利といった現代世界の多様なテーマを聖書とキリスト教を中心とした西洋思想を通して読み解いていきます。

ジェンダー	セクシュアリティ	生命倫理
動物の権利	宗教	新約聖書

## 農業昆虫学研究室

中平 賢吾 准教授

### 天敵利用などの農業昆虫に関する研究

農業害虫の防除法には、農業の利用だけでなく、生物の機能を活用した天敵利用なども存在します。この天敵利用に関して、技術発展を目的とした研究として、天敵昆虫の生活史や行動などの基礎的な生態の解明や、農業現場における天敵昆虫の利用法などに関する応用的な研究を行っています。

持続可能な農業	昆虫	害虫
農学	農業	技術普及

## 英語圏文化研究室

藤田 佳也 准教授

### 「言語」「文化」「表現」を読み解く方法について学ぶ

文学、絵画、音楽、写真、映画、コマーシャル、広告といったさまざまな表現に具体的にあたりながら、「文化」というものを読み解く方法について学びます。考察の対象に対して自ら問題を設定し、その問題について論理的に考え、何らかの答えを導き出す能力を身につけるのが目標です。

文学	英語	言語
文化	表現	芸術

## 農業経営学研究室

吉岡 徹 准教授

### 経営調査を通して農業経営が成り立つ条件や方法を考える

日本の農業経営は厳しい環境に置かれていますが、付加価値の高い農産物を作ったり加工品製造やレストラン経営にチャレンジしたりする優良な経営が数多く存在します。当研究室ではそんなレベルの高い農業経営への調査を通じて、日本の農業経営がどうすれば長期的に成り立つのかを考えます。

農業経済学	農業経営	持続可能な農業
農村社会	農業6次化	

## 健康スポーツ科学研究室

柴田 啓介 助教

### 科学的根拠に基づいた トレーニング方法の探究

健康に過ごすためにもスポーツで活躍するためにも体力を高めることは重要です。本研究室では、体力を効率的・効果的に高めるためのトレーニング方法について研究しています。また、今後は農業従事者や酪農従事者の健康増進に資する研究も行っていきたいと考えています。

健康	運動	スポーツ
体力	トレーニング	

## 食物利用学研究室

宮崎 早花 講師

### おいしい食べ物とは何か さまざまな視点から考える

地域で生産される食材や未利用資源・新規食材などを活用し製品になるまでを目指して研究に取り組んでいます。食材の特性、生産地の文化や背景について造詣を深め、おいしく安全な料理を作るために必要な「調理の科学」を体系的に学んでいきます。料理コンテストや各種イベントにも参加します。

食品安全性	食品	農産加工
調理		

## 家畜生産改良学研究室

西寒水 将 講師

### 肉牛および乳牛の効率的な 牛群整備プログラムの設計

最近、肉牛および乳牛の農家1戸当たりの飼養頭数は増加しています。多頭数経営においては、牛の生産能力を均一化することが大切であり、そのためには計画的な牛群整備が必要。牛群整備プログラムの設計・実行、およびそのための能力評価値、ゲノミック評価値、受精卵移植技術等の繁殖技術の有効活用について検討します。

肉牛	乳牛	牛群整備
人工授精	受精卵移植	ゲノミック評価

## 家畜飼料学研究室

土井 和也 助教

### 輸入飼料に依存しない 家畜生産を目指して

日本は輸入飼料に依存しています。酪農では乳牛の高泌乳化により濃厚飼料を多給する必要があり、生産コストの半分以上を飼料費が占めています。輸入飼料に依存しない生産を行うためには、未利用資源の飼料化や高品質粗飼料の生産が必要になります。本研究室では、自給飼料に関する研究を実施し、輸入飼料に依存しない土地利用型酪農を目指します。

持続可能な農業	酪農	乳牛
飼料	家畜飼育	土地利用



酪農家と乳業メーカー  
発展の架け橋に。



私の実家は酪農家。小さい頃から食べる  
ことと動物が大好きで、高校生の時には食  
品や動物に関わる仕事がしたいと思ってい  
ました。その両分野が学べる大学として、  
私の理想と最も合致していたのが酪農学  
園大学でした。  
酪農学科では、酪農や食に関する座学だ  
けでなく、学内の農場で牛の胃の中に手を  
入れて内容を調べたり、学外実習では酪

酪農学部 酪農学科  
(現・循環農学類)

↓

**株式会社明治 札幌工場**

おがわ けいじ  
**小川 啓示** さん

2010年3月卒業  
北海道／武修館高校出身




農家の所で牛の世話をしたりしました。難  
しい内容も自分が学びたいと思っていたこ  
となので、楽しんで学習できました。講義の  
後は、日本拳法部で鍛錬。セミは酪農天然物  
化学研究室で、友人や先輩と植物成分の有  
用性について研究しました。  
現在は、株式会社明治の札幌工場に勤務  
しています。夢だった「食品や動物に関わ  
る仕事」を実現するにあたって、乳業は食  
品、動物(牛)のどちらにも関わることがで  
きる理想の職業です。工場では、酪農家か  
ら集乳したタンクローリーの受け入れ、検  
査そして乳飲料やヨーグルトを製造する  
業務を二貫して担当しています。食品を扱  
う責任ある仕事に、とてもやりがいを感じ  
ます。酪農家と乳業メーカーのさらなる発  
展への架け橋となれるよう努力していくこ  
とが、今の目標です。  
酪農学園大学でしか学べないことを実  
践し、よく学び、よく食へ、よく遊んでくだ  
さい！

## 現場に足を運び、

## 「本物を見る」ことを大切に。

私は北海道・せたな町の酪農家の家に生まれ、自然と向き合い、地域の人たちと助け合い、家族が共に働く姿に魅力を感じ、酪農学園大学に入学しました。在学中は2年間休学して道内の酪農家3軒とノルウェーの酪農家1軒で実習し、たくさんの人に出会い、育ててもらいました。復学すると、大学での学びが一層リアルなものになりました。この素晴らしい酪農をもっとたくさんの人に知ってもらいたいと、教員を目指すようになりました。そして牛に関わる現場がある、酪農学園大学附属とわの森三愛高校で働くことに。現在は、アグリクリ



イト科機農コースの長として、牛と向き合い、酪農後継者や酪農に興味を持つ生徒たちと向き合っています。酪農を学ぶため全国から集まった大学時代の素晴らしい仲間が現在、生徒が実習をする受け入れ農家の「親方」として、また生徒の「保護者」として、お世話になる場面も増えてきました。私の夢は、全国で活躍する教え子たちの元を回り、日本一周をすること。生徒たちが世界に羽ばたく時代なので、世界一周になるかもしれません。酪農学園大学には、その道のプロがたくさんいます。現場に足を運び、「本物を見る」「本人に会う」ことを大切にしてください。これぞ実学です。

酪農学部 酪農学科  
(現・循環農学類)

↓

**酪農学園大学附属  
とわの森三愛高校  
教諭**

にしかわ けん  
**西川 謙** さん

2002年3月卒業  
山形県／  
基督教独立学園高校出身



## 畜産試験場の技師として 地元貢献したい。

家畜の命に向き合い、人の食を支えている畜産を学びたいと、酪農学園大学へ入学。在学中は中小家畜研究会に所属し、主に羊を飼育、繁殖させていました。品種の交配を考えたり、出荷して食べるまでを学べる、楽しい活動でした。現在は畜産試験場の技師として、豚の飼養管理や飼料給与の技術開発をしています。併設する農業大学校で授業をしたり、豚の出荷手続きや優秀な雄豚の精液を販売普及もしています。県の畜産に貢献できることにやりがいを感じ、地元の養豚を盛り上げたいと思っています。

大学の肉畜生産ステーションで2年間アルバイトをし、鶏や羊の畜舎の掃除や給餌の管理、豚の繁殖・肥育などを経験しました。先輩・先生方から家畜の扱い方や飼育管理について多くのことを教えていただき、今の仕事にとても役に立っています。

大学では多様な勉強や経験ができます。アライグマの捕獲アルバイトも経験し、卒業



循環農学類 畜産学コース

↓

**長野県畜産試験場  
養豚養鶏部**

くらしな たえか  
**倉科 妙香** さん

2017年3月卒業  
長野県／南安曇農業高校出身



前に狩猟免許を取得しました。自分ができることが広がるのはとても楽しいことです。ぜひ、色々なことに挑戦し、さまざまな経験をしてほしいと思います。

# 食と健康学類

College of Agriculture, Food and Environment Sciences  
Department of Food Science and Human Wellness

「食べるは生きる」  
食を通じて人々を笑顔に

## 学びの流れ

### 1年次

#### 基盤教育

- ▼ 酪農学園教育
- ▼ 保健体育教育
- ▼ 導入教育
- ▼ 人文社会科学教育
- ▼ 情報教育
- ▼ キャリア教育
- ▼ 自然科学教育
- ▼ 外国語教育

#### 専門基礎教育および専門教育

- ▼ 管理栄養士コース

### 2年次

#### 基盤教育

- ▼ キャリア教育

#### 専門基礎教育

- ▼ 基礎科学領域
- ▼ 食品科学領域
- ▼ 情報科学領域
- ▼ 国際領域
- ▼ 教職コース(循環農学類、食と健康学類いずれかの学類に所属する)
- ▼ 管理栄養士コース
- ▼ 農業科学領域
- ▼ 環境科学領域
- ▼ 社会科学領域
- ▼ 全学共通専門基礎領域

#### 専門教育

- ▼ 管理栄養士コース

### 3・4年次

#### 専門教育

- ▼ 食品機能科学コース
- ▼ 食品開発学コース
- ▼ 教職コース(循環農学類、食と健康学類いずれかの学類に所属する)
- ▼ 食品流通学コース
- ▼ 管理栄養士コース



- 1 青果物計量販売実験
- 2 過熱水蒸気オーブンによるパン焼成試験
- 3 調理は科学です。管理栄養士として食に貢献できるスキルを習得します
- 4 発酵食品から分離した微生物の顕微鏡観察
- 5 ロースハムの糸巻き作業

# 「好き」をかたちに

## 学びのポイント

### POINT 1

**1年次には作物栽培や家畜に触れる農場実習で生産現場を体験**

食品全般を理解するため、土から育てた作物が人の体の中で変化するまで、二連の流れを体験しながら学べます。1年次には畑に種をまいて育てた野菜の収穫を行い、また、牛や羊、豚など家畜に触れて食品のもととなる生産現場を体験します。

### POINT 2

**安全・安心な「食品」の製造・加工・流通から健康・医療分野までをカバー**

食の分野は、安全性やアレルギーの問題、食料自給率の低下、高齢者向けの食品開発の必要性などさまざまな課題を持ち、食品にとどまらず健康・医療まで密接な関わりがあります。これらを体系的に学び、それぞれの専門性を深めていきます。



### POINT 3

**学内にある乳製品や肉製品製造実習工場で体験を通じて食を学ぶ**

ハムやベーコン、ソーセージなどをつくる食品加工実習室と、チーズやバター、アイスクリームをつくる乳製品製造実験実習室を完備。本格的な設備を使って、食品製造を学べます。

### POINT 4

**管理栄養士国家試験合格を目指す専門コースを設置**

国家資格である管理栄養士は社会的に需要が高く、取得すると活躍の場が広がります。専門コースでは、合格を目指した高度で効率的な学習ができます。

#### 取得可能資格

必要要件をみたせば卒業と同時に取得可能な資格です。

- 中学校教諭1種(理科・社会)※
- 高等学校教諭1種(理科・農業・公民)※
- 教職コースに所属しなくても教員免許の取得は可能です。
- ※管理栄養士コースを除く。

#### 受験資格

必要要件をみたせば受験する資格が得られます。

- 准学校心理士 ※管理栄養士コースを除く。
- 食品衛生責任者
- 栄養士 ※管理栄養士コースのみ。
- 食の6次産業化プロフェッサー(レベル1・2・3) ※管理栄養士コースを除く。

#### 任用資格

特定の職業に任用されるための資格。資格を取得後その職務について初めて効力を発揮する資格です。

- 食品衛生管理者 ● 食品衛生監視員
- 簿記検定2級3級 ● 販売士2級3級

#### 目指す職業

- 食品製造業
- 食品卸売・小売業
- 宿泊飲食サービス業
- 農業協同組合
- 教育・学習支援業
- 公務員 など
- 公務員 など

学生からの  
メッセージ

病院勤務の管理栄養士になるのが夢

中学のときから続けてきたソフ  
ト二ノスの経験を生かして、将来は  
スポーツに関わる仕事に就きたいと考えてい  
ました。そんな中、通っていた高校に大手食品  
メーカーで管理栄養士として働いている先輩  
が来校。「食」からもスポーツと関わることで  
できることを聞き、管理栄養士を目指して酪  
農学園大学に入学しました。

「食」は身近なものです。学問として向  
き合うと医学の知識も必要だったり初めて  
聞くことはかなりで、難しいという印象でし  
た。それでも、先生方の分かりやすい指導  
のおかげで、一つひとつ意味を理解してい  
き、次第にそれらがつながっていく面白さ  
に変わっていきました。そしてもう一つ分

かったのは、管理栄養士は献立を考えるだけ  
でなく、「人と関わる仕事」でもあること。  
患者さんから話を引き出し、食事や運動の  
相談も受けます。そこで欠かせない対話の  
トレーニングも兼ねて、2年からはグルーブ  
ワーク、3年からはカウンセリングの実習が  
増えていきます。また、企業の方と関わる機  
会もあり、私は出前寿司店の札幌海鮮丸さ  
んと共同で、スマートミール（健康な食事・食  
環境認証制度）弁当の開発に携わりまし  
た。この経験で仕事をする上で必要な「コミュ  
ニケーションや、その難しさについても学べ  
ました。

これらの体験を経て、私は人と関わること  
が好きだと気づき、将来は病院で患者さんの



食と健康学類

栄養教育学研究室 3年

山下千遥さん

北海道／とわの森三愛高校出身



食事相談を行う管理栄養士になる  
という明確な目標ができました。  
患者さんの健康状態に直接関わる  
責任の重い仕事ですが、それもま  
た大きなやりがいにつながると  
思っています。

教員からの  
メッセージ

家族のためになり仕事にもなる学問

食と健康学類

栄養教育学研究室

杉村留美子 准教授



私の専門である「栄養教育学」  
は、人の行動に着目した分野で  
す。例えば、食べてはいけないの  
について食べてしまう、運動しなけ  
ればいけないと分かっているても行  
動に移せないといった対象者に  
対して、管理栄養士はどのように  
アプローチしたらいいかについて  
研究しています。

健康やダイエットのために食事制限や運動  
をするにはやる気が重要で、これにはいく  
つか段階があります。そもそもやる気がない  
無関心な段階、少し関心はあるがデメリット  
ばかり目がいき行動に移せない段階、行動  
を起こしそれを維持している段階などがあ  
り、対象者がどの段階にいるのかを把握して、  
どう対処するかを学ぶのが「栄養教育学」。  
このスキルを身につけてこそ、栄養学などの  
知識を生かすことができるのです。

このように、管理栄養士には、対  
象者の話に耳を傾け、気持ちに寄り



添う、高い対人スキルが欠かせません。その  
力を養うために、本学では小学校や病院、保健  
所や保健センターなど、さまざまな施設での学  
外実習を実施しています。ほかにも、企業の方  
と接することもあり、対象者の年齢や立場シ  
チュエーションに応じた言葉づかいやマナーな  
どを身につけられるのも特徴です。  
学問として「食」を知ること、これまで  
なんとなくや、感覚で行っていた調理法  
や健康法に根拠が生まれることでしよう。そ  
れが自分や家族のために、そして仕事にもつ  
ながります。だからこそ「食」を学ぶ魅力で  
あり、面白いです。

# [カリキュラム]

☆1 管理栄養士コースは2年次開講 ☆2 管理栄養士コースは除く ☆3 外国人留学生のみ ※この内容は2019年4月1日現在のもので今後変更もあります。

## 1年次

### 基盤教育

- 建学原論
- 心理学 ☆1
- 地理学
- 生物学
- 運動の科学 ☆1
- 英語Ⅱ
- 循環農業概論
- キリスト教Ⅰ
- 文学 ☆1
- 法学
- 生物学実験
- 体育実技Ⅰ
- 英語Ⅲ
- 食と健康学概論
- キリスト教Ⅱ
- 社会学
- 日本国憲法 ☆1
- 化学
- 体育実技Ⅱ
- 英語Ⅳ
- 環境共生学概論
- 循環型農業論
- 日本史
- 経済学 ☆1
- 化学実験
- 情報科学の基礎 ☆1
- 日本語Ⅰ ☆3
- 獣医療概論
- 健士健民入門実習
- 世界史
- 解剖生理学 ☆1
- 情報処理基礎実習 ☆1
- 日本語Ⅱ ☆3
- 獣医療概論
- 哲学 ☆1
- 地誌
- 数学Ⅰ
- 物理学
- 情報処理基礎実習 ☆1
- 日本語Ⅱ ☆3
- 基礎実習Ⅰ
- 数学Ⅱ
- 地学
- 英語Ⅰ
- 基礎実習Ⅰ

### 専門基礎教育

- 国際関係とメディアコミュニケーションの科学
- 循環農業とワンヘルスサイエンス
- 人と動物の関係の科学

### 専門教育

- 【管理栄養士コース】
- 医学概論
- 解剖生理学Ⅰ
- 解剖生理学Ⅱ
- 生化学Ⅰ
- 生化学Ⅱ
- 生化学実験・実習Ⅰ
- 生化学実験・実習Ⅱ
- 食品学
- 調理学
- 食品学実験・実習Ⅰ
- 調理学実験・実習Ⅰ
- 基礎栄養学

### 教職課程教育

- 教育原理
- 教職入門
- 教育心理学

## 2年次

### 基盤教育

- キリスト教と諸宗教
- キリスト教と生命倫理
- 統計学Ⅰ
- 統計学Ⅱ
- 物理学実験
- 地学実験
- 英語演習Ⅰ
- 英語演習Ⅱ
- ドイツ語Ⅰ
- ドイツ語Ⅱ
- フランス語Ⅰ
- フランス語Ⅱ
- 中国語Ⅰ
- 中国語Ⅱ
- ハンブルⅠ
- ハンブルⅡ
- 基礎演習Ⅱ ☆2
- キャリアベーシック ☆2
- キャリア実習Ⅰ

### 専門基礎教育

- 無機化学
- 有機化学
- 物理化学
- 分析化学
- 生化学 ☆2
- 微生物学 ☆2
- 土壌学
- 植物遺伝学
- 動物遺伝学
- 植物生理学
- 動物生理学
- 民法・商法
- 行財政学概論
- 経済学
- ミクロ経済学
- マクロ経済学
- マーケティング論
- 経営学総論
- 日本経済論
- エネルギーの物理学
- ボランティア活動・NPO・NGO論
- 品質管理論
- 家畜解剖学
- 家畜生理・解剖学実験
- 家畜行動学
- 畜産学総論
- 畜産経営論
- 農業微生物学実験
- 農産物利用学実習
- 農業機械学
- 草地・飼料作物学
- 作物生態生理学実験
- 作物栽培学
- 園芸学
- 農業経営学概論
- 農業政策学
- 農業法

- 学外農場実習
- 海外農業実習
- 実践農業実習Ⅰ
- 実践農業実習Ⅱ
- 食品学 ☆2
- 乳科学
- 肉科学
- 食品化学
- 食品分析学
- 食品製造学
- 食品流通論 ☆2
- 食品産業界論
- 食料経済論
- 食品総合実験
- 応用生化学
- 食品卸・小売商業論
- 環境物理学
- 生物分類学
- 動物形態機能学
- 気象学の基礎
- 生物地球化学
- 北海道環境学
- アジア環境学
- 自然環境学実験・実習
- 環境法
- 野生動物学の基礎
- 動物生態学
- 植物生態学
- 地形・地質学
- 環境共生学外実習
- 地域研究
- 海外自然環境実習
- 情報処理演習
- GIS基礎演習
- GIS応用演習
- リモートセンシング基礎演習
- 流通経済論

- 簿記・会計学概論
- 協同組社会学
- 中小企業論
- 農畜産物市場論
- 農村社会学
- 社会調査法
- 国際経済論
- 国際関係論
- 国際理解
- 観光と地域振興の科学
- GIS・リモートセンシングによる空間情報の科学
- エントロピーから見たエネルギーの科学
- 食の安全・安心の科学
- 全学専門基礎特別演習

### 専門教育

- 【管理栄養士コース】
- 公衆衛生学
- 社会福祉概論
- 運動生理学
- 微生物学
- 解剖生理学実験・実習Ⅰ
- 解剖生理学実験・実習Ⅱ
- 食品加工学
- 食品学実験・実習Ⅱ
- 調理学実験・実習Ⅰ
- 栄養学実験・実習Ⅰ
- 応用栄養学Ⅰ
- 応用栄養学Ⅱ
- 栄養指導概論
- 臨床栄養学Ⅰ
- 臨床栄養学実験・実習Ⅰ
- 公衆栄養学Ⅰ
- 給食経営管理論

- 食品加工学
- 食品学実験・実習Ⅱ
- 調理学実験・実習Ⅰ
- 栄養学実験・実習Ⅰ
- 応用栄養学Ⅰ
- 応用栄養学Ⅱ
- 栄養指導概論
- 臨床栄養学Ⅰ
- 臨床栄養学実験・実習Ⅰ
- 公衆栄養学Ⅰ
- 給食経営管理論

### 【教職コース】

- 理科教育法Ⅰ

- 理科教育法Ⅱ
- 農業科教育法Ⅰ
- 農業科教育法Ⅱ
- 社会科・地理歴史科教育法Ⅰ
- 社会科・地理歴史科教育法Ⅱ
- 社会科・公民科教育法Ⅰ
- 社会科・公民科教育法Ⅱ

- 教職特論
- サービス・ラーニング

### 教職課程教育

- 特別支援教育論
- 教育課程論
- 教育方法論
- 生徒・進路指導論
- 教育相談論

## 3年次

### 基盤教育

- キャリアデザインⅠ ☆2
- キャリアデザインⅡ ☆2
- プレゼンテーション ☆2
- キャリア実習Ⅱ

### 専門基礎教育

- 専門ゼミナールⅠ ☆2
- 専門ゼミナールⅡ ☆2
- 調理学概論 ☆2
- 調理学実習Ⅰ ☆2
- 調理学実習Ⅱ ☆2
- 食品包装学
- HACCP実務管理者論
- 販売特論

### 【食品機能科学コース】

- 食品微生物学
- 食品栄養学
- タンパク質化学
- 食品と免疫
- 生物工学

- 発酵食品学
- 食品機能論
- 食品栄養化学実験
- 生化学実験
- 食品微生物学実験

### 【食品開発学コース】

- 乳製品製造学
- 肉製品製造学
- 食品製造システム論
- 微生物利用学
- 食品マーケティング戦略論
- 食品企画開発論
- 食品品質特性学実験
- 乳肉製造学実習

- 食品企画開発実習
- 食品微生物学

### 【食品流通学コース】

- 食品企画開発論
- 食品国際流通論
- 食品流通施設論
- 食品物流管理論
- 食品流通情報システム論
- 食品品質保全学
- 食品マーケティング戦略論
- 食品流通実験・実習Ⅰ
- 食品流通実験・実習Ⅱ
- 食品消費経済論

### 【管理栄養士コース】

- 健康管理概論
- 病理学
- 食品衛生学
- 食品加工学実習
- 食品衛生学実験・実習
- 応用栄養学Ⅲ
- 栄養学実験・実習Ⅱ
- 栄養教育論
- 栄養カウンセリング論
- 栄養指導論実習Ⅰ
- 栄養指導論実習Ⅱ
- 臨床栄養学Ⅱ
- 臨床栄養管理論
- 高齢者臨床栄養学

- 臨床栄養学実験・実習Ⅱ
- 公衆栄養学Ⅱ
- 公衆栄養学実習Ⅰ
- 食品流通論
- 給食管理実習Ⅰ
- 総合演習Ⅰ

- 【教職コース】
- 教育実習(高1免)
- 教育実習(中・高1免)
- 教職インターンシップⅠ
- 教職応用演習Ⅰ
- 教職応用演習Ⅱ
- 理科教育法Ⅲ
- 理科教育法Ⅳ

### 専門基礎教育

- 統計データ分析演習
- 農業施設学
- 農業施設・機械学実習
- 雑草学
- 実践農業実習Ⅲ
- 食品衛生学 ☆2
- 公衆衛生学 ☆2
- 食品関係法
- 免疫学
- 栄養生理学
- 食品物性学
- 食品資源学

- 消費者行動論
- 景観生態学
- 保全生物学
- サステナビリティ学
- 資源管理論
- 資源経済学

### 教職課程教育

- 教職概論
- 教育社会学
- 生涯学習論
- 理科教育法Ⅰ
- 理科教育法Ⅱ
- 農業科教育法Ⅰ

- 農業科教育法Ⅱ
- 社会科・地理歴史科教育法Ⅰ
- 社会科・地理歴史科教育法Ⅱ
- 社会科・公民科教育法Ⅰ
- 社会科・公民科教育法Ⅱ
- 道徳教育指導論

- 総合的な学習の時間の指導法
- 特別活動論
- 職業指導Ⅰ(農業)
- 職業指導Ⅱ(農業)

## 4年次

### 専門教育

- 専門ゼミナールⅢ ☆2
- 専門ゼミナールⅣ ☆2
- 卒業論文
- 企業経営分析論
- フードコーディネーター論
- 水圏資源学
- 食品調理製造実習

- 【管理栄養士コース】
- 総合演習Ⅱ
- 給食管理実習Ⅱ
- 臨床栄養学実習Ⅰ
- 臨床栄養学実習Ⅱ
- 公衆栄養学実習Ⅱ
- 健康栄養学演習Ⅰ
- 健康栄養学演習Ⅱ

- 【教職コース】
- 教職インターンシップⅡ
- 教材開発演習

### 教職課程教育

- 理科教育法Ⅲ
- 理科教育法Ⅳ
- 教職実践演習(中・高1免)
- 教育実習(高1免)
- 教育実習(中・高1免)

## 乳製品製造学研究室

竹田 保之 教授・栃原 孝志 講師

### 発酵乳製品の微生物叢および乳酸菌の機能解析と利用に関する研究

発酵乳製品における乳酸菌の動態や性質を生化学的、微生物学的、分子生物学的な手法を通して解析し、発酵乳製品の特性と乳酸菌の関係を詳しく調べることで発酵乳製品のさらなる価値の向上を目指すとともに、この過程で得られる珍しい機能を持った乳酸菌の有効利用方法を検討し、色々な食品への応用も目指しています。

牛乳	乳製品	チーズ
ヨーグルト	食品開発	乳酸菌

## 食品栄養化学研究室

小野寺 秀一 教授・上野 敬司 准教授

### 食資源を有効活用し、新しい機能性食品素材を開発する

食品の原材料および製品を対象に、主として機能性をもつオリゴ糖類およびペプチドとそれらの合成・分解に関わる酵素タンパクに関し、生物化学および遺伝子工学的な手法で研究しています。また、糖質代謝や脂質代謝などに影響を及ぼす各種糖質およびペプチドの栄養学的特性について、培養細胞およびラットを用いて研究しています。

オリゴ糖	3次機能	生活習慣病
腸内細菌	アスパラガス	動物実験

## 研究室の見方

研究室の名称と担当の教員名です

食品栄養化学研究室  
小野寺 秀一 教授・上野 敬司 准教授

研究内容です

食資源を有効活用し、新しい機能性食品素材を開発する

食品の原材料および製品を対象に、主として機能性をもつオリゴ糖類およびペプチドとそれらの合成・分解に関わる酵素タンパクに関し、生物化学および遺伝子工学的な手法で研究しています。また、糖質代謝や脂質代謝などに影響を及ぼす各種糖質およびペプチドの栄養学的特性について、培養細胞およびラットを用いて研究しています。

オリゴ糖 3次機能 生活習慣病  
腸内細菌 アスパラガス 動物実験

🔍 学びのKeywords  
気になるキーワードはインターネットなどで検索して興味を深めてみよう

## 数学研究室

上野 岳史 教授

### 自然演繹における部分構造論理の正規化可能条件についての研究

従来の論理学ではうまく記述することのできない状況が、科学のさまざまな領域で生じています。そのような分野の論理構造の解明に重要な役割を果たしているものに部分構造論理があります。当研究室では、この部分構造論理の成果をもとにして、食品科学を含めたさまざまな科学の場における論理構造解明の研究を行っています。

数学	数理科学	論理的思考
論理構造の解明		

## 応用生化学研究室

岩崎 智仁 教授・長谷川 靖洋 助教

### 骨格筋と食肉の生化学ならびに細胞組織学的研究

ヒトでは骨格筋量の維持が健康につながります。畜産動物の骨格筋はおいしい食肉になります。当研究室では、マウスや畜産動物の骨格筋を対象に骨格筋量の維持や食肉生産に関わる研究を生化学および顕微鏡組織学的な手法で行っています。近年では酸化ストレスに関わる筋損傷機構と鶏の異常硬化肉に関する研究を精力的に展開しています。

骨格筋	酸化ストレス	筋損傷と再生
食肉生産	食肉生化学	各種顕微鏡技法

## 食品企画開発研究室

阿部 茂 教授

### 食品業界の市場分析を行い、企業や地域と連携し商品開発を行う

新たな食品を開発する上で重要になる企画開発方法や関連する食品加工技術の基礎を学びます。食品業界の市場分析など社会科学的視点からの調査研究を行いつつ、地域性のある食材を題材にした食品開発に取り組み、企業や地域と連携しながら製品化を目指すことで、社会人として即戦力の人材育成を図ります。

地産地消	食品開発	食品製造
食品加工	マーケティング	過熱水蒸気

## 食品流通技術研究室

樋元 淳一 教授

### 農産物や食品の品質を保つための、選別、貯蔵、包装、輸送の技術開発

農産物が生産されてから、食品として消費者の元に届くまでには、選別、貯蔵、包装、輸送などさまざまなプロセスを経ています。それぞれのプロセスは、食品の美味しさや安全性といった品質をいかに維持するかが重要な問題となります。食品の流通過程における品質保全の観点から技術開発を進めます。

食品包装資材	青果物	品質
貯蔵	輸送	

## 食品物性学研究室

金田 勇 教授

### 分子ガストロノミーを志向した食品の物理学

分子ガストロノミーとは食べ物「美味しさ」を分子レベルで科学的に解明することを目的とする学問です。伝統的な調理法のなかに潜む秘密を化学や物理の言葉で説明し、「美味しさ」の原因を科学的に説明することを目指しています。このような研究は「美味しい」食品を再現性良く、大量に製造する技術に繋がることが期待されます。

食感改質	食品レオロジー	分子ガストロノミー
食品加工	食品の構造	食品コロイド

## 物流科学研究室

尾崎 亨 教授

### リユース容器と計量販売による物流コスト削減に関する実証的研究

生産者と消費者にとって物流とは何かを解明します。巨大化する食料品を取りまく物流の活動形態や内容など、実質的掌握者の実態を調査・分析し、今日発生している物流問題の本質を把握します。さらに、より豊かな国民生活を実現するための物流のあり方を探求します。

流通	コスト	リユース容器
計量販売	省資源	循環

## 応用微生物学研究室

山口 昭弘 教授・村松 圭 准教授

### 有用微生物の探索および新規発酵食材の開発に関する基礎研究

発酵食品は食材由来や加工段階で加えるさまざまな微生物が、それぞれのタイミングで独自に働くことにより完成する芸術作品とも言われます。本研究室では、野生酵母分離株を用いた酒類の試験醸造に関する基礎研究、ならびに乳酸菌や糸状菌などの有用菌による道産食材の付加価値向上を目指した基礎研究などを行っています。

微生物	発酵食品	ワイン
醸造	ピフィス菌	キノコ

## 食品生産システム研究室

本田 康夫 教授

### 生産管理の基礎を学び、食品産業での生産性向上を考える

食品産業では消費者に対し「食の安全」を保証するため衛生管理に重点を置く必要があります。しかし食品産業の発展を図るためには収益性についても考えていく必要があります。そこで食品産業での衛生管理、生産管理の基本を習得し、「食の安全」を保証し、そして収益性も確保する仕組みを研究します。

食の安全・安心	食品製造	食品加工
品質管理	生産管理	企業経営

## 肉製品製造学研究室

船津 保浩 教授・前田 尚之 講師

### 食肉製品および魚肉練製品の製造原理と品質改良に関する研究

ハム・ソーセージ等の食肉製品や蒲鉾・竹輪等の魚肉練製品の製造実験・実習および製品の製造原理に関する研究を行っています。また、ドライビーフや発酵サラミのような食肉製品の品質改良に関する研究および野生動物や畜産副産物の有効活用を目指した肉醤の開発等幅広く食品学的アプローチから研究しています。

食肉製品	魚肉練製品	ソーセージ
ハム	ベーコン	肉醤(しじしお)

## 教育発達心理学研究室

須賀 朋子 准教授

### 学校現場に必要な教育心理学、 特別支援教育を追究する

教職において、教育相談、教育心理学、特別支援教育、愛着の理論を学んでおくことは大切なことです。本研究では、最近問題となっているデートDV、暴力、虐待、いじめ、不登校についての研究を行います。また、特別支援教育(特に発達・知的障害)について取りあげ、発達検査の方法を学びながら卒業論文を書いています。

特別支援教育	教育心理学	DV
不登校	教育問題	

## 英語表現・科学英語研究室

白石 治恵 准教授

### 文学・文化からTOEICまで あらゆる英語に対応

英文学を中心に、英語圏の文学・文化を研究しています。特に18~19世紀ヨーロッパにおける食文化に焦点を当てています。また学生の必要に応じて会話や資格試験等の指導もします。国際化と情報化の進捗中、翻訳されるのを待っていて後れをとるのではなく、原書から情報と心理を読み取る力を養成します。

英米文学	英語資格	食文化
欧米文化	英会話	

## 流通学研究室

柳 京照 教授

### 国際経済下における 農業・加工・食品需給に関する研究

輸入自由化に伴う農産物・加工・食品の需給状況について研究を進めています。その前提として経済一般または世界経済の状況について重点的基礎研究を行っています。さらに農産加工に大きな力を持つ農協について研究を進めており、現在北東アジアにおける農協の比較研究を同時に進めています。

食品流通	食品加工	農産物需給
FTA・TPP	農協	農産物市場

## マーケティング研究室

長村 知幸 講師

### 消費者の心をつかむ 製品・サービスを考える

マーケティングとは、製品やサービスの価値をつくり出し、消費者にそれを伝え、届けるための企業活動を指します。皆さんも広告を見たり、店頭で買い物したりする際に、企業のマーケティング活動に触れる機会があるかと思います。当研究室ではさまざまな企業を対象に、新鮮で面白いマーケティング研究を追求していきます。

マーケティング	企業経営	消費者行動
地域ブランド	イノベーション	

## 流通情報システム研究室

三谷 光照 准教授

### 流通業における情報システムの進化を支える 情報技術(IT)に関する研究

コンピュータとその利用技術は現代社会では欠かせないものとなっています。当研究室では、流通システム分野のコンピュータ利用技術やさまざまな分野の新しい情報システム、利用する人間にやさしいコンピュータシステムについて探求しています。

流通ビジネス	IT	情報
トレーサビリティ	工学	流通情報

## 食品産業経済学研究室

深澤 史樹 准教授

### 食品産業と地域経済(農業や観光等)や 健康との関係性について

私たちは毎日、「食」を消費しています。近年、食習慣と健康との関わりが注目され、健康格差が問題視されています。皆さんの健康を支えている食品産業は、他にも地域経済(農業や観光産業等)とも深く関係しています。当研究室では、ゼミ学生自身が見つけた問題意識に立って、フィールドワーク中心に調査・分析しています。

健康格差	食と観光	食品ロス
フードバンク	地域経済	産業クラスター

## ■ 管理栄養士コース

## 食品加工学研究室

竹田 保之 教授

### 乳たんぱく質のアレルゲン性の解析と その効果的な低下方法の検討

加工技術の進歩と社会や個人のニーズの変化に伴いさまざまな加工食品が製造されています。当研究室は、食品素材が有する基本的性状を理解し栄養性、嗜好性ならびに機能性に及ぼす加工工程の影響やアレルゲンタンパク質の特徴とアレルゲン性低下方法等について、牛乳・乳製品を主な素材として研究しています。

管理栄養士	食品加工	乳製品
食品機能	食品分析	アレルギー

## 臨床栄養学研究室

大谷 克城 教授

### 抗酸化機能に着目した素材探索と 機能性に関する研究

老化や病気には、「酸化」が密接に関わります。私たちのからだには酸化から守る機構として抗酸化力が備わっていますが、加齢やストレス等により衰え、さまざまな病気を引き起こします。健康を維持するには、抗酸化物質を豊富に含む食品の摂取が重要です。北海道の多様な食素材について科学的に分析研究を行い、機能性食品開発の橋渡しを行います。

管理栄養士	臨床栄養	食品機能
成分解析	食品開発	生活習慣病

## 臨床栄養管理栄養学研究室

石井 智美 教授

### 21世紀の食へ貢献する 管理栄養士を目指して

「食を介して」は人を幸せにします。食に密接に関わる研究室として、食と健康をキーワードに、ライフステージ栄養に適したレシピ開発、和食の効能、伝統食品の機能性の検討、発酵食品の製造、世界の食文化の研究、南米での食と健康の調査などさまざまな研究をしています。食を介しての笑顔、一緒に広げましょう。

栄養	食文化	和食
ワイン	伝統食品	スイーツ

## 栄養教育学研究室

杉村 留美子 准教授

### 行動科学理論に基づく栄養教育 食行動変容の促しに関する研究

楽しみとしての食事から疾病の予防・治療のための食事まで、人が食事に求める意味はさまざまです。本研究室では、対象者が食習慣を自ら変容するために管理栄養士としてどのように関わることができるのか、行動科学理論と関連して考えます。食行動に及ぼす多様な要因を考慮し、食事制限を伴う難しさと合わせて検討します。

管理栄養士	栄養教育	行動科学
食習慣	食行動	健康の維持・増進

## 食品衛生学研究室

山口 昭弘 教授

### 食材の機能性や共生菌に注目した 食の安全と健康を科学する研究

食中毒や悪質な食品偽装などの重大な事件が頻発する今日、食の安全を科学の眼で守る食品衛生学の重要性は益々大きなものとなっています。本研究室では、食品素材そのものの機能性成分あるいは共生菌が持つ、病原性微生物に対する抗菌作用から生体防御系活性化作用まで、食物と健康に係る幅広い分野を研究対象としています。

食品機能	食の安全・安心	食品分析
微生物	品質管理	健康増進

## 食品学研究室

船津 保浩 教授

### 食品ロスのリサイクル技術と 道産食材を活用した低GI食品の開発

食品ロスの削減を目的として蒲鉾製造工場等から麴や乳酸菌を活用した発酵技術によりリサイクル調味料等を開発し、その特性分析と再利用技術について研究しています。また、生活習慣病予防の目的から道産食材を利用した血糖値が上昇しにくい食品(低GI食品)を開発し、栄養成分分析、官能評価およびGI値の測定を行っています。

血糖値	生活習慣病	食品ロス
官能評価	リサイクル	調味料

## 公衆栄養学研究室

木村 宣哉 助教

### 家庭・学校・職場・地域における 人々をフィールドとした研究

地域社会における食と健康に関する研究をしています。例えば、健康意識が高い人はより健康的な食事内容なのか、地域の健康寿命に影響する保健活動は何か、地域をアセスメントする上で重要な栄養・食生活の指標は何か等々です。公衆栄養学は幅広い領域のため、日常におけるさまざまなことがテーマとなるのが魅力です。

生活習慣病	食習慣	健康増進
健康寿命	ヘルスリテラシー	保健活動

## 給食栄養管理研究室

小林 道 講師

### 食習慣を科学的に評価して 人々の健康を考える

管理栄養士の考える食事（給食）は多くの人々の健康に影響を与えます。健康に良い食事を作るためには、科学的根拠に基づいた知識が必要です。私たちの研究室では、食事調査を用いて人々の食習慣を科学的に評価し、食習慣と健康の関連を明らかにするための研究に取り組んでいます。

管理栄養士	給食	栄養管理
食習慣	栄養疫学	食事調査

## 食・健康スポーツ科学研究室

山口 太一 准教授

### 食、健康、運動、スポーツに関わる問題や疑問を 科学的に明らかにする

スポーツ、運動、食、健康などをキーワードに調査ならびに実験を行います。多くのスポーツ選手のパフォーマンスの向上やけがの予防をサポートするようなスポーツ科学的な研究ならびに生活習慣病などの健康上の問題点を解消するための健康科学的な研究に取り組んでいます。

スポーツ	運動	トレーニング
健康	スポーツ栄養	ストレッチング



# 学生考案のブロッコリードレッシングを「第18回えべつ秋の特産味覚まつり」に出展



2018年10月13日(土)と14日(日)に江別河川防災ステーションで開催された「第18回えべつ秋の特産味覚まつり」において、食と健康学類の1年生が基礎演習(担当教員・長村知幸講師)の一環で、自分たちで考案したブロッコリードレッシングを出展しました。

「えべつ秋の特産味覚まつり」は、毎年秋に江別の特産品が集まる人気のイベントです。江別市内の飲食店が出店する飲食コーナーをはじめ、ステーションイベントや各種体験コーナーなどを設けて江別の多様な魅力を発信しています。

ドレッシングは2種類あり、どちらも江別産のブロッコリーを使用しています。一つはネギやトウガラシごま油の香りを生かしたピリ辛味も一つは牛乳やチーズ、バターを使ったまろやかな味です。まつりでは、400食の試食を提供しました。



「江別をPRできる商品開発を目指して、江別産ブロッコリーを活用した食べるドレッシングを作りました。ブロッコリーは、油と一緒に食べると栄養吸収が良くなります。ドレッシングとタイプの中間のような食感にしたので、サラダにかけてたりパンやクラッカーに乗せたり、いろいろな食べ方ができると思えます」と話しました。

長村知幸講師(マーケティング研究室)は「学生たちは食品開発に試行錯誤を繰り返すことで問題解決能力を身に付けるとともに、イベントに参加することで、地域についての知識と理解をさらに深めることができます。学生が考えた江別産食材を使った食べるドレッシングをより多くの方に知ってもらいたいです。別イベントの体験ブースにも出展し、来場者の方からさまざまな意見をいただいてさらなる改善に努めたいと考えております」と話しました。

## 本学と株式会社どんぐりがコラボ商品を販売

本学の食と健康学類・給食栄養管理研究室(小林道講師)では、産学連携の取り組みとしてパンを製造・販売している株式会社どんぐりと協働して学生のアイデアを取り入れたパンの企画開発を行っており、今年で6回目を迎えました。

学生たちの考案したパン7種類が商品化され、2018年11月21日(水)から12月19日(水)まで、どんぐり大麻店で販売されました。12月4日(火)には、3年生の小河菜々子さん、芝田志織さんの2名が店頭に立ち、自身が考案したパンをお客様に紹介しました。また3年生の岡崎菜衣さんは、厨房に入って仕込みを体験しました。



### 3年生の小河さんにインタビュー

クリームチーズあんぱん考案のきっかけは?

「クリームチーズとあんこが合うと前から思っていました。おやきにはあるアイデアなのに、パンにはないのが不思議でした。自分の夢が叶うパンを考えました」

こだわったことはありますか?  
「クリームチーズとあんこの比率は1対1で試作を行い、あん多めの比率を提案されましたが、自分のアイデアとして、比率1対1を貫きました」

全体を通じて、一番うれしかったことはなんですか?  
「友だちが雪降る寒い日に、往復2時間歩いて買いに行ってくれたことです。そのときに、売り場にあるあんぱんが少なくなっている写真を見て、『あんぱんがみんなの手に渡っている』と実感して、本当にうれしかったです」

これから生かしたいことはありますか?  
「食べてくれる人を考えてつくる経験を生かしたいです」

乳製品のプロフェッショナルを目指して。



小さい頃から乳製品全般が大好きで、自分でもそれを作る仕事をしたいと思うように。専門分野の授業や、乳製品・肉製品製造の実習施設が充実していたことが、酪農学園大学を選んだ最大の理由です。

ゼミでは乳製品製造学研究室に所属し、毎日のように実習や実験を行い、アル

食と健康学類  
食品開発学コース

タカナシ乳業株式会社

いけうち ゆりえ  
池内 百合絵 さん

2017年3月卒業  
北海道/市立函館高校出身



バイトと就職活動との両立に苦労しましたが、充実した大学生活でした。乳製品の实習や研究室の活動は、今の職業にとても役立っています。

進路を考える上で大事なことは好きなものに関わることだと思い、乳業メーカーに絞りました。タカナシ乳業を選んだのは、消費者にも働く人にも誠実な会社だと感じたからです。仕事の内容は主に乳製品の製造のオペレーターです。また、委員会活動(省エネ委員会や、安全委員会など)にも参加しています。乳製品の知識を深めて、今後どんな部署でも活躍できる人材になりたいですね。将来の夢は乳製品のプロフェッショナルになることです。

高校生の段階では、将来の夢などすぐに見つけられないかもしれませんが、少しでも興味あるものにたくさん触れて、その中でやりたいことを見つけてほしいと思います。

## 食品流通を学び

## 女性では珍しい「せり人」を目指して修業中。

私は中央卸売市場で、産地から送られてきた野菜や果物などを、仲卸や八百屋、バイヤーに販売する仕事をしています。酪農学園大学の物流科学研究室で市場見学をしたのが、この仕事に就くきっかけになりました。市場で働いている人たちは皆活気があり、また目の前でせりを見て感動し、自分も資格を取ってせりをしたいと思ったのです。まだ見習い段階なので、先輩の補助として少量の野菜を扱うのですが、すべて売れたときはとても嬉しく、達成感を感じます。



酪農学園大学では食品の商品開発、食品の成分分析、食品流通といった食の勉強を幅広く、しかも深く学べました。青果物の流通は大変複雑な仕組みですが、私はそれを学んできたので、スムーズに仕事に挑めました。YOSAKOサークルで体を動かすのが好きになり、人脈も広がったことは、今の仕事にも役立つと思います。酪農学園大学での勉強は、学んだことを生かしたい!と思うような興味深い内容ばかりでした。焦点を絞った専門的な知識がたくさん身につくので、自分のやりたいことが明確に見えるかと思うます。

食と健康学類  
食品流通学コース

↓

**金港青果株式会社**  
野菜第二部  
販売営業第1ユニット

くほ あゆみ  
**久保 亜祐末** さん

2016年3月卒業  
北海道/石狩南高校出身



## 食事・栄養管理を通じて

## 病気の改善に貢献できた時、やりがいを感じます。

高校生の時に食事とスポーツの関係を知ったことが、栄養学に興味を持ち、管理栄養士を目指すきっかけでした。同時期に祖父が糖尿病と分かり、栄養と病気に関係があることに関心を持ちました。

現在、私は管理栄養士として給食業務、栄養指導に従事しています。給食業務では患者様の食事点検などを行い、安全で安心な食事提供をしています。栄養指導では生活習慣病の栄養指導や人間ドック受診者に対する栄養指導を行っています。またチーム医療であるNST(栄養サポートチーム)の担当でもあります。

食事と栄養の管理を通じて病気の改善に貢献できた時、またNSTのチーム活動を通して、摂食が徐々にできるようになり、患者様が退院できた時には、特にやりがいを感じます。大学時代は苦手だった生化学、解剖生理学、病理学といった学問でしたが、臨床の場では必要不可欠となるため、仕事の上で役



当院の酪農学園大学出身の皆さんと一緒に

酪農学部 食品科学科 健康栄養学専攻  
(現・食と健康学類 管理栄養士コース)

↓

**医療法人徳洲会 札幌徳洲会病院**  
栄養管理室

きたむら ゆうじ  
**北村 雄治** さん

2009年3月卒業  
北海道/札幌手稲高校出身



立っています。当時の健専コースは、約40人の1クラスだったので、同級生と濃密に勉強し、遊びました。首席で卒業でき、両親に親孝行もできました。大学合格をゴールにするのではなく、専門的なことを学び、やりたいことを実現していったほしいと思います。



# 環境共生学類

College of Agriculture, Food and Environment Sciences  
Department of Environmental Sciences

世界の自然環境をどう守る？  
その答えを北海道から探す

## 学びの流れ

3・4年次

2年次

1年次

### 専門教育

- ▼ 専門共通教育
- ▼ 野生動物学コース専攻教育
- ▼ 生命環境学コース専攻教育
- ▼ 環境共生学類教育

### 専門基礎教育

- ▼ 基礎科学領域
- ▼ 食品科学領域
- ▼ 情報科学領域
- ▼ 国際領域
- ▼ 農業科学領域
- ▼ 環境科学領域
- ▼ 社会科学領域
- ▼ 全学共通専門基礎領域

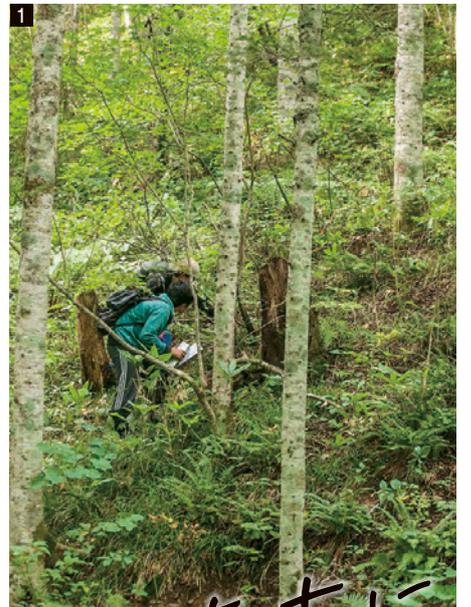
### 基盤教育

▼ キャリア教育

- ▼ 酪農学園教育
- ▼ 人文社会科学教育
- ▼ 自然科学教育
- ▼ 保健体育教育
- ▼ 情報教育
- ▼ 外国語教育
- ▼ 導入教育
- ▼ キャリア教育

### 基盤教育

- ▼ 酪農学園教育
- ▼ 人文社会科学教育
- ▼ 自然科学教育
- ▼ 保健体育教育
- ▼ 情報教育
- ▼ 外国語教育
- ▼ 導入教育
- ▼ キャリア教育



1 森林内で植物の同定や動物の痕跡を調査  
 2 野付風蓮道立自然公園園走古丹において冬を越すエゾシカ  
 3 6枚羽の大型ドローン  
 4 レーダを用いた雪雲の微細構造計測(名古屋大学と共同研究)  
 5 洞爺湖町ソウバツ川での多項目水質計を用いた水質観測

# 「好き」をかたちに

## 学びのポイント

### POINT 1

地球環境、生態系の仕組みやつながりを科学的に解明し問題解決の方法を探る

環境とは人や生物を取り巻く総体で、守るのも壊すのも人の考え次第です。野生の動植物に対して好き嫌いだけではなく、一つの生命として向き合い、すべての自然のつながりを理解する学びを行います。



### POINT 2

北海道から世界のフィールドで実学教育を実践

4年間を通してたくさんフィールドワークの機会があり、複雑な生態系を肌で感じながら学ぶことができます。学生の4人に1人が実習・調査・留学で、アジアやオセアニア、欧米、アフリカなどの海外経験をしていることも本学類の特徴です。

GIS(地理情報システム)、RS(リモートセンシング)を用いた情報解析を実践的に学ぶ

地域の諸問題の解決には人工衛星やドローンから得られる空からの目「RS」、さらに、その画像を他の情報と合わせて解析する「GIS」が不可欠です。これらの技術を講義だけでなく実習等も通じて実践的に学びます。

### POINT 4

自然と人が調和・共生する社会の実現に貢献できる人材を育成

本学類には環境に関するさまざまな分野を専門とする教員が在籍しています。広大なフィールドで、自然と共生する社会に貢献するための活きた力が養われます。

#### 取得可能資格

必要要件をみたせば卒業と同時に取得可能な資格です。

- 中学校教諭1種(理科)
- 高等学校教諭1種(理科)
- 准学校心理士
- 食品衛生責任者

#### 受験資格

必要要件をみたせば受験する資格が得られます。

- 鳥獣管理士 準1級(野生動物学コース 卒業必須)、2級、3級
- シカ捕獲認証レベル1

#### 学類でサポートする資格

- 気象予報士
- 生物分類技能検定
- 猟銃所持許可
- 船舶免許
- 狩猟免許
- ビオトープ管理士
- 公害防止管理者
- 環境測定分析士
- 技術士補

#### 目指す職業

- 環境・建設コンサルタント業
- 環境NPO・NGO法人
- 衛生サービス業
- 情報通信業
- 農業協同組合・森林組合
- 教育・学習支援業
- 教員
- 都道府県市町村公務員
- 狩猟者・認定鳥獣捕獲事業者 など

## 学生からの メッセージ

# 動物・植物、両方の研究の楽しさが味わえます

私はフィールドワークを通じて植物の研究をしています。3年生

までは「野生動物生態研究会」というサークルで、植物の調査をしていました。野幌森林公園での植物の開花調査など、楽しい思い出です。現在所属している環境植物学研究室では論文を読むとともに、先輩先生の調査に同行し、標茶町や苫前町などのフィールドワークに参加したことで、視野が広がりました。

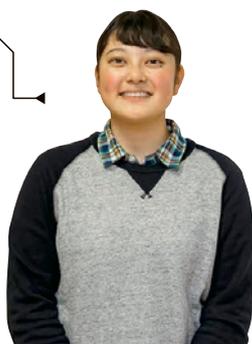
私は、シカの下層採食が、土壌環境や養分を変化させ、高木の成長と繁殖に影響するのかどうかを研究しています。樹冠付近の枝葉を採取するために、木登りもしました。この冬には熱帯雨林の研究のために、マレーシア

でフィールド調査をする予定です。

研究室のメンバーはみな植物好きで、何を話しても通じるので、とても恵まれた楽しい環境だと思っています。動物好きも多いので、動物と植物、両方の楽しさが味わえるのも特色かもしれません。今は次々と環境に関わる新しい職業が生まれ、色々な分野で環境視点が取り入れられていると思います。自分では業種業態にとらわれずに働きたいと思っています。環境教育にも興味があります。卒業後は環境保全に関わる仕事がしたいと思っています。

私の場合、入り口は「自然・環境」への興味でしたが、サークルで植物好きになり、もっと

深く知りたい、学びたいと思うようになりました。本学なら、好きなことの焦点が絞られてくると思えます。



環境共生学類

環境植物学研究室 4年

長根 由紀子さん

青森県／八戸西高校出身

## 教員からの メッセージ

環境共生学類  
環境植物学研究室  
松山 周平 准教授



環境植物学研究室では、「植物と環境の関わり合い」をテーマに研究をしています。環境とひとくくりにしますがそこに含まれる要素は大気、水、土、動物、他の植物など、本当に多様であると同時にこれらの関わり合い方も多様です。研究室では、その中でも動物と植物の関わり合いを研究テーマとしています。

たとえばヒゲマを介して植物の種子が運ばれますが、ヒゲマが減るとその植物の植生はどう変わっていくのか。あるいは、エゾシカが増えることで、農作物への被害だけではなく、自然の草花への被害はどうなるのか。答えは簡単ではありません。しかし、フィールドでじっくりと植物を観察し、データを集めることで、新しい知見が得られます。ヒゲマの研究ではヒゲマが生息していない利尻・奥尻の離島と、北海道本島の植物個体（ヤマトウ）のDNA型の比較から、見えてきたことがあります。

また、タンポポのような身近な植



物と環境との関わり合いにも注目しています。セイヨウタンポポは在来タンポポと交雑しないと思われていましたが、雑種があることが分かりました。タンポポは外来植物の雑種化、分布拡大の仕組みを知るのに、よい研究対象なのです。この学問は、自然観察が好きで「なぜここにこの植物が」「なぜこの植物はこんな形を」と不思議さを感じられる人に向いています。研究室では北海道の豊かなフィールドを存分に生かし文献、フィールドワークや、試料分析を行っています。卒業後は社会のさまざまな分野で環境視点を持ち、行動する人になってほしいと思います。

どんなことも「環境視点」で考えられる人に

# [ カリキュラム ] ☆1は外国人留学生のみ

※この内容は2019年4月1日現在のもので  
今後変更もあります。

## 1 年次

### 基盤教育

- 建学原論
- キリスト教I
- キリスト教II
- 循環型農業論
- 健士健民入門実習
- 哲学

- 心理学
- 文学
- 社会学
- 日本史
- 世界史
- 地誌

- 地理学
- 法学
- 日本国憲法
- 経済学
- 数学I
- 数学II

- 生物学
- 生物学実験
- 化学
- 化学実験
- 物理学
- 地学

- 運動の科学
- 体育実技I
- 体育実技II
- 情報科学の基礎
- 情報処理基礎演習
- 英語I

- 英語II
- 英語III
- 英語IV
- 日本語I ☆1
- 日本語II ☆1
- 基礎演習I

- 循環農学概論
- 食と健康学概論
- 環境共生学概論
- 獣医療概論

### 専門基礎教育

- 国際関係とメディアコミュニケーションの科学
- 循環農法とワンヘルスサイエンス
- 人と動物の関係の科学

### 教職課程教育

- 教育原理
- 教職入門
- 教育心理学

## 2 年次

### 基盤教育

- キリスト教と諸宗教
- キリスト教と生命倫理
- 統計学I
- 統計学II
- 物理学実験
- 地学実験
- 英語演習I
- 英語演習II
- ドイツ語I
- ドイツ語II
- フランス語I
- フランス語II
- 中国語I
- 中国語II
- ハングルI
- ハングルII
- 基礎演習II
- キャリアベーシック
- キャリア実習I

### 専門基礎教育

- 無機化学
- 有機化学
- 物理化学
- 分析化学
- 生化学
- 微生物学
- 土壌学
- 植物遺伝学
- 動物遺伝学
- 植物生理学
- 動物生理学
- 民法・商法
- 行財政学概論
- 経済原論
- ミクロ経済学
- マクロ経済学
- マーケティング論
- 経営学総論
- 日本経済論
- エネルギーの物理学
- ボランティア活動・NPO・NGO論
- 品質管理論
- 家畜解剖学
- 家畜生理・解剖学実験
- 家畜行動学
- 畜産学総論

- 畜産経営論
- 農業微生物学実験
- 農産物利用学実習
- 農業機械学
- 草地・飼料作物学
- 作物生態生理学実験
- 作物栽培学
- 園芸学
- 農業経営学概論
- 農業政策学
- 農業法
- 学外農場実習
- 海外農業実習
- 実践農業実習I
- 実践農業実習II
- 食品学
- 乳科学
- 食肉科学
- 食品化学
- 食品分析学
- 食品製造学
- 食品流通論
- 食品産業論
- 食料経済論
- 食品総合実験
- 応用生化学
- 食品卸・小売商業論

- 環境物理学
- 生物分類学
- 動物形態機能学
- 気象学の基礎
- 生物地球化学
- 北海道環境学
- アジア環境学
- 自然環境学実験・実習
- 環境法
- 野生動物学の基礎
- 動物生態学
- 植物生態学
- 地形・地質学
- 環境共生学外実習
- 地域研究
- 海外自然環境実習
- 情報処理演習
- GIS基礎演習
- GIS応用演習
- リモートセンシング基礎演習
- 流通経済論
- 簿記・会計学概論
- 協同組合学
- 中小企業論
- 農畜産物市場論
- 農村社会学

- 社会調査法
- 国際経済論
- 国際関係論
- 国際理解
- 国際法
- 観光と地域振興の科学
- GIS・リモートセンシングによる空間情報の科学
- エントロピーから見たエネルギーの科学
- 食の安全・安心の科学
- 全学専門基礎特別演習

### 教職課程教育

- 特別支援教育論
- 教育課程論
- 教育方法論
- 生徒・進路指導論
- 教育相談論



## 3 年次

### 基盤教育

- キャリアデザインI
- キャリアデザインII
- プレゼンテーション
- キャリア実習II

### 専門基礎教育

- 統計データ分析演習
- 農業施設学
- 農業施設・機械学実習
- 雑草学
- 実践農業実習III
- 食品衛生学
- 公衆衛生学
- 食品関係法
- 免疫学

- 栄養生理学
- 食品物性学
- 食品資源学
- 消費者行動論
- 景観生態学
- 保全生物学
- サステイナビリティ学
- 資源管理論
- 資源経済学

### 教職課程教育

- 教育社会学
- 道徳教育指導論
- 総合的な学習の時間の指導法
- 特別活動論
- 理科教育法I
- 理科教育法II

### 専門教育

- 専門ゼミナールI
- 専門ゼミナールII
- 環境変動のリモートセンシング
- 環境情報の解析
- 地域資源学
- 生息地保全管理論
- 環境アセスメント論
- ピオトーブ論

- 【野生動物学コース】
- 野生動物保全技術実習
- 野生動物観察同定実習
- 野生動物保全行政論
- 野生動物保全と人間事象
- 狩猟管理技術論
- 野生動物生態学
- 野生動物管理学
- 環境共生演習
- 実践野生動物学実習
- 植生保全学

- 【生命環境学コース】
- 森林環境学
- 水圏環境化学
- 自然環境保全と地球温暖化
- 環境気象・気候学
- 水圏・地圏総合実習
- 生命環境学実験実習
- 環境共生演習
- 植生保全学
- 実践生命環境学実習
- 火山・鉱物学



## 4 年次

### 専門教育

- 専門ゼミナールIII
- 専門ゼミナールIV
- 卒業論文
- 環境教育論
- 環境思想・倫理学
- 動物園・水族館学
- 自然再生エネルギー論

### 教職課程教育

- 教育実習(高1免)
- 教育実習(中・高1免)
- 教職実践演習(中・高1免)
- 理科教育法III
- 理科教育法IV



## 資源再利用学研究室

押谷 一 教授

### 限られた資源を有効に利用して 持続可能な循環型社会を形成する

地球上で人間が利用できる資源は有限です。資源を大量に消費する社会から、資源を有効に利用し、未利用資源を開発して持続可能な社会とすることが求められています。廃棄物の有効利用や自然エネルギーによって循環型経済に転換するための研究を進めています。生き生きとしたコミュニティ(地域社会)づくりに取り組んでいます。

循環型経済	自然再生エネルギー	地域資源
コミュニティ開発	まちづくり	環境と観光

## 野生動物生態学研究室

佐藤 喜和 教授

### フィールドワークを通じて 野生動物の生態を探る

野生動物と人間の間にあるさまざまな問題を解決するため、科学的な根拠に基づく保護や管理が求められています。野生動物の生態を明らかにすることは、野生動物への理解を深めると同時に、その保護管理に不可欠な情報をもたらします。北海道の森林を代表するヒグマを中心に、その生態解明と適切な保護管理を目指します。

フィールドワーク	ヒグマ	鳥獣対策
野生動物	森林	

## 研究室の見方

研究室の名称と担当の教員名です

野生動物生態学研究室  
佐藤 喜和 教授

フィールドワークを通じて  
野生動物の生態を探る

野生動物と人間の間にあるさまざまな問題を解決するため、科学的な根拠に基づく保護や管理が求められています。野生動物の生態を明らかにすることは、野生動物への理解を深めると同時に、その保護管理に不可欠な情報をもたらします。北海道の森林を代表するヒグマを中心に、その生態解明と適切な保護管理を目指します。

フィールドワーク ヒグマ 鳥獣対策

学びのKeywords  
気になるキーワードはインターネットなどで検索して興味を深めてみよう

## 情報工学研究室

高取 則彦 教授

### 生物進化のシミュレーションと 進化的計算法

生物は長い時間をかけて進化してきました。環境が変わると生物の形や機能がどのように変わっていくのか、コンピュータの画面上で観察してみようと考えています。また、生物の進化にヒントを得た「進化的計算法」という問題の解法があります。これを応用して、さまざまな問題を解くことも試みています。

情報科学	シミュレーション	生物の進化
最適化		

## 哲学・人文諸科学研究室

小林 敬 教授

### ガブリエル・マルセルの 宗教哲学の研究

教育面では学群内外の哲学、仏語両系統の授業を持ち、研究面ではライフワークたるフランスの哲人G.マルセルの研究を中心にフランス実存思想およびキリスト教思想を学んでいます。97年には科研費・研究成果公開促進費により著書『存在の光を求めて』を出版しました。近年では「小林敬自身のオリジナルな哲学的思索」をも、(遺言?代わりに)徐々に公表し始めつつあります。

全学教育	哲学	フランス語
宗教思想		

## 環境GIS研究室

金子 正美 教授

### 北海道とアジアの自然環境を GISを用いて解析する

人工衛星の画像やさまざまな地理情報をコンピュータで地図化し、野生動物植物がどのような環境に生息しているかを解析し、人間と野生生物にとって望ましい土地利用のデザインを探っています。研究対象地は、北海道のみならず、マレーシアのオランウータンやゾウ生息地の研究も行っています。

リモートセンシング	GISによる野生動物管理	アジアの野生動物保護と環境再生
持続的な開発目標 (SDGs)	環境教育とESD	

## 環境リモートセンシング研究室

星野 仏方 教授

### オオカミと共存する遊牧民と 退化草原を甦生させるレジリエンス

エゾオオカミが北海道で絶滅してから120年経ち、エゾシカによる農林業被害額は40億近くあります。「蒼き狼」の故郷と呼ばれているモンゴル草原に暮らす遊牧民はずっと昔からオオカミと共存できたのは何故か?また、退化草原を甦生させるさまざまな草原げっ歯類や極限に生きる植物の生理・生態のナゾの解明に挑戦します。

リモートセンシング	乾燥地・半乾燥地	衛星追跡
ハイロオオカミ	共存・共生	黄砂と微生物

## 水質化学研究室

中谷 暢丈 教授

### 水環境での物質循環過程や 人為的汚濁・汚染を化学的に解析評価

人間生活と自然環境に不可欠な「水」を対象に、化学的手法を用いたモニタリング調査や室内実験から、水環境における物質循環過程や人為的な汚濁および汚染を解析評価することで、地域特性に応じた自然環境の保全を探っています。また、それらの要素技術となる新たな水質分析や水質浄化の方法についても研究しています。

川	湖	環境観測・計測
生命環境	環境汚染(水質・大気)	化学

## 環境法研究室

遠井 朗子 教授

### 地球環境条約の履行確保と 国内実施方法の検討

地球環境条約はその中長期目標へ向けて、締約国に規制だけではなく、市民、事業者の協力を促すためのさまざまな措置を求めようになりました。FITによる再生エネルギー導入促進はその一つですが、課題もあります。本年度は洋上風力発電事業計画について、地元行政の対応や地域住民の意見を確認し、課題を明らかにしようとしています。

国際環境法	環境法政策	生物多様性
再生可能エネルギー	環境アセスメント	環境犯罪

## フィールド情報学研究室

森 夏節 教授

### フィールドから得られたデータを分析、解析し、 明らかとなった諸問題を情報技術を用いて解決する

フィールドから得られたデータや諸現象を汎用ビジネスソフトやGISソフトを用いて分析、解析し、得られた結果から環境負荷を低減するために情報技術を用いて改善することを目指しています。対象となるフィールドは自然環境に限らず、私たちが暮らす高度に情報化が発達した社会についても研究対象としています。

IT化と環境	環境問題	地理情報システム
地球環境	環境教育	情報技術の習得

## 身体環境学研究室

牧原 統 教授

### 人の健康づくりと自然環境との 共生などの諸問題を研究

健康をテーマに、より積極的な運動の実践と人の健康調査や人と自然環境との共生に関する諸問題などについてフィールドワークを通しての実態調査をし、個人の積極的な健康づくりの必要性と社会での自然環境との共生の実態等の問題を分析調査研究します。テーマを基に自主的、積極的に考え活動する研究室です。

フィールドワーク	環境問題	海
環境保全	人の健康教育	スポーツ

## 生態系物質循環研究室

保原 達 教授

### 生態系の生物と環境を行き来する 物質の循環を研究

自然生態系では、生物と生物が繋がって生きています。しかしそれだけではなく、生物は非生物(大気や水や土)などとも密接な繋がりを持っています。本研究室では、こうした無数の生物や非生物からなる生態系の繋がりを、それらが共通して持っている「物質」や「元素」の分析を基に明らかにしていきます。

植物	土壌	養分
元素	火山灰	地質

## 環境空間情報学研究室

小川 健太 准教授

### GIS・RS技術の応用

ドローン(UAV)や地球観測衛星などにより撮影した画像を農業・環境・防災分野で応用し研究しています。GIS(地理情報システム)・RS(リモートセンシング)技術を用いた農地モニタリングの応用、野生動物の追跡・生態の把握、大規模災害時におけるGISを用いた状況認識等を実施しています。

地球環境	環境観測・計測	リモートセンシング
人工衛星	ドローン	GIS

## 狩猟管理学研究室

伊吾田 宏正 准教授

### 持続的な狩猟の発展および 狩猟鳥獣の生態と管理

野生動物管理において重要な役割をもつ狩猟や捕獲の価値を高め、狩猟鳥獣の理想的な管理を実現するために、エゾシカなどの鳥獣の生態と管理手法、狩猟活動の実態、狩猟者教育、鳥獣の持続的な資源利用などに関して、フィールド調査を中心とした研究を行っています。

狩猟	鳥獣	生態
管理	捕獲	資源利用

## 環境地球化学研究室

吉田 磨 教授

### 地球の生命も環境も守るために、 多様なフィールドで観測研究

現在と未来の環境に密接に関わる地球温暖化関連物質の生物地球化学的な循環について、フィールドで教育研究を行っています。生命を宿す森林・河川・湖沼・海洋および農地のフィールドで得られた観測結果を解析し、環境変動・変化を解明し、地域の一次産業と自然環境の共生を目指して北海道での地方創生にも挑戦しています。

地球温暖化	環境変化	環境観測・計測
海	環境教育	地方創生

## 気象・気候学研究室

馬場 賢治 准教授

### 大気や海洋の見地から 社会や動植物に与える影響を研究

大気や海洋により形成された天気や気候は、人間や社会、動植物・土壌などに大きな影響を与えています。本研究室では、国内外のフィールド観測や人工衛星、気象モデル等のデータを利用して、気象学的もしくは気候学的なアプローチから、大気・海洋・陸面・生物圏・社会の関わりの研究を行っています。

気象・気候	環境汚染(水質・大気)	環境観測・計測
大気海洋相互作用	海水	教職

## 生物多様性保全研究室

立木 靖之 准教授

### 持続可能な地域社会と 生物多様性の保全についての研究

野生動物のような地域の生物多様性と人の間に発生する問題は世界中で共通した課題です。本研究室のキーワードは「人」です。北海道内やポルネオ島などの国外もフィールドとし、その地域に暮らす人々と生物多様性の関係について注目し、現地調査や文献から得られる「事実」を基に、適切な生物多様性保全のあり方を考えていきます。

鳥獣対策	生物多様性	フィールドワーク
海外	環境保全	地域社会

## 保全生物学研究室

鈴木 透 准教授

### 野生動物と自然環境の 相互関係を科学的に研究

哺乳類・鳥類などのさまざまな野生動物について、自動撮影装置・ドローンといった技術を駆使したフィールド調査を行っています。さらに、GISや数理モデルを用いて、調査した野生動物と自然環境の相互関係を科学的に明らかにすることで、よりよい野生動物の保全方法について検討しています。

生物多様性	保全	景観生態
フィールドワーク	GIS	ドローン

## 環境動物学研究室

森 さやか 准教授

### 主に鳥類を対象に野生動物の 生態と保全に関わる研究に取り組む

鳥類は陸上で最も繁栄している脊椎動物で、最も身近な野生動物です。鳥類には、さまざまな生息環境や食物資源、行動範囲、渡り特性を持つ種が存在します。そのため、鳥類はさまざまな環境の変化を捉える指標になります。本研究室では、各種鳥類の生態や行動、保全に関わる研究を、野外調査とDNA解析などを用いて進めています。

生物多様性	環境保全	野生動物
フィールドワーク	DNA分析	GIS

## 環境植物学研究室

松山 周平 准教授

### DNA分析や操作実験を用いて、 植物と環境の関係を研究する

自然植生の保全のために植物と環境との相互作用関係の解明に取り組んでいます。具体的には、野外での観察や操作実験、DNA分析等を用いて、植物と種子を散布する動物との関係、シカの増加が森林植生に及ぼす影響の解明、特異な土壌に生育する希少植物の生態、セイヨウタンポポなどの外来植物に見られる繁殖特性などを研究しています。

植物	森林	生物多様性
希少植物	フィールドワーク	DNA分析

## 生物資源保全学研究室

原村 隆司 准教授

### 生物多様性保全を目的とした、 動物の行動・生態に関する研究

動物の行動や生態を調査することで、それらが環境にどのように適応しているのかを解明し、生物多様性保全に役立てています。主に両生爬虫類や昆虫などの身近な動物を対象に、北海道から沖縄県までをフィールドとして活動しています。また、外来種の生態解明や防除法開発に関する研究も行い、地域の自然環境保全を目指しています。

外来種	生物多様性	フィールドワーク
両生類	動物行動	自然保護

## 鳥獣管理学研究室

伊藤 哲治 助教

### 野外での調査・活動を通じて、 鳥獣管理のための知見を得る

現在、人と野生動物の軋轢が大きな問題となっています。問題を解決・改善に導くには、さまざまな視点で問題について調べる必要があります。本研究室は、野外調査で得られた野生動物のさまざまな情報や試料から、鳥獣管理のための情報を得て、管理の方向性を探ります。また、被害対策や普及啓発を通じて、人と野生動物の軋轢問題の改善を試みます。

野生動物	鳥獣管理	フィールドワーク
DNA分析	被害対策	地域交流

## 国際理解学研究室

吉中 厚裕 准教授

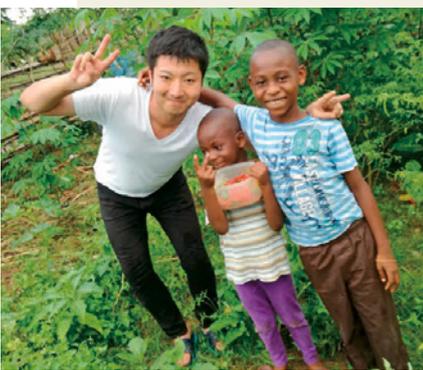
### 持続可能な社会実現のための 「地球」と「地域」両視点の尊重と統合

自然と共生した持続可能な社会の実現に向けて、異文化・国際理解、国際環境ガバナンス、国連システム、国際協力、持続可能な開発目標などを切り口とし、北海道や国内外の具体的な事例を題材に、地球規模の視点と各地域特有の課題との関係性の強化に資する、実際的かつ行動指向型な研究を目指しています。

生物多様性	フィールドワーク	地球環境
環境政策	自然資源の保護・利用	地域社会



青年海外協力隊で、  
発展途上国の子どもたちにも笑顔をもたらし笑顔。



環境共生学類 生命環境学コース

青年海外協力隊  
ガーナ 理科教育  
(ガーナ ボルタ州 カジェビ郡  
カジェビ・アサト高校)

しげる ほくと  
茂 北斗 さん

2016年3月卒業  
北海道／標茶高校出身



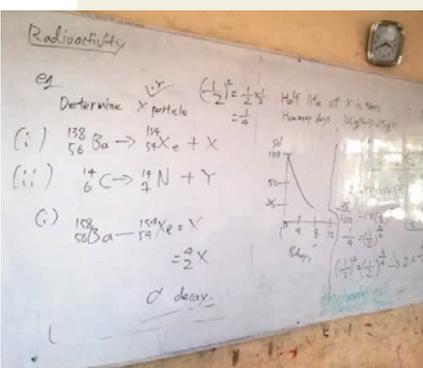
私は幼い頃、きこの博士になりたいと思っ、その後研究職、海外で仕事をすること、教員にも興味をもつようになりまし。自然が好きで、海外への憧れもあり、環境の整っている酪農学園大学に進学しました。

大学では日本有数の施設を誇る環境GIS(地図とIT情報を融合させたシ

ステム)研究室に所属。そこで小学生向けの環境教育も学び、教えることのすばらしさ、難しさも実感しました。海外実習にも参加し、世界を肌で感じる良い機会になりました。プライベートでは4人部屋の寮生活と軽音サークルが、なつかしい思い出です。

海外生活に挑戦してみたかったので、自分の好きな教えることと、海外生活を両立できる協力隊に応募しました。現在は青年海外協力隊・理科教育・ガーナ派遣。高校1年生を対象とした化学の指導および小学生向けの実験の指導をしています。ガーナでは、大学時代に培った経験がすべて生かされています。

帰国後は自分の力で生きていける人間になること、自立することが目標ですが、ガーナでの日々はその礎になってくれると思います。一生懸命頑張ったことは大学卒業後も無駄にはなりません。好きなことに打ち込んでください。



# ゼミで学んだGIS、GPSの

# 知識を生かし、農地整備に伴う

# 暗渠管の設計をしています。

高校時代から地理が大好きでした。酪農学園大学には日本有数のGIS（地図とIT情報）を融合させたシステム施設があると知り、また環境問題にも関心があったので入学しました。ゼミで学んだGISやGPSの知識を生かすために、現在の会社に就職しました。主に農地の測量をして、水はけの悪さや養分の偏りをなくすなどのために農地整備に伴う暗渠管（あんきょかん）の方向や勾配、口径などの設計を担当しています。私が関わった畑が整備され、利用されている様子を見ると、手応えを感じられます。



在学中は教職課程も履修し、人への教え方や接し方などに役立つと感じます。また熱気球愛好会に所属し、熱気球を自作して全国各地の大会に参加したことも、良い経験でした。廃部の危機など苦しいこともありましたが、おかげで人間的に成長できたと思います。勤務先は帯広市にあるので、現在も熱気球を楽しんでいます。酪農学園大学では学びたいこと、挑戦したいことが、すべて自分の意志次第でできると思っています。思い切り自分の興味を掘り下げて、楽しんでほしいと思います。それがきっと将来に役立ちます。

環境システム学部 地域環境学科  
(現・環境共生学類 生命環境学コース)

## 株式会社 安井測量設計事務所

さぬい れいや  
讚井 麗也 さん

2014年3月卒業  
北海道／札幌啓成高校出身



# 北海道各地での

# 多岐にわたる実習の経験が

# 現在の仕事に役立つています。

野生動物保護管理事務所(WMO)は、日本の生物多様性保全と野生動物保護管理システムの確立を目指し、野生動物の生態とこれに関わる人との問題を解決すべく、日々活動しています。私は現在、調査事業部に所属し、研究員として主に野外での野生動物の調査を行っています。具体的には、シカやサルなどの野生動物に発信器を装着し行動を把握したり、センサーカメラを設置し分布や密度を把握したりしています。

この仕事では野生動物をとりまく社会的問題や人と人とのつながりにまで目を向ける必要があります。さまざまな問題を地道に一つずつ解決していかなければなりません。外来種や増えすぎてしまった動物、人とのあつれきが深くなってしまった動物なども扱います。人の都合で消えてしまつ命を少しでも減らせるように日々従事しています。

研究室では、ライトセンサー調査をはじめとし、シカの生体捕獲、テレメトリー調査などの野生動物の野外調査や、GISを使ったデータ解析



環境共生学類 野生動物学コース

## 株式会社 野生動物保護管理事務所 調査事業部

さかき あおい  
榊 葵 さん

2016年3月卒業  
岩手県／一関第一高校出身



などさまざまな経験ができました。この経験は、今の仕事をする上でとても役立っています。野生動物を専門にした研究室がこれだけたくさんあるのは、酪農学園大学の大きな魅力です。大学4年間はあつという間です。ぜひ、少しでも興味のある分野で学び、夢を見つけてください。



# 獣医学類

School of Veterinary Medicine  
Department of Veterinary Medicine

動物にも人間にも  
信頼される獣医師になる

## 学びの流れ

5・6年次

1・2・3・4・5年次

1・2年次

### 専修教育

- ▼ 専修教育共通科目
- ▼ 生体機能専修コース
- ▼ 感染・病理学専修コース
- ▼ 衛生・環境学専修コース
- ▼ 生産動物医療専修コース
- ▼ 伴侶動物医療専修コース

### 専修教育

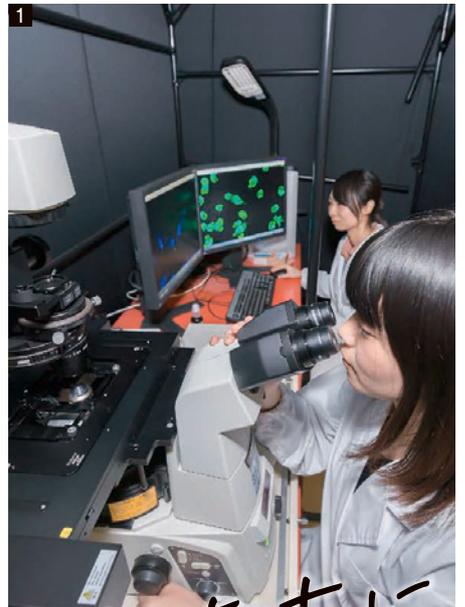
- ▼ 専修教育共通科目

### 専門基礎教育・専門教育

- ▼ 全学共通専門基礎科目
- ▼ 感染・病理学分野
- ▼ 生産動物医療学分野
- ▼ 衛生・環境学分野
- ▼ 伴侶動物医療学分野
- ▼ 生体機能学分野

### 基盤教育

- ▼ 酪農学園教育
- ▼ 人文社会科学教育
- ▼ 自然科学教育
- ▼ 保健体育教育
- ▼ 情報教育
- ▼ 外国語教育
- ▼ 導入教育
- ▼ キャリア教育



- 1 レーザー共焦点顕微鏡で細胞や分子の機能を調べます
- 2 日本で最高レベルの動物のためのチーム医療を実践しています
- 3 生産動物獣医師育成のための実践的で充実した診療教育施設を有しています
- 4 細菌を破壊するバクテリオファージによる新しい治療法を開発
- 5 感染症の蔓延に関する病原微生物の動態について研究

# 「好き」をかたちに

## 学びのポイント

### POINT 1

**6年一貫教育で、獣医師として将来活躍する分野を見据えた高度な専門性を養う**

「動物のお医者さん」だけではなく、獣医師の仕事は多岐にわたり、グローバルに活躍できます。本学類では実践的な学びを通して多様なニーズに応えていきます。

### POINT 2

**専門分野は、生体機能学、感染・病理学、衛生・環境学、生産動物医療学、伴侶動物医療学の5分野に区分**

伴侶動物の病院をはじめ、人の健康を支える公衆衛生、動物を使った新薬の研究、家畜を守ることなど、さまざまな獣医師の役割を専門的に学ぶ5分野を設けています。



### POINT 3

**日本一の診療件数を誇り、最新の施設・設備を備えた附属動物医療センターで実践的な教育を実施**

附属動物医療センターは日本一の診療件数を誇り、実際の症例を学ぶ機会が格段に多くあります。さらに学外の研究者を呼んで最先端の研究にふれたり、製薬会社などの企業と連携して現場を体験したり、将来の方向性に応じて高度な実験や実習に取り組める体制を整えています。

### POINT 4

**学生3人に担当教員1人がついて、しっかりと実践力を磨くアドバイザー制が整っている**

学習の進み具合から専門への方向性まで、担当教員が学生一人ひとりに応じてアドバイザーします。国家試験に合格して獣医師になるまで、細やかに指導していきます。

#### 取得可能資格

- 食品衛生責任者

#### 受験資格

必要要件をみたせば受験する資格が得られます。

- 獣医師国家試験 (家畜人工授精師) (家畜体内受精卵移植・家畜体外受精卵移植)
- 内について、獣医師免許取得者は業務を行うことができます。

#### 任用資格

特定の職業に任用されるための資格。資格を取得後、その職務について初めて効力を発揮する資格です。

- と畜検査員
- 食品衛生監視員
- 薬事監視員
- 環境衛生監視員
- 狂犬病予防員
- 食品衛生管理者
- 飼料製造管理者

#### 目指す職業

- 動物医薬品製造業
  - 農業共済組合
  - 動物病院
  - 研究機関
  - 公務員
- (農林水産省、厚生労働省、環境省ほか) など

学生からの  
メッセージ

実践的に考えさせられ、鍛えられる抜群の環境

私の祖父が和牛の生産者だったので、幼い時から牛が身近な存在でした。中学生の時には牛の難産を経験し、逆子の大変さを知りました。その時の獣医さんを見て、生産動物の獣医になりたいと思ひ、迷わず酪農学園大学へ。本学は牛を学ぶには、これ以上ない恵まれた環境です。牛に関する学術的な知見は、日本有数のレベルです。各分野で高い専門性を持った先生方に教えてもらえるのは、学びがいがあるとともに緊張し、真剣になります。

4年生の後期から「内科学IIユニット」に所属し、研究とともに、農家に往診に行き、治療もします。現場では先生のアシスタントです

が、聴診器を与えられて、「君ならどうする？」と聞かれることもしばしば。自分なりに必死になって、「肺炎なので、薬は…」などと答えます。それについて、先生から指導をしていただきます。

このように獣医療チームの一員として参加し、実践的に考えさせられ、鍛えてもらっています。研究室での勉強が実際の現場でどう生きるか、試されているという緊張感もあり、それが成長のモチベーションになっています。今は小さいころからの夢である獣医師を目指して、国家試験の準備中。勉強は大変ですが、自分の好きなことに集中している充実感があります。



獣医学類  
生産動物内科学IIユニット 5年  
森川 雄介さん  
兵庫県／龍野高校出身

本学のキャンパスは広大で、牛が多く、札幌にも近いので、学生生活を楽しく送れます。獣医師になるのは狭き門ですが、素晴らしい仕事と信じ、自分を信じて、頑張っています。

獣医学類  
生産動物外科学ユニット  
加藤 敏英 教授



酪農学園大学で学ぶ最大のメリットは、北海道という畜産王国を背景にした基礎系と臨床系の学問連携です。基礎系の知見を臨床に応用する、あるいは臨床の疑問や問題点を基礎系で解決することを目指しています。

私は牛の外科臨床のほか細菌感

染症研究にも携わっており、特に薬剤耐性菌への臨床的対応がテーマです。これはWHOが提唱している「ワンワールド・ワンヘルズ」における最大の課題でもあります。耐性菌を含め、感染症には国境がありません。また、生き物の種を超えてしまう感染症も数多くあります。現代は人や動物の病気を治すためにたくさん抗生剤が使われています。その中で耐性菌が生まれ、動物から人、人から自然界へと、拡散の方向性がひとつではなくなり気付かないうちにリスクが高まっています。人の健康を守るためにも「ワンワールド・ワンヘルズ」の発想が必要です。



獣医療での対策としては、まずエビデンスに基づいて抗生剤を適切に使うことが挙げられ、大学や研究機関はこのエビデンスを示す立場です。もうひとつは、抗生剤の使用量を減らすために、ワクチンなどを活用した感染症予防策を構築することです。私の研究室ではこれらふたつのことに臨床からアプローチし、基礎的な知見を積み重ねることも挑戦しています。

私の役目は、学生と共に考え、学生が人間性豊かで適応力の高い獣医師になる素地を身に付けるお手伝いです。臨床に限らず、獣医学は社会に大きな影響を与える分野。大きく柔軟性のある志で学びに来てほしいですね。

教員からの  
メッセージ

社会を視野に大きな志で獣医学を学んで

# [ カリキュラム ] ☆1は外国人留学生のみ

※この内容は2019年4月1日現在のもので  
今後変更もあります。

**1**  
年次

## 基盤教育

- 建学原論
- キリスト教I
- キリスト教II
- 循環型農業論
- 健土健民入門実習
- 哲学
- 心理学
- 文学
- 社会学
- 日本史
- 世界史
- 地誌
- 地理学
- 法学
- 日本国憲法
- 経済学
- 数学I
- 数学II
- 生物学
- 生物学実験
- 化学
- 化学実験
- 物理学
- 地学
- 運動の科学
- 体育実技I
- 体育実技II
- 情報科学の基礎
- 情報処理基礎演習
- 英語I
- 英語II
- 英語III
- 英語IV
- 日本語I ☆1
- 日本語II ☆1
- 基礎演習I
- 循環農学概論
- 食と健康学概論
- 環境共生学概論
- 獣医療概論

## 専門基礎教育

- 国際関係とメディアコミュニケーションの科学
- 循環農法とワンヘルスサイエンス
- 人と動物の関係の科学

## 専門教育

- 獣医解剖学A
- 獣医解剖学B
- 獣医解剖学実習
- 獣医組織学A
- 獣医生化学
- 獣医生理学総論

**2**  
年次

## 基盤教育

- キリスト教と諸宗教
- キリスト教と生命倫理
- 統計学I
- 統計学II
- 物理学実験
- 地学実験
- 英語演習I
- 英語演習II
- ドイツ語I
- ドイツ語II
- フランス語I
- フランス語II
- 中国語I
- 中国語II
- ハングルI
- ハングルII

## 専門基礎教育

- 動物倫理・動物福祉学
- 観光と地域振興の科学
- GIS・リモートセンシングによる空間情報の科学
- エントロピーから見たエネルギーの科学
- 食の安全・安心の科学
- 全学専門基礎特別演習

## 専門教育

- 獣医組織学B
- 獣医組織学実習
- 分子遺伝学
- 獣医生化学実習
- 獣医生理学各論A
- 獣医生理学実習A
- 獣医生理学各論B
- 栄養生理学
- 獣医生理学実習B
- 獣医薬理学A
- 獣医核医学基礎
- 獣医核医学基礎実習
- 獣医ウイルス学
- 獣医ウイルス病学
- 獣医細菌学
- 獣医細菌病学
- 獣医寄生虫学
- 獣医病理学総論
- 病態免疫学
- 臨床学総論

**3**  
年次

## 専門教育

- 獣医薬理学B
- 獣医薬理学実習
- 獣医ウイルス病学実習
- 獣医細菌病学実習
- 動物感染症学
- 獣医寄生虫病学
- 獣医寄生虫病学実習
- 実験動物学
- 実験動物学実習
- 獣医病理学各論
- 獣医病理学実習
- 獣医免疫学実習
- 公衆衛生学総論
- 動物衛生学総論
- 食品衛生学
- 食品衛生学実習
- 毒性学
- 産業動物臨床学A
- 臨床繁殖学A
- 臨床病理学A
- 臨床病理学B
- 臨床薬理学
- 伴侶動物内科学各論A
- 伴侶動物内科学各論B
- 伴侶動物内科学各論C
- 手術学総論
- 獣医麻酔疼痛管理理学
- 伴侶動物内科学実習
- 獣医麻酔疼痛管理理学実習

**4**  
年次

## 基盤教育

- キャリア実習I

## 専門教育

- 動物行動学
- 魚病学
- 環境衛生学
- 環境衛生・毒性学実習
- 人獣共通感染症学
- 獣医疫学
- 人獣共通感染症学・獣医疫学実習
- 獣医衛生学
- 獣医衛生学実習
- 野生動物医学
- 産業動物臨床学B
- 産業動物外科学
- 臨床繁殖学B
- 産業動物臨床実習A
- 産業動物臨床実習B
- 臨床繁殖学実習

## 専修教育

- 獣医畜産法規
- 学外実習

**5**  
年次

## 基盤教育

- プレゼンテーション
- キャリア実習II

## 専門教育

- ハードヘルス学
- ハードヘルス学実習
- 馬・中小家畜臨床学
- 伴侶動物外科学各論C
- 画像診断学B
- 画像診断学実習
- クリニカルローテーション

## 専修教育

- 学外実習
- 研究発表
- 病院実習専修コース
- 生体機能学演習
- 生体機能学特論
- 生体機能学実習
- 生体機能学基礎実験
- 感染病理学演習
- 感染病理学特論
- 感染病理学実習
- 感染病理学基礎実験
- 衛生環境学演習
- 衛生環境学特論
- 衛生環境学実習
- 衛生環境学基礎実験
- 生産動物医療クリニカルローテーション
- 感染病理学基礎実験
- 衛生環境学演習
- 衛生環境学実習
- 衛生環境学基礎実験
- 生産動物医療アドバンスドコース
- 伴侶動物医療アドバンスドコース

**6**  
年次

## 専修教育

- 統合獣医学
- 中獣医学
- 学外実習
- 研究発表
- 病院実習専修コース
- 生体機能学演習
- 生体機能学実習
- 生体機能学基礎実験
- 感染病理学演習
- 感染病理学実習
- 伴侶動物医療アドバンスドコース
- 感染病理学基礎実験
- 衛生環境学演習
- 衛生環境学実習
- 衛生環境学基礎実験
- 生産動物医療アドバンスドコース
- 伴侶動物医療アドバンスドコース

## 獣医解剖学ユニット

植田 弘美 准教授

### 糖尿病ラットに生薬や水素水を与え効果や作用機序の解明に取り組む

肝臓機能の亢進が糖尿病の予防や改善に繋がるのではないかと考え、肝臓に作用し肝臓機能の改善効果があるとされる生薬や、健康に良いとされる水素水を糖尿病ラットに投与し、肝臓や腎臓など種々の臓器を形態学および生化学的に検索して、それらの効果や作用機序の解明を行っています。

解剖	生体機能	生命科学
細胞	生理	病理

## 獣医生化学ユニット

岩野 英知 教授

### 細胞の遺伝子の使い方の仕組みを調べて病気を理解する

生体は、たった1つの細胞(卵)から200種以上の細胞を作り、生きています。すべての細胞は、ほぼ同じ遺伝子を持っていますが、遺伝子の使い方を工夫することでさまざまな細胞ができるのです。遺伝子の使い方がおかしくなるとガン細胞にもなります。遺伝子の使い方、また、遺伝子による病気の診断について研究開発しています。

遺伝子診断	エクソソーム	環境ホルモン
薬物代謝	薬剤耐性菌	ファージセラピー

## 獣医生理学ユニット

林 英明 准教授

### 各種動物におけるストレス・満足度の客観的評価に関する研究

環境エンリッチメントとは飼養環境を整え、動物を快適に飼養して健康な状態を維持することであり、生理学的な裏付けをもって動物のストレス・満足度を評価することで環境エンリッチメントを充実させるよう、さまざまなツールを用いて多角的に評価できるような新たな評価系の確立を目指しています。

動物の健康管理	ストレス	健康
飼育環境	動物福祉	生理

## 獣医薬理学ユニット

寺岡 宏樹 教授

### 薬と有害物質の生体作用に関する研究

動物愛護や経費の問題から、哺乳動物を使った試験はますます実施しづらくなっています。研究室では哺乳動物の代替動物としてすでに多くのガイドラインで採用されているゼブラフィッシュという小型実験魚を用いた研究を行っています。この他、伴侶動物や野生動物の薬物代謝について、人工発現系を用いて調べています。

薬	毒物	代謝
環境	ゼブラフィッシュ	ネコ

# 生体機能学分野

## ユニットの見方

ユニットの名称と担当の教員名です

**獣医解剖学ユニット**  
植田 弘美 准教授

研究内容です

糖尿病ラットに生薬や水素水を与え効果や作用機序の解明に取り組む  
肝臓機能の亢進が糖尿病の予防や改善に繋がるのではないかと考え、肝臓に作用し肝臓機能の改善効果があるとされる生薬や、健康に良いとされる水素水を糖尿病ラットに投与し、肝臓や腎臓など種々の臓器を形態学および生化学的に検索して、それらの効果や作用機序の解明を行っています。

学びのKeywords  
気になるキーワードはインターネットなどで検索して興味を深めてみよう

解剖	生体機能	生命科学
細胞	生理	病理

## 獣医解剖学ユニット

細谷 実里奈 助教

### 形態学から解く

#### 雌性生殖機能のメカニズムとその病態

不妊症は地球の未来を脅かす大きな課題です。その原因の中でも免疫異常に着目し、炎症や自己免疫異常が、卵巣や卵管など雌性生殖器官の機能形態に与える影響を研究しています。光学顕微鏡や電子顕微鏡を用いた分子形態および超微形態解析法を駆使し、生命誕生の発端である排卵機能、卵管による卵子ピックアップ機能などのメカニズムに迫ります。

解剖	生体機能	生命科学
形態解析	不妊症	免疫

## 獣医解剖学ユニット

渡邊 敬文 准教授

### 運動器系の超微細構造解析と臨床に貢献する解剖学的研究

身体を構成し運動を可能にする運動器系を各種顕微鏡により可視化し、身体が動くメカニズムの理解を深める研究を行います。また、臨床現場で問題となっている病気に解剖学的なアプローチから貢献できる研究も進めていきます。

形態解析	電子顕微鏡	臨床解剖
運動器	骨格筋	コラーゲン

## 獣医生理学ユニット

北村 浩 教授

### 免疫系細胞とエネルギー代謝の新たな関係を調べる。

体を病原体から守る免疫細胞は一方で体のエネルギーバランスを調節する細胞でもあります。この「免疫-エネルギー代謝ネットワーク」の鍵となる新たな分子をゲノム解析技術で探索し、遺伝子改変動物を作成して個体レベルで生理的役割を解明しています。

マクロファージ	骨格筋	視床下部
炎症	生活習慣病	脱ヒキチン化酵素

## 獣医生化学ユニット

藤木 純平 助教

### 薬の効かない細菌による感染症をバクテリオファージで治療する

動物の命を感染症から守ることは、人や社会全体の健康を守ることに繋がっています。また、抗生物質が効かなくなった薬剤耐性菌が農場や医療現場で問題になっています。そこで、細菌に感染するバクテリオファージに着目し、抗生物質だけに頼らない「ファージセラピー」による細菌性感染症の新たな治療法を研究しています。

感染症	ファージ	薬剤耐性菌
溶菌酵素	ゲノム解析	遺伝子工学

## 獣医栄養生理学ユニット

安井 由美子 准教授

### 天然物を中心とした化学予防に関する研究

我々ヒトを含めた動物は、生きている限りさまざまな疾病と対峙します。QOLに極大影響を与えない天然物由来の生理活性物質を中心に、がん、大腸炎、皮膚炎、肥満、ストレスなどに対する化学予防効果を培養細胞や実験動物を用いて研究を行っています。

病気の予防	健康	生理
がん	ストレス	

## 獣医栄養生理学ユニット

翁長 武紀 教授

### 反芻動物の胃腸管機能の調節機構

本来反芻動物の主食は牧草ですが、家畜化された種では生産性向上のため多様な飼料を給与され、4つの区画から構成される胃に負担が掛かりさまざまな胃運動障害を起こします。その胃運動障害の原因を消化管ホルモンとの関連性から調べています。また、反芻家畜で特に発達している第三胃の運動調節のしくみを調べています。

生理	生体機能	乳牛
中小家畜		

## 獣医放射線生物学ユニット

華園 究 講師

### 画像診断を用いた病態解明、予後因子の探索

X線、超音波、CT、MRI検査などの画像診断を用いて、病変の検出だけでなく、疾患を画像診断側からアプローチすることによる病態解明、および画像所見による心疾患や腫瘍などの予後因子の探索を研究テーマとしております。また人工知能(AI)を用いた画像診断サポートシステムの開発についても取り組む予定です。

伴侶動物医療	犬	放射線
生体機能	画像診断	猫

## 獣医放射線生物学ユニット

遠藤 大二 教授

### 放射線からスタートしたゲノム・微生物研究

当教室では、放射線生物学で用いられるゲノム研究手法とIT技術を用いて、希少野生鳥類のヤンバルクイナのゲノム解析と、ウイルス・細菌の病原体ゲノムの網羅的検出を行っています。2016年度からは臨床研究の先生も参加いただき、IT、ゲノム解析およびAI技術を用いた臨床基礎研究にも取り組んでいます。

放射線生物学	ゲノム解析	野生動物
バイオインフォマティクス	病原体検出	遺伝子解析



## 獣医ウイルス学ユニット

萩原 克郎 教授

### 動物と人に感染するウイルスの研究

ウイルスは、細菌よりも小さく、遺伝子情報を含んだ核酸とそれを覆う蛋白質成分から構成されたシンプルなものです。ヒトおよび動物に感染するウイルスは、どのように感染・増殖しているのか不明なものも多くあります。それら未知領域を明らかにし、疾病治療に応用させる研究をしています。

ウイルス	細胞	免疫機能
遺伝子情報		

## 獣医ウイルス学ユニット

桐澤 力雄 教授

### 動物のウイルス性感染症の予防・疫学ならびにテラヘルツ水のウイルス不活化に関する研究

軽種馬生産業界で最も経済損失が大きい馬ヘルペスウイルス1型による流産を予防するための研究、種々のウイルス性感染症の診断と流行状況の調査、家畜や野生動物からの新規ウイルスの分離、そしてテラヘルツ水という電磁波を出す強アルカリ電解水(人に対しては無害)のウイルス不活化に関する研究を行っています。

ウイルス	シーケンス	遺伝子増幅
抗体調査	テラヘルツ水	ウイルス不活化

# 感染・病理学分野

## 獣医寄生虫病学ユニット

福本 真一郎 教授

### 動物の寄生虫症の調査対策と寄生虫症の生物学

①牛を中心とした生産動物の消化管線虫症や外部節足動物の疫学と生産性に及ぼす影響の調査②伴侶動物・野生動物などの寄生虫症の調査③エキノコックス症など人獣共通寄生虫症に関する研究④寄生虫症の生物学として宿主-寄生虫の相互反応の研究

寄生虫の生物学	人獣共通感染症	消化管寄生虫
生産性	生産動物	野生動物

## 獣医細菌学ユニット

村田 亮 講師

### 身近な動物に起こる細菌性感染症の生態学的・疫学的研究

生産動物も伴侶動物も、わたしたち人間が生きていくためには欠かせない、大切な存在です。そんな身近な動物たちに感染し、病気を引き起こしてしまう細菌について、予防・治療に役立てるための研究をしています。安心・安全な畜産物、ペット=家族との快適な生活を守るため、細菌病と闘っていきます!

微生物	細菌	伝染病
野生動物	伴侶動物	家畜

## 獣医細菌学ユニット

内田 郁夫 教授

### 細菌感染症の発病機構の解明と診断・防除技術の開発に関する研究

動物細菌感染症における原因菌の病原性に関わる因子や宿主側の因子について解析し、病気の診断・防除法の開発・改良に繋がる研究を行います。例えば、牛のサルモネラ症は酪農場で大きな被害をもたらす病気ですが、その原因菌が産生する蛋白毒素の病原因子としての役割を解明するための研究を実施します。

細菌	分離・同定	病原性
サルモネラ	レプトスピラ	乳房炎

## 獣医病理学ユニット

松田 一哉 准教授

### さまざまな動物の自然発生疾患の病態メカニズムの解明

「この動物の病気はどんな状態なのだろう?」「どのような治療が必要だろう?」「どうして病気になってしまったのだろう?」といった疑問の答えを見つけるために、病理学ユニットでは一頭一頭の動物の病気を診断(病理診断)するとともに、豊富な症例を活用した病気のメカニズムの解明を行っています。

感染症	野生動物	ペット
家畜	病理	がん

## 実験動物学ユニット

大杉 剛生 教授

### 疾患モデル動物の開発および実験動物の感染症に関する研究

免疫不全マウスを用いた赤血球寄生原虫症モデル、遺伝子改変技術を用いたヒトT細胞白血病モデルマウスを開発し、解析を進めています。また、最近話題となっている動物実験に影響を与える感染症(マウスノロウイルスおよびヘリコバクター感染症)についても予防法を含めた研究を行います。

実験動物学	動物福祉	生命科学
がん	疾患モデル	マウス遺伝子

## 獣医寄生虫病学ユニット

平田 晴之 准教授

### ピロプラズマ目原虫の診断と予防に関する研究

家畜住血原虫症の診断と予防に関する基礎的研究、新興ならびに人獣共通感染症としての原虫症の疫学的研究、およびピロプラズマ原虫の進化系統分類の研究を行っています。これらの研究は原虫症における予防、蔓延化阻止のために役立つと考えています。

寄生虫	感染症	人獣共通感染症
野生動物	原虫病	

## 獣医病理学ユニット

佐野 悠人 講師

### 動物の眼球ならびに眼球付属器における基礎研究

動物の眼球疾患における病態理解や病態解明に必要な不可欠な基礎的知見の集積を目的として、健全な動物眼球における組織形態学的・免疫組織化学的特徴を明らかにするための基礎的研究を推進しています。さらに、眼球付属器(眼瞼、瞬膜、涙腺)における同様の基礎的研究も並行し行っています。

病理	眼球	眼球付属器
----	----	-------

## 獣医免疫学ユニット

岡本 実 准教授

### 産業動物、伴侶動物、水族館および動物園動物の自然発生疾病の病理

主に、①産業動物の病理学、②展示動物の病理形態学的研究、③野生動物群の病理形態学的研究を実施しています。多様な生命現象としての宿主反応としての病態と免疫応答について研究しています。

病理	自然発生疾病	伴侶動物
産業動物	展示動物	野生動物

## 環境衛生学ユニット

能田 淳 准教授

### 地球環境で考える、ヒト・動物・環境の健康:ワンヘルスに向けて

ワンヘルスはヒトの健康を中心に、動物や生態系も含めた健康を目指す考え方です。気候変動、自然災害など我々の身の回りで起こる環境の変化に広い視野で対応していくことが健康維持には大切です。ワンヘルスを目指して身の周りから地球規模での事象について、病原体などを含むエアロゾルを軸に研究展開を行っています。

公衆衛生	動物の健康管理	健康
ワンヘルス	地球環境	バイオエアロゾル

## 食品衛生学ユニット

白井 優 准教授

### 薬剤耐性菌の耐性機構の解明とその対策

「ヒトを含む動物が薬剤耐性菌といかに付き合っていくか」ということを大きなテーマとして研究を行っています。具体的には、薬剤耐性菌の発現機序や伝播経路を明らかにし、その対策を構築するため、疫学的な手法から分子生物学的手法まで幅広い手技を用いて研究を進めています。

細菌	人獣共通感染症	公衆衛生
食品衛生学		

# 衛生・環境学分野



## 獣疫学ユニット

蒔田 浩平 教授

### 重要家畜・人獣共通感染症の効果的かつ受容可能な制圧方法の研究

国内外の重要家畜伝染病ならびに人獣共通感染症について、実地調査から疾病発生状況と原因を客観的に示します。さらにさまざまな情報技術により効果的制圧方法を明示し、多分野連携のもと文化的・社会的に受け入れ可能な制圧方法を検討します。所属学生は国内外主要機関と連携し、能力に応じ研究の中心的あるいは補佐的役割を果たします。

重要感染症	制圧方法評価	多分野連携
人獣共通感染症	国際共同研究	リスク評価

## 人獣共通感染症学ユニット

内田 玲麻 講師

### 節足動物媒介性ウイルスの分子生物学的、血清学的研究

蚊やダニにより媒介される日本脳炎やダニ媒介性脳炎は、近年、国内外を問わず、公衆衛生学上大きな問題となっているウイルス性の人獣共通感染症(動物由来感染症)です。当研究室では、野生動物における節足動物媒介性ウイルスの血清・分子疫学調査や、北海道の蚊におけるウイルス保有状況を研究しています。

ウイルス	感染症	人獣共通感染症
分子生物学	蚊・マダニ	

## 人獣共通感染症学ユニット

村松 康和 教授

### 細菌性人獣共通感染症に関する研究

細菌やウイルスを原因とするヒトと動物に共通する感染症について研究しています。イヌやネコ、ウシといった動物や、蚊やダニなどの節足動物からヒトに感染する病気について、その病原体の分離や遺伝子検出などを行い、ヒトに対する感染症のリスク評価や公衆衛生の向上に寄与することを目指しています。

細菌	人獣共通感染症	公衆衛生
野生動物	伴侶動物	生産動物

## ハードヘルス学ユニット

及川 伸 教授

### 乳牛の集団における疾病予防および健康管理に関する研究

生産動物において疾病発生と飼養環境は密接に関係しています。乳や動物性蛋白を提供してくれる動物たちの生活環境を管理しているのは飼養者の人間です。動物集団(Herd)を如何に管理すれば快適性(Comfort)や健康維持(Health)が図られ、生産性(Productivity)が向上するかを追求します。

動物の健康管理	病気予防	飼育環境
食の安全・安心	動物福祉	乳牛

## 獣疫衛生学ユニット

権平 智 助教

### 酪農業で問題となっている感染症の基礎的および応用的研究

酪農業で最も問題となっている感染症は乳房炎です。このようにして牛が乳房炎となり、どうしたら乳房炎を防ぐことができるのかを大きな研究テーマとしています。乳汁中の細菌や成分について、分子生物学的手法および質量分析法を用いた研究をしています。酪農の現場と共に協力しながら、新たな乳房炎防除対策技術の構築を目指します。

感染症	家畜衛生	病気の予防
乳房炎	免疫	診断技術

## 獣疫衛生学ユニット

樋口 豪紀 教授

### ウシの病気で最も問題となっている「乳房炎」についての研究

獣疫衛生学は動物の健康を維持し、その生産性や生産物の安全性を高めるために必要な関連知識を総合的に習得する科目です。生産性や健康を阻害する要因を分析し、その要因を効果的に排除していくために必要な知識を学びます。

動物衛生	生産動物	感染症
免疫	診断技術	



## 獣疫倫理学ユニット

高橋 優子 准教授

### 獣医療に関わる法的・政治的・宗教的・哲学的問題を扱う

獣疫倫理学は獣医学と法学・政治学・宗教学・哲学などの学際領域です。国際的な動物実験や動物利用についての基準を受容する際には、日本文化に適合する動物倫理のあり方を探る必要が生じます。諸外国の事情を調査し、その思想的背景を理解した上で、日本の動物倫理がどのようなものであるべきかという提案を行います。

動物の福祉	動物の権利	5つの自由
3つのR	法律	宗教

## ハードヘルス学ユニット

福森 理加 講師

### 乳牛の栄養代謝機構の解明と飼養管理技術への応用

乳牛の病気の予防や生産の向上を飼養管理によって制御することが研究テーマです。特に、体内で栄養素の分配を支配するホルモンの分泌や作用を生理学的実験と飼養試験を通じて明らかにすることで、代謝疾病の原因と予防策を見出し、健康の増進につなげていきたいと考えています。

動物の健康管理	乳牛	生理
---------	----	----

## 動物生殖学ユニット

杉浦 智親 助教

### 牛子宮内膜の発情周期における変化と受胎性に関する研究

近年、牛の繁殖成績の低迷による経済的損失が問題になっています。牛の不受胎の原因は多岐にわたりますが、その中でも新しい生命を育む器官となる子宮に着目しています。発情周期の中で変化する子宮内膜の超音波検査による評価診断方法をはじめ、子宮疾患による不受胎牛の早期診断や治療対策に関する研究に取り組んでいます。

生産動物医療	繁殖	子宮
受胎	画像診断	

## 動物生殖学ユニット

中田 健 教授

### 農場や地域単位で乳牛の繁殖および生産効率を高める取り組み

病気は動物の生産を阻害するだけではなく、生産を継続するための繁殖の効率も低下させます。生産動物の病気は多くの環境要因が積み重なり、その悪い結果として現れたものです。生産を支えるためには、動物を健康に飼うことがとても大切です。生産現場を理解して生産現場で役に立つ取り組みと研究を行っています。

乳牛	生産性向上	繁殖率向上
動物の健康管理	病気の予防	環境評価

# 生産動物医療学分野

## 生産動物内科学IIユニット

川本 哲 准教授

### 家畜の代謝病を中心とした診断、治療法習得と生産現場で活用できる疾病予防技術の確立

家畜には低コストで、安全安心な畜産物の生産が求められています。しかし、生産効率を追求した家畜生産法は、代謝病や消化器病を引き起こしています。これらの疾病について、早期に疾病を見つけ出す診断法を開発するとともに、疾病を発生させる要因を明らかにすることで、家畜生産体系の中での疾病予防技術を確立します。

生産動物医療	病気の予防	内科
生体機能		

## 生産動物内科学Iユニット

大塚 浩通 准教授

### 感染症を予防して健康な牛造りに取り組む

家畜である牛は産乳や産肉のため野生の牛とは違う環境に置かれます。さまざまなストレスを受けた牛は肺炎、腸炎や乳房炎などの感染症を発症しやすくなるため、免疫力を高め感染に強い牛となるよう臨床的免疫研究に取り組んでいます。現地に出てラボで検体の解析をしながら活動しています。

感染症	動物の健康管理	生産動物医療
内科	免疫機能	

## 生産動物内科学Iユニット

田島 誉士 教授

### 牛の潜在性感染症が生産性に及ぼす影響

牛の生産性に多大なる経済的損失をもたらすウイルス感染症の中で、症状による摘発が困難な牛ウイルス性下痢ウイルス(BVDV)、および発症までの潜伏期間の長い牛白血病ウイルス(BLV)を対象として、それらの流行状況の調査、効率的な対策法の検討、病態発現機序の解明などを行っています。

生産動物医療	病気の予防	動物の健康管理
感染症	ウイルス	

## 生産動物外科学ユニット

佐藤 綾乃 助教

### トータルマネジメントにおける 生産動物外科疾患の診断と予防

牛の獣医師にとって、病気になった動物を治療する一般診療は何よりも大事な仕事です。ただ、疾病を発症した動物を通して、動物を健康に飼養するための指導も求められます。私たちは、外科治療を要する動物を通してトータルに農場をマネジメントする獣医療を目指しています。

生産動物医療	傷	外科
画像診断	農家への往診	

## 生産動物外科学ユニット

加藤 敏英 教授

### 目指すところは総合臨床獣医学 外科の枠を超えて考える

外科学という「ブラックジャック」的なイメージが先行しがちですが、手術や画像診断ひとつとっても、実は基礎的な知識が重要であったり、そこから広がる総合的な獣医療が求められる分野です。私たちが目指す外科学は、他分野と幅広く連携しながら研究を進める、総合臨床獣医学であると考えています。

感染症	食の安全・安心	病気の予防
薬剤耐性菌	生産動物医療	

## 生産動物内科学IIユニット

安藤 達哉 准教授

### 産業動物獣医療最前線から、 生命の根源をその手で感じよう

産業動物臨床獣医療の最前線では、内科・外科そして生殖学が総合的に問われ続けます。生産者の真のパートナーとなる答えは現場にあります。基礎そして応用科目をベースにフィールド診療で臨床獣医学を鍛え、慢性持続性感染症への研究や、それぞれのステージに発症するさまざまな疾患などを、内科学的アプローチから総合臨床獣医学へと探求します。

人獣共通感染症	食の安全・安心	生産動物医療
往診(動物病院)	家畜	農家への往診

## 獣医麻酔学ユニット

山下 和人 教授

### 馬、犬、猫の麻酔・疼痛管理および 犬猫の集中治療に関する研究

麻酔・疼痛管理に関する研究では、動物に優しく(痛くない)環境にも易しい(環境汚染の少ない)全静脈麻酔法(TIVA)の開発と、安全な麻酔管理を目指す麻酔モニタリング法に関する研究を展開。犬猫の集中治療に関する研究では、重症例の命を救うべく心肺蘇生に用いる緊急薬の投与方法や輸液反応性の評価法に関する研究を行います。

麻酔学	伴侶動物医療	生産動物医療
犬	馬	動物福祉

# 伴侶動物 医療学 分野

## 生産動物医療学分野 国際化担当

鈴木 一由 教授

### 牛における軟部組織および 整形外科手術

動物医療センターに来院した牛や馬の外科手術、そして画像診断を行っています。特に、軟部組織外科ではエンドキシムを中心に侵襲性の評価、整形外科では四肢の骨折の確実な整復術の検討を行っています。地域の獣医師との連携の一環として携帯レントゲン、内視鏡、超音波を野外に持ち出して診断支援業務を行っています。

生産動物医療	軟部組織外科	運動器外科
骨折	画像診断	診断支援業務

## 伴侶動物内科学Iユニット

前原 誠也 准教授

### 動物の視覚に関する研究 動物の眼疾患に関する研究

動物もヒトと同じように白内障や緑内障などの目の病気になります。動物たちにとって「見る」ということは生きていく上で大切なことです。我々は動物たちの「見る」にこだわり、目の病気についての診断法、治療法を研究しています。また、動物たちの見え方、また見え方を調べるための検査法について研究しています。

伴侶動物医療	犬	馬
生体機能	眼科	

## 画像診断学ユニット

中出 哲也 教授

### X線、CT、MRI、超音波による画像診断と インターベンショナルラジオロジー

X線、CT、MRI、超音波を用いた診断とインターベンショナルラジオロジーが専門です。脳・脊髄疾患のMRI診断、コイルやデバイスを用いた動脈管開閉、心室中隔欠損の治療を研究しています。また肝臓腫瘍におけるMRI用造影剤であるEOBプリモビスト投与による画像診断と病理組織診断の関連を調べています。

伴侶動物医療	画像診断	MRI
CT	レントゲン	インターベンショナルラジオロジー

## 獣医麻酔学ユニット

三好 健二郎 講師

### 低侵襲な手法を用いた生態の反応の 解明と検査麻酔の確立

画像診断検査に関わる麻酔法の検討や画像診断(CTやMRI)を利用した生体内変化の研究をしています。具体的には、犬や猫の麻酔に使用する麻酔薬による生体などの影響観察を画像解析で試みたり、CTやMRIを用いて血液の循環やメスをわずかに体内の構造を観察できるようにするための基礎研究を行っています。

画像診断	麻酔学	伴侶動物医療
生体機能	脳血液灌流	造影理論

## 伴侶動物外科学Iユニット

上野 博史 教授

### 伴侶動物における神経病の診断 および治療法の研究

現在取り組んでいるテーマは、「犬の椎間板ヘルニアに続発する進行性脊髄軟化症の早期診断法の開発」「犬の椎間板ヘルニアの新規治療法の開発」「地域猫における遺伝病の分子生物学的調査(異常遺伝子の検出)」です。附属動物医療センターにおいては犬および猫の神経病を中心に検査、治療をしています。

犬	猫	脳
脊髄	外科	内科

## 伴侶動物内科学IIユニット

玉本 隆司 准教授

### 伴侶動物臨床における診断 およびモニタリングツールに関する研究

伴侶動物の診療をするにあたって、動物の状態を客観的に把握することは重要です。相手が言葉を話せないからこそ、それを汲み取ってあげることが必要だと考えています。治療はうまくいっているのか、再発の徴候はないかなど、動物の状態を正確に反映し、診療の指針となるようなマーカーの開発に力を入れています。

伴侶動物医療	犬	猫
内科	免疫	臨床検査

## 伴侶動物内科学IIユニット

堀 泰智 准教授

### 心臓病の病態を解明し、的確な 診断・治療に結びつける研究

心臓は生命の維持に関わる重要な臓器であり、循環器診療は命に直結する重要な分野です。心臓病の診断には専門的で複雑な検査が必要不可欠ですが、私たちはさまざまな心疾患の病態や特徴、薬剤の効果を解明し、心臓病の類型鑑別や早期診断・治療に役立つ研究を行っています。

伴侶動物医療	循環器	心臓超音波
犬	猫	

## 伴侶動物外科学IIユニット

酒井 俊和 助教

### 伴侶動物の腫瘍の 治療と研究

犬や猫は伴侶動物として飼育され以前より寿命は延びています。それに伴い腫瘍に苦しむ動物も増えています。我々はそのような動物を苦痛から解放しQOLを向上させるため、臨床では腫瘍に対し手術、抗がん剤、放射線治療などの集学的治療を、研究では腫瘍の臨床的挙動とバイオマーカーについてこれから着手していきたいと考えています。

伴侶動物医療	健康	傷
薬	病理	分子生物学

## 伴侶動物外科学IIユニット

廉澤 剛 教授

### 伴侶動物に発生する 悪性腫瘍(がん)の診断と治療

寿命延長に伴って伴侶動物の悪性腫瘍(がん)が増えてきます。動物のがんはヒト以上に経過が悪く、正確にがんの性状と症例の状態を把握し、迅速かつ効果的にがんを排除する必要があります。本研究室は附属動物医療センターの腫瘍科を担当しながら、1症例でも多くの命を救えるよう腫瘍の診断と治療の研究を推進しています。

伴侶動物医療	ペット	放射線
外科	内科	がん

## 伴侶動物外科学Iユニット

井坂 光宏 准教授

### 小動物循環器領域における新規治療法 および診断法の確立/運動器疾患の診断と治療

循環器および外科が専門です。心腎腸連関、肝肺症候群のようにさまざまな臓器の関連に注目されるようになってきており、単一の臓器だけで病気を説明できなくなってきました。この観点から循環器の多臓器円環(整形外科疾患と循環器の関連性、呼吸器や肝臓/腸と循環器の関連性)の研究と、心臓外科の研究もしております。

循環器	外科	多臓器円環
心臓外科		

ペットと飼い主に寄り添う  
獣医師として学び続けます。



テレビドラマの影響から獣医師を目指すと決めました。酪農学園大学に入学して、大動物分野や食品・公衆衛生分野など多様な選択肢があるということを知りました。ゼミは獣医衛生学ユニットを選び、雄牛や子牛の世話など貴重な経験ができ、また運動会、仮装駅伝、キャンプなどの行事も盛りだくさんで楽しかった

獣医学部 獣医学科  
(現・獣医学群 獣医学類)

あいの里動物病院

ごんだいら ゆりえ  
権平 友里恵 さん

2012年3月卒業  
北海道／小樽潮陵高校出身



です。卒業後は、やはり昔からの夢だった小動物獣医師になりたいと、現在の職業に就きました。職場は犬、猫がメインですが、小鳥、ハムスターなど症例はさまざまです。一次診療施設なので、症例の現状と原因の見極めがとても大切。状況によつては大学病院を紹介します。助けられない症例もありますが、少しでも長く飼い主と過ごせる時間を作ることや、亡くなった時に飼い主に寄り添うこと、これらも獣医師の大切な役割です。教科書から教わるができないことなので、今後も経験を積んで、学んでいきたい課題です。大学で学ぶ過程や実際に働いている職場では、獣医師についてイメージしていたのと異なることもたくさんありました。みなさんもこれからたくさん「実体験」と「自分の可能性」を楽しんで、頑張ってください！



# 広大なキャンパスで、 動物にも優しく接する 人間性が培われました。

ジェネティクス北海道は、主にホルスタイン種や黒毛和種の遺伝的改良を行い、種雄牛を育成し、凍結精液として遺伝資源を農家に提供する団体で、種雄牛の頭数が日本最多です。私は種雄牛の診療から健康・衛生管理、さらには凍結精液の作製など、さまざまな業務を行っています。大学時代は研究室で繁殖学を専攻し、畜産における繁殖の重要性を学びました。雄牛側から繁殖に携わっていきたくと考え、入社しました。大切に育てた雄牛が、日本全国の酪農畜産を担う種雄牛として活躍してくれた時に



は、達成感が持てます。牛は大きな動物であり、扱うには多くの人たちのサポートが必要です。研究室ではその協調性の大切さも学びました。私の家族が酪農を営んでおり、子どもの頃から家に来る獣医師に憧れをいだいていました。酪農・畜産に関するあらゆる実践的な知識と技術を学べる大学は、酪農学園大学しかありません。そしてキャンパスが自然豊かな環境だからこそ、動物にも人にも優しく接する人間性が培われたと思っています。青空の下、広大な芝生に寝転んで食べたソフトクリームのおいしさは今も忘れません。

獣医学部 獣医学科 (現・獣医学群 獣医学類)

↓

**一般社団法人  
ジェネティクス北海道  
十勝清水種雄牛センター**

いとう ようすけ  
**伊藤 陽輔 さん**

2007年3月卒業  
北海道／札幌光星高校出身




# 経験のない事例でも解決方策を 導く姿勢がベンチャー企業での 仕事に役立っています。

私は富山県立大学での基盤技術を事業化して、医薬品や機能性食品開発の支援事業を展開している大学研究員兼ベンチャー企業の経営者です。ラボでの実験や学生指導から、営業活動、企画開発、人材育成など幅広い業務に携わっています。事業内容は、ヒトの薬物代謝酵素を組み込んだ遺伝子組み換え酵母を使って、医薬品や機能性食品開発に重要な代謝物を大量につくる技術を開発し、製薬企業や食品メーカー、大学などに研究用試薬として提供することです。数年前に初めて1人でスイスの大手製薬企業を回り、度胸だけは人一倍あります。

私は在学中に生化学の授業で代謝活性化現象を知り、大変興味を持ちました。大学院の博士課程最終年度に発表した研究会で、富山県立大学の先生に声をかけていただきました。酪農学園大学で多くの友人と恩師に恵まれたことで、高校までとは違うチャレンジ的な人格が形成され、今の私があると思います。



また先生方の根気強い指導のおかげで自主性を育むことができ、経験のない事例についても自分なりに解決方策を導く姿勢が、ベンチャー企業での仕事に役立っています。酪農学園大学には、学内外の実習を含め、学生が自ら考える機会が多く存在します。ぜひ無限の可能性にチャレンジしてください。

獣医学部 獣医学科 (現・獣医学群 獣医学類)

↓

**株式会社TOPUバイオ研究所  
代表取締役社長  
富山県立大学  
工学部医薬品工学科 嘱託研究員**

にしかわ みゆう  
**西川 美宇 さん**

2007年3月卒業  
福岡県／宗像高校出身



# 獣医保健看護学類

School of Veterinary Medicine  
Department of Veterinary Science

動物たちとの幸せな  
生き方の答えを探す

## 学びの流れ

3・4年次

2年次

1年次

▼学類独自科目

▼専門教育科目

### 専門教育

▼全学共通専門基礎科目

▼学類専門基礎科目

### 専門基礎教育

### 専門教育

▼保健体育教育

▼自然科学教育

▼人文社会科学教育

▼酪農学園教育

### 基盤教育

▼キャリア教育

▼導入教育

▼外国語教育

▼情報教育



3



2



1



5



4

- 1 投薬量を調整したり飲みやすくしたりする調剤実習
- 2 ウォーターレッドミルを用いたリハビリテーション
- 3 学生が運営に関わる本学で開催の「動物愛護フェスティバル in えべつ」
- 4 安全に診察しやすくできるポイントを理解する保定実習
- 5 附属動物医療センターにて手術の見学

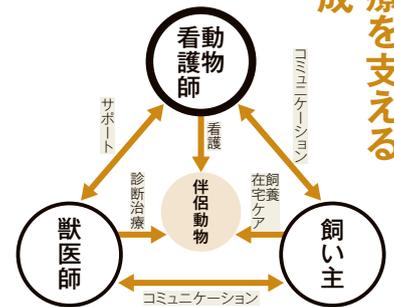
# 「好き」をかたちに

## 学びのポイント

### POINT 1

**高度化する獣医療を支える  
動物看護師を育成**

獣医師をサポートするとともに、飼い主様と獣医師との信頼関係を構築する重要な「架け橋」としての動物看護師を育成します。



### POINT 2

**獣医師とのチーム医療を支える  
生産動物看護師も育成・輩出**

生産動物看護師へのニーズは高まりつつあり、希望者は学内やNOSAの实習に参加することにより、実際の生産動物の医療について学ぶことができます。また、講義と実習の受講により家畜(牛)人工授精師資格試験を受けることが可能です。

### POINT 3

**総勢50名を超える教員が指導！  
動物看護のスペシャリストを育成**

本学類の教員を中心に獣医学類も含め総勢50名を超える教員が指導します。1・2年次は専門基礎教育を受け、3・4年次で動物看護に関する専門知識と技術を身につけます。獣医師、飼い主様、動物との信頼関係をしっかりと築き、チーム医療に貢献する動物看護スペシャリストの育成を目指しています。

### POINT 4

**本学類で飼っている犬たちとともに、  
実践的な学びを行う**

本学類では動物看護に関するすべての講義・実習に役立つよう、大種・年齢が異なるさまざまな犬たちを飼っています。毎日の世話は学生が交代で行い、犬の生態の理解を深め、健康管理や病気の早期発見ができる知識が自然と身につきます。

#### 受験資格

必要要件をみたせば受験する資格が得られます。

- 認定動物看護師
  - 愛玩動物飼養管理士
  - ペット栄養管理士
  - 家畜(牛)人工授精師
- ※講習会受講・最終試験合格の場合

#### 目指す職業

- 動物病院
- 農業共済組合
- (家畜人工(牛)授精師)
- 動物医薬品製造業
- 伴侶動物関連卸売・小売業
- 公務員 など



学生からの  
メッセージ

動物たちと過ごす時間すべてが勉強の機会

私は動物が大好きで、中学生の時に酪農学園大学の存在を知り、動物のことを学びたいと入学しました。大学では毎日のように犬の世話をしています。勉強で好きなのは、動物行動学。先生は何でも質問に答えてくれます。たとえば何か犬の問題行動があれば、1つだけではなく複数あるかもしれない。あるいは、人間の関わり方に問題があるのかもしれない、などさまざまな視点で考えられるようになりました。実際に犬と過ごす時間が長いので、たとえば兄弟犬を比較して行動を見るなど、丁寧に観察できるようなりました。抗生物質やフィラリアの薬の薬理など、難しいことも分かってくる

と楽しいと感じます。また獣医学類の先生の指導の下、犬の解剖に参加したことも貴重な経験でした。

サークルでは「野生動物生態研究会」と動物ボランティアの「幸せなしば」に所属しています。みんな動物好きなので、いつまでも話ができます(笑)。友だちから教えてもらうことも多いですね。私は2年生になってから、搾乳のアルバイトや馬の世話のボランティアなど、自主的に色々なことに取り組みようになりました。本学では他ではないようなことができます。自分で動けば、動物に関わるチャンスはいくらでもあります。これから入学する方には、1年生の時からなんでもチャレンジ



獣医保健看護学類 2年  
櫻間 麻友さん  
北海道 / 旭川南高校

することを勧めます。私は動物の行動や生態そのものに興味があるので、将来は動物園の飼育員やドッグトレーナーなどの仕事ができればと考えています。

生産動物看護研究室  
菅野 美樹夫 教授



この研究室は、2018年4月に発足しました。生産動物、つまり家畜に特化した動物看護師の養成を目指しています。高度化するこれからの獣医療においては、質量ともに獣医師だけではまかないきれません。そこで必要とされるのがチーム獣医療であり、専門性を持った動物看護師です。

現在、8人の3年生が所属していますが、全員女性です。犬や猫が好きで入学してきた学生たちも、本学で牛や馬、羊といった家畜に触れるうちに、生産動物にも興味を持つようになりまし。私は学生に家畜人工授精師、胴蹄師、家畜商の3つの資格取得を推奨しています。これらすべてを取得し、世界で活躍できる動物看護師に育ってほしいと願っています。本学では家畜人工授精師になるための講習会を2週間開き、養成体制を整えています。

ゼミ活動では、夏に1週間、オホーツクでの酪農実習があります。ここ



ではJA湧別町の婦人部の方々との交流ができ、とても良い経験になります。また、本学OGもその地域で活躍しており、酪農家や卒業生の豊富なネットワークを通して、将来の働き方もイメージできます。生産動物との接点を食べ物からも作るという提案から、研究室では定期的に昼食会を開き、学生と一緒に牛肉や豚肉などを料理して食べています。最後に、動物好きの優しい気持ちを持ち、言われたことを素直に受け止めて、多くの知識や経験を自ら吸収していく学生になってほしいと願っています。

教員からの  
メッセージ

「生産動物のチーム獣医療」に貢献できる動物看護師に

# [ カリキュラム ] ☆1は外国人留学生のみ

※この内容は2019年4月1日現在のもので  
今後変更もあります。

**1**  
年次

## 基盤教育

- 建学原論
- キリスト教I
- キリスト教II
- 循環型農業論
- 健土健民入門実習
- 哲学

- 心理学
- 文学
- 社会学
- 日本史
- 世界史
- 地誌

- 地理学
- 法学
- 日本国憲法
- 経済学
- 数学I
- 数学II

- 生物学
- 生物学実験
- 化学
- 化学実験
- 物理学
- 地学

- 運動の科学
- 体育実技I
- 体育実技II
- 情報科学の基礎
- 情報処理基礎演習
- 英語I

- 英語II
- 英語III
- 英語IV
- 日本語I ☆1
- 日本語II ☆1
- 基礎演習I

- 循環農学概論
- 食と健康学概論
- 環境共生学概論
- 獣医療概論

## 専門基礎教育

- 動物形態機能学A
- 動物形態機能学B
- 動物形態機能学C
- 動物形態機能学D
- 国際関係とメディアコミュニケーションの科学
- 循環農法とワンヘルスサイエンス
- 人と動物の関係の科学

**2**  
年次

## 基盤教育

- キリスト教と諸宗教
- キリスト教と生命倫理
- 統計学I
- 統計学II
- 物理学実験
- 地学実験
- 英語演習I
- 英語演習II
- ドイツ語I
- ドイツ語II
- フランス語I
- フランス語II
- 中国語I
- 中国語II
- ハンガールI
- ハンガールII
- キャリア実習I

## 専門基礎教育

- 動物倫理・動物福祉学
- 動物薬理学
- 動物病理学
- 動物微生物学
- 動物感染症学
- 動物行動学
- 動物飼養管理学
- 観光と地域振興の科学

- GIS・リモートセンシングによる空間情報の科学
- エントロピーから見たエネルギーの科学
- 食の安全・安心の科学
- 全学専門基礎特別演習

## 専門教育

- 基礎動物看護学
- 基礎動物看護技術A
- 基礎動物看護技術B
- 基礎動物看護技術実習A
- 動物外科看護技術
- 動物臨床検査学A

- 動物栄養管理学
- 動物栄養管理学実習
- 臨床動物看護学総論
- 動物ハンドリング学
- 動物ハンドリング学実習
- 動物形態機能学実習

**3**  
年次

## 基盤教育

- プレゼンテーション
- キャリア実習II

## 専門基礎教育

- 動物看護関連法規
- 公衆衛生学
- 人と動物の関係学

## 専門教育

- 基礎動物看護技術実習B
- 動物外科看護技術実習
- 動物臨床検査学B
- 動物臨床検査学実習A
- 動物臨床検査学実習B
- 臨床動物看護学各論A
- 臨床動物看護学各論B
- 臨床動物看護学各論C

- 臨床動物看護学各論D
- 臨床動物看護学各論E
- 臨床動物看護演習A
- 総合臨床実習A
- 学外動物病院実習A
- 学外動物病院実習B
- 獣医保健看護学演習A
- 獣医保健看護学演習B

**4**  
年次

## 専門教育

- 臨床動物看護演習B
- 学外動物病院実習A
- 学外動物病院実習B
- 動物微生物学実習
- 獣医保健看護学演習C
- 野生動物医学概論
- 生産動物臨床学概論

- 動物理学療法学
- 動物理学療法学実習
- 総合臨床実習B
- 卒業論文



## 獣医寄生虫研究室

浅川 満彦 教授

寄生虫病の診断と疫学に重点を置く  
医学、獣医学および保全生態学の学際、保全医学研究

ロンドン大Royal Vet CollとZool. Soc. Londonロンドン動物園の共同開講専門職大学院で野生動物医学マスター(MScWild Animal Health)の学位を得た浅川教授。野生動物園水族館・エキゾチックペット・特用家畜等の寄生虫(症)の臨床、疫学、寄生蠕虫を指標にした宿主生態、保全医学の基礎構築等をテーマに、野生動物医学センターWAMCを拠点に活動中。

寄生虫	伝染病	野生動物医学
エキゾチックアニマル	鳥類・爬虫類	動物園水族館

## 比較動物薬理研究室

北澤 多喜雄 教授

グレリン(ペプチドホルモン)の生理的、病態生理的役割の解明

生体の機能は種々のペプチドホルモンにより調節されていますが、この調節機構の破綻が病気の原因にもなっています。研究室では特にグレリンという消化管ホルモンの生理的な役割に注目し、種々の動物消化管の運動調節、動物の成長過程での役割変化などについてさまざまな動物を用い種々の手法で研究を進めています。

生体機能	薬学	消化管
自律神経	ホルモン	比較生物学

## 研究室の見方

研究室の名称と担当の教員名です

比較動物薬理研究室

北澤 多喜雄 教授

研究内容です

グレリン(ペプチドホルモン)の生理的、病態生理的役割の解明  
生体の機能は種々のペプチドホルモンにより調節されていますが、この調節機構の破綻が病気の原因にもなっています。研究室では特にグレリンという消化管ホルモンの生理的な役割に注目し、種々の動物消化管の運動調節、動物の成長過程での役割変化などについてさまざまな動物を用い種々の手法で研究を進めています。

生体機能	薬学	消化管
自律神経	ホルモン	比較生物学

🔍 学びのKeywords

気になるキーワードはインターネットなどで検索して興味を深めてみよう

## 動物行動生態研究室

郡山 尚紀 准教授

人と動物とのより良い関係を目指す研究:  
身近な伴侶動物から野生動物まで

A.伴侶動物の問題行動治療・しつけ教室・アニマルセラピー・永遠の友たちであるペットが人とより良い暮らしをおくるための方法を研究します。

B.トドやイルカなど海棲哺乳類生態研究・人獣共通感染症・野生動物の生態を知り、人の暮らしが自然に与える影響を知ることで、より良い関係をつくっていく研究を行います。

動物行動学	アニマルセラピー	しつけ教室
行動治療	海棲哺乳類	人獣共通感染症

## 生産動物看護研究室

菅野 美樹夫 教授

生産動物に係る繁殖やフットケアを担う生産動物看護師の育成

生産動物(牛、豚および羊)で子畜を生産することや四肢、特に蹄(ひづめ)のケアは飼育管理上重要な看護の一つになっています。本研究室では、家畜人工授精師や削蹄師の資格取得に向けた基礎知識の習得、実践を交えたトレーニングを積極的に行うことで卒業即戦力となる生産動物に特化した動物看護師の養成に向けた取り組みを行います。

家畜人工授精師	健康管理	牛
肉牛	生産動物看護	削蹄師

## 動物疾病治療研究室

嶋本 良則 教授

動物の病気の診断・治療に利用できる抗体の開発

動物の病気の原因となる細胞がつくるタンパク質や病気の時に変化するタンパク質を特異的に認識する抗体をつくることは、迅速な診断や副作用の少ない治療、さらには動物の「生活の質」の向上につながる考えます。さまざまな情報をもとに目的のタンパク質を決定し、それに対する抗体をつくり、診断や治療への有用性を検討しています。

動物の病気	診断	治療
モノクローナル抗体		

## 動物生体反応研究室

宮庄 拓 講師

さまざまな状況に対する動物の生体反応(生体応答)について

生体はさまざまな状況に対してさまざまな反応を示します。怪我や感染を受けた際にはその反応を駆使して身体を守ろうとします。バランスの悪い食事でも補おうとする反応が起こります。それらの反応を理解すれば、それは治療や改善のターゲットになり得ます。さまざまな状況に対する生体の反応・応答について研究しています。

生体反応	生体防御	生体応答
生体機能	ストレス	病気の予防

## 動物理学療法研究室

椿下 早絵 准教授

犬猫の術後の早期回復や高齢動物の運動機能の維持への取り組み

動物の理学療法は、世界的にもその必要性が認識され始めたばかりの分野です。しかし、獣医療の進歩・ペットの高齢化に伴い、今後どんどん発展していくと考えられています。当研究室では、リハビリテーションを実施することにより、犬猫の術後の早期回復や高齢動物の運動機能の維持に取り組んでいます。

動物理学療法	リハビリテーション	早期回復
高齢化	イヌ	ネコ

## 動物集中管理研究室

佐野 忠士 准教授

犬・猫・牛・馬の行動に関する研究  
伴侶動物の集中治療におけるチーム医療を構築

犬・猫など動物の示す生体反応には不明点が多く、さまざまな方法を用いてその意味を理解しなければなりません。動物の示す「サイン」に気づき看護することのできるチームが何より重要です。本研究室では附属動物医療センターでの活動を通じ、チーム医療・チーム看護の大切さを身をもって学んでもらっています。

動物看護伴侶動物	獣医療の高度化	ストレス
救急救命	集中治療	チーム医療

## 動物看護研究室

八百坂 紀子 講師

デンタルケアや緩和ケアについての研究

新しい分野である動物看護について、伴侶動物の疾病予防・治療・緩和について専門知識を持ち手助けができるような看護ケアについて研究します。特に動物看護師の活躍が期待される歯周病予防としてのデンタルケアや、中獣医学を取り入れた緩和ケアについて取り組んでいます。

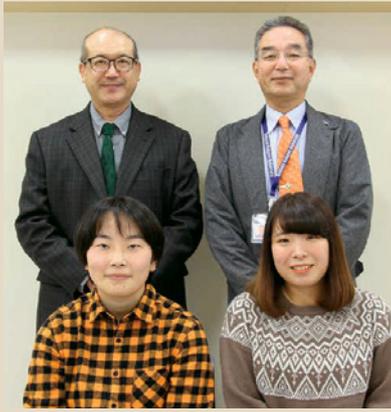
動物看護伴侶動物	看護ケア	緩和ケア
中獣医学	口腔衛生	コミュニケーション方法



## 獣医保健看護学類生で初の 2級認定牛削蹄師に合格

日本装削蹄協会主催（北海道牛削蹄協会が協力）する「2級認定牛削蹄師認定講習会認定試験」が2018年9月5日（水）・6日（木）に北見市で行われ、獣医保健看護学類4年の

山本理絵さんと岡野衣千花さんが合格しました。同学類の学生では学類開設以来初めてとなります。ふたりは8月に家畜人工授精師の資格も取得していて、卒業後は産業動物に特化した動物看護師として職に就きます。受験には、2018年度から獣医保健看護学類に新たに開設された生産動物看護研究室の菅野美樹夫教授と獣医学類生産動物医療分野の阿部紀次獣医臨床教授が学科と実技の指導を行いました。



岡野さん



山本さん



## 獣医保健看護学類の実習で 豚の分娩介助を学ぶ

12月14日（金）、本学ワールド教育研究センター肉畜生産ステーション内実験豚舎にて、獣医保健看護学類4年生の授業「総合臨床実習B」において、菅野美樹夫教授（生産動物看護研究室）の指導の下、豚の分娩介助を体験しました。同学類の学生が生産動物の実習を行うのは今回が初めてです。

本日体験した豚のお産は、繁殖を担当する循環農学類なら当たり前のことですが、獣医保健看護学類は少し違います。学生には、「異常事態を想定して、自分たち動物看護師としてしなければならぬこと」を常に考え、肌で感じとってほしい

生産動物看護研究室  
菅野美樹夫 教授



と思っています。そして「自分たちでどんなことができるのか」を知ってほしいです。

現場で経験を積んで、  
動物看護の教育に携わりたい。



動物に関わる仕事がしたいと思い、獣医保健看護学類で獣医師とは異なる立場から獣医療にアプローチしていけることに興味が湧きました。充実した施設と北海道で学べるという高揚感もありました。

実践的な実習や多岐にわたる専門科目の授業は、今も現場で生きています。また、多方面から進学してくる仲間たちとの出会い

獣医保健看護学類

↓  
公益財団法人  
日本小動物医療センター

さくらい しんのすけ  
桜井 新之介 さん

2017年3月卒業  
富山県／八尾高校出身



は何物にも代えがたい財産で、今でも互いに切磋琢磨しています。

在学中にアメリカの大学病院へ短期留学をし、その際目の当たりにした最先端を行く欧米の診療形態と当院が似ており、専門分野での勉強がしたく就職を決めました。

仕事の内容は、患者の入院管理はもちろん、専門の獣医師のもと麻酔管理や外来患者の各種検査、また救命救急の現場では獣医師とともにチームとして心肺蘇生の処置に携わるなど多岐にわたります。

将来は診療現場での経験を生かして教育に携わり、動物看護師の発展に関与していきたいです。ペットたちが少しでも健康で楽しい毎日をおくれる手助けになることが、仕事のやりがいであり、その夢への活力にもなっています。

自分の気持ちに素直になり、夢に向かって進んでほしいと思います。大学では好きなことを思う存分学べる環境が用意されているので、大いに活用して自信を磨いてください。

# 牛と出会い、人工授精師に。

## 自分の可能性を狭めずに 突き進んでほしい。

高校時代は小動物方面に進みたいと思っていましたが、せっかく学ぶなら色々な動物に触れようと、酪農学園大学に入学を決めました。大学の乳牛研究会で初めて牛と触れ合い、分娩に立ち会った時の感動が忘れられず、生命の誕生に関われる仕事を目指しました。現在、家畜(牛)人工授精師として働いています。主な業務は家畜(牛)の人工授精です。受精卵移植の資格も取ったので、最近は受精卵移植も行っています。授精した牛が妊娠し、無事に分娩して元気な子牛を見ると、やりがい



を感じます。農家の方が私の名前にちなんで、牛の名前をつけてくれることもあります。酪農学園大学の最大の魅力は、何と云ってもたくさん動物がいることです。私は4年間、大好きな動物に囲まれた幸せな大学生活を過ごせました。またサークルでは乳牛研究会に入ったおかげで、牛と一生ものの友人に出会えました。授業は小動物が中心でしたが、私のように専門外の進路でも目指せる環境が整っています。入学前に思い描いていた道と違っていても、自分の可能性を狭めずに突き進んでほしいと思います。

獣医保健看護学類

↓

**オホーツク農業共済組合  
興部支所  
雄武家畜診療所改良課**

やまだ ゆうみ  
**山田 悠未** さん

2016年3月卒業  
東京都/十文字高校出身



# 動物病院実習の経験をバネに

## 動物看護師の仕事をもっと 知りたいと思うようになった。

動物病院は病気や怪我をした動物だけではなく、健康な動物が健康診断や予防接種、爪切りなどの日常ケアで来院することも多くあります。動物との接し方はもちろん、飼い主様とのコミュニケーションがとても大切になります。私の仕事はまず診察・手術の補助・薬の準備、入院・ペットホテルの動物のお世話などの看護業務があります。また飼い主様に対しての問診電話対応、受付・会計などの受付業務、さらに院内の清掃・在庫管理・DM作成などさまざまです。大学2年の時に動物病院に実習に行きました。10日間現場を経験し、自分の知識の少なさや、思うように動けなかつた悔しさを痛感することになりました。もっと知識を深めたい、動物看護師の仕事をもっと知りたいと思うようになりまし。



入学時、宮城から一人で北海道に来るのは不安でしたが、良い環境、多くの友人、恩師に恵ま

獣医保健看護学類

↓

**表参道  
ペットクリニック**

さいとう かおり  
**西塔 果織** さん

2016年3月卒業  
宮城県/宮城野高校出身



れました。所属していた動物理学療法研究室では整形外科の手術を間近で見学したり、リハビリテーションを行ったりしたことも、今の仕事に役立っています。大学は素敵な仲間にも会える場所です。色々なことにチャレンジして新しい自分を再発見してみてください！



# 国際交流

**人と研究の国際交流を積極的に推進**

海外の大学・研究機関との学術交流の窓口として学術交流協定の締結などを推進。また、学生の多様なニーズに応えるため海外研修・留学プログラムの充実にも努めており、語学研修、ファームステイ、動物・環境保護などのプログラムを企画・紹介をしています。

## 学術交流協定

本学は、海外の大学などの交流協定を21カ国・地域の42機関と締結しており、学術資料の交換、教員や学生の派遣交流、共同研究、セミナーなどの開催で交流を行っています。

## 学術交流協定機関

21カ国 42機関

- カナダ／●アルバータ大学 ●オールズカレッジ ●サスカチュワン大学
- アメリカ／●オハイオ州立大学(獣医学部、食品・農業・環境科学部)  
●コーネル大学 ●フインドレー大学 ●バデュー大学
- パラグアイ／●アスンシオンカトリック大学
- ロシア／●ロシア極東農業大学
- 中国／●新疆農業大学 ●内モン古農業大学 ●内モン古民族大学 ●陝西省動物研究所
- 韓国／●国立韓京大(獣医学部、食品・農業・環境科学部) ●国立韓農水産大学
- 台湾／●国立嘉義大学 ●国立屏東科技大学 ●国立中興大学
- フィリピン／●東フィリピン大学
- マレーシア／●サバ大学
- ベトナム／●ハノイ公衆衛生大学 ●ベトナム国立農業大学 ●国立獣医学研究所
- タイ／●マヒドン大学(熱帯医学部、獣医学部) ●チュラーロンコーン大学  
●カセサート大学 ●タイ王国保健省医科学局 ●コンケン大学 ●タマサート大学
- ミャンマー／●ミャンマー獣医学部
- インド／●サムヒギンボトム農業科学技術大学
- モンゴル／●モンゴル生命科学大学 ●フスタイ国立公園
- カザフスタン／●アルファラヒカザフスタン国立大学 ●国立バイオセンター
- ポーランド／●ワルシャワ農業大学
- ドイツ／●ハノーバー獣医科大学
- デンマーク／●デンマーク国立畜産研究所
- イギリス／●グラスゴー大学生物多様性・家畜衛生・比較医学インスティテュート
- ケニア／●国際家畜研究所
- コートジボワール／●スイス科学研究所

## 短期海外研修・レポート

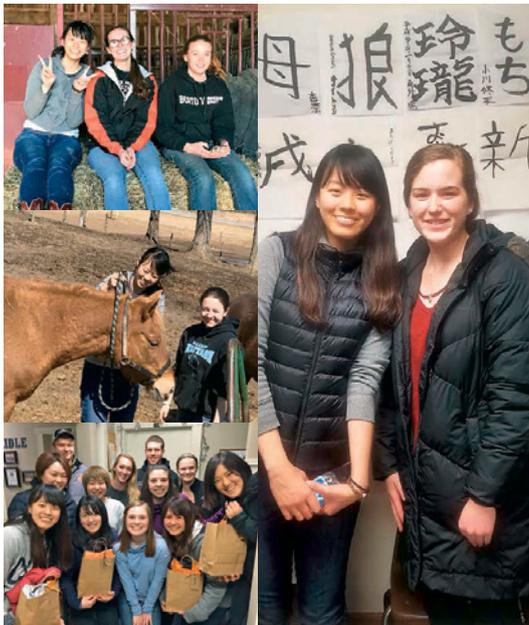
### アメリカ フィンドレー大学 ベーシック・アニマルハンドリングプログラム



獣医学類 岡田 実和さん  
東京都／成城学園高校出身

## 学生は自主的に実習に参加し 疑問点は積極的に質問します

私はアメリカのフィンドレー大学に約3週間、短期留学しました。午前中は馬学科で厩舎の掃除や葉のあげ方を学び、午後は子豚や子羊などの除角や去勢などを行いました。金曜日は夕方から深夜にかけて、猫の避妊去勢手術や、馬の全頭採血をしました。フィンドレー大学では、学生が自主的に実習に参加しています。みな勉強熱心で、分からないことがあるとすぐに質問し、先生と一緒に授業をします。私もその姿を見て質問をするように。彼らは英語が分からないと言えば、理解できるまで教えてくれました。疑問を放置せず、積極的に向き合う大切さを痛感しました。大学では自分の努力に比例して、将来の選択肢が増えていきます。ぜひ酪農学園大学で、やり抜けるものを見つけてください！



## 長期海外農業研修プログラム・レポート

### JAEC (国際農業者交流協会)

#### 欧州農業研修 スイス



循環農学類 藤山 真梨さん  
奈良県／聖心学園中等教育学校出身

## 勇気を持って飛び出せば 宝物になる経験が待っています

私は循環農法を用いた複合農業と家畜に配慮されたアニマルウェルフェアに興味があり、1年間スイスに行きました。最初の3週間はドイツの語学学校に通い、他の国の学生とサッカーをするなど、充実した時間でした。その後の研修先の農家は、乳牛約40頭とリಂಗとナシを育てており、夕方の搾乳はすべて任せてもらいました。果樹の収穫は家族総出で行い、楽しい時間でした。私は海外への思いが強くありましたが勇気が出ず、何度もやめようと思いましたが、飛び出しました。時には辛いこともありましたが、海外農業研修での経験は今では宝物です。人見知りな私ですが、積極的に行動できたと思います。皆さんも本当に自分のやりたいことに、勇気を出してチャレンジしてください。





青年海外協力隊の  
隊員として活躍する  
卒業生

本学からの青年海外協力隊  
派遣人数は、累計で**250名**  
を超えており、2018年12月  
現在、11名の卒業生が活動中  
です。派遣国は、アフリカ、中  
米、アジア、中近東などのうち、  
開発途上国と分類される国々  
です。本学卒業生の多くは「家  
畜衛生（獣医師）」「家畜飼育」  
など本学が開設以来、高い専門  
性を有する教育・研究分野に関  
連する職種で派遣されていま  
す。最近では、地球環境問題へ  
の対応を求められる「環境教育」  
の分野で派遣される協力隊員の  
数も増加しています。青年海外  
協力隊の隊員募集は、年2回  
（春、秋）JICAが主催して行  
います。

## 本学の知的資源を多角的に活用

関係省庁や企業との共同研究、寄附講座の開設をはじめ、  
教員による新技術開発の特許の出願・登録、産学官連携・高大  
連携などの各種事業、各種展示会での研究活動のアピールな  
どを積極的に展開しています。

# 地域・企業連携

## 江別市大学連携事業

江別市大学連携事業は2009年度より「江別市・大学・  
江別市商工会議所による包括連携・協力に関する協定  
（包括連携協定）」を締結したことからスタートし、教員向  
けに調査研究事業、学生向けに学生地域活動支援事業  
として毎年実施しているものです。例年、本学教員・学生  
の研究が採択されてお

大学連携事業報告会



り、その研究成果が今  
後の江別市の発展に  
寄与していくことが期  
待されています。

## 北海道最大級のビジネスイベントに出展

毎年11月上旬の2日間、札幌市白石区のアクセスサッポロで開催されるビジネ  
スEXPO「北海道技術・ビジネス交流会」に本学の教育・研究成果を出展していま  
す。2018年度は循環農学類の堂地修教授、中辻浩喜教授による飼料米を使った  
肉牛、乳牛への給与効果に関する研究の紹介と本学の前年度の受託研究・共同  
研究、科学研究費助成事業の成果をパネル展示した他、北海道農政部の【道内  
AI・IoT】ブースに、環境共生学類の金子正美教  
授、星野仏方教授、小川健太准教授が、ノース  
テック財団ブースに食と健康学類の阿部茂教  
授が出展し、本学の研究内容がより分かりやす  
く説明でき、各ブースとも来場者に好評でした。



こんにちは！  
私は「酪農PLUS+」の  
マスコットキャラクターの  
サンディーです！

突然ですがこのマーク  
を皆さんは知っています  
か？これは「SDGs」と  
いって持続可能な世界にするための17の目標を  
表しています！

現在世界中で取り組まれており、酪農学園大  
学でも「健士健民」や「三愛精神」という建学の  
精神・理念のもとに取り組んでいきます！

皆さんも酪農学園大学でSDGsを  
実践しましょう！「酪農PLUS+」も  
よろしくね！



SDGsの17の大きな目標

SDGs(持続可能な開発目標)とは国際社会共通の目標で重要な世界的合意の1つであり、その  
17の持続可能な開発目標は世界で最も緊急に取り組むべき課題の解決を導くものです。



**農・食・環境・生命の  
最先端研究に取り組む。**

酪農学園大学は、農・食・環境・生命の領域において、それぞれが互いに連携しながら地球と生命を科学する総合大学です。その研究領域は、産業としての農だけではなく、生命を健やかに育むための食や健康、地球環境に至るまでの社会を構成するあらゆる分野におよびます。獣医学研究科（2専攻）と酪農学研究科（4専攻）で構成される本学大学院は、こうした総合大学としての強みを生かし、建学の精神である「健士健民」という理念の具体的表現をテーマに、高度な専門性を有し、それを職業で表現していく人材、技術革新など将来を切り拓く研究者の育成を目指しています。



農・食・環境に関わる研究を現場から学び、現場に返す。

## 酪農学研究科

### 食生産利用科学専攻 [博士課程] 3年

- 植物資源生産学
- 食資源開発利用学
- 微生物利用学
- 食料経済学
- 動物資源生産学
- 応用食品化学
- 農業経営政策学

### 食品栄養科学専攻 [博士課程] 3年 [修士課程] 2年

- |             |             |             |              |
|-------------|-------------|-------------|--------------|
| <b>加工特性</b> | <b>栄養機能</b> | <b>健康栄養</b> | <b>食環境管理</b> |
| ■ 食品加工特性学   | ■ 食品栄養機能化学  | ■ 健康栄養学     | ■ 食品微生物管理学   |
| ■ 食品物性学     | ■ 食品機能生化学   | ■ 臨床栄養学     | ■ 食品環境汚染学    |

### 酪農学専攻 [修士課程] 2年

- |               |               |              |              |
|---------------|---------------|--------------|--------------|
| <b>作物生産科学</b> | <b>家畜生産科学</b> | <b>酪農情報学</b> | <b>環境共生学</b> |
| ■ 土壌植物栄養学     | ■ 家畜繁殖学       | ■ 酪農経営情報学    | ■ 野生動物学      |
| ■ 病理・害虫学      | ■ 遺伝・育種学      | ■ 農業経営学      | ■ 国際環境情報学    |
| ■ 飼料作物学       | ■ 家畜栄養学       | ■ 酪農政策学      | ■ 地球環境保全学    |
| ■ 植物遺伝学       | ■ 家畜管理学       | ■ 農業市場学      |              |
| ■ 酪農機械学       | ■ 酪農生物化学      |              |              |

### フードシステム専攻 [修士課程] 2年

- |                  |                 |                 |
|------------------|-----------------|-----------------|
| <b>食資源利用システム</b> | <b>食料政策システム</b> | <b>経営管理システム</b> |
| ■ 農・畜産食品学        | ■ 食料政策論         | ■ 経営管理論         |
|                  | ■ 食品流通論         | ■ 食品情報システム論     |

臨床と基礎の両面から獣医学の発展を推進する。

## 獣医学研究科

### 獣医学専攻 [博士課程] 4年

#### 基礎獣医学（生体機能学）

- 獣医解剖学
- 獣医組織解剖学
- 獣医生理学
- 獣医栄養生理学
- 獣医生化学
- 獣医薬理学
- 獣医放射線生物学

#### 臨床獣医学（伴侶動物医療学）

- 運動器・神経病治療学
- 獣医眼科学
- 獣医臨床腫瘍学
- 画像診断学
- 獣医麻酔学
- 循環器病学
- 動物集中管理学
- 動物疾病治療学

#### 基礎獣医学（感染・病理学）

- 獣医病理学
- 獣医寄生虫学
- 獣医ウイルス学
- 獣医細菌学
- 実験動物学

#### 応用獣医学（衛生環境学）

- 人獣共通感染症学
- ハードヘルス学
- 獣医衛生学
- 食品衛生学
- 環境衛生学
- 獣疫学
- 人と動物の関係学

#### 臨床獣医学（生産動物医療学）

- 生産動物内科学I
- 生産動物内科学II
- 生産動物外科学
- 動物生殖学

### 獣医保健看護学専攻 [修士課程] 2年

#### 基礎・応用獣医保健看護学

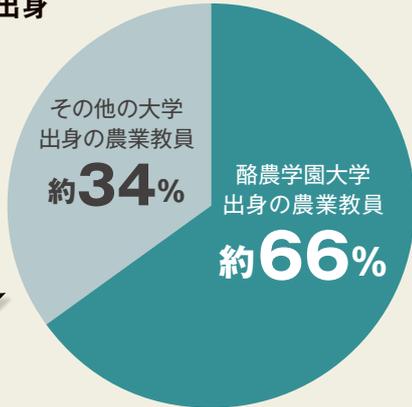
- 獣医解剖学
- 獣医ウイルス学
- 動物薬理学
- 獣医病理学
- 公衆衛生学
- 医動物学

#### 臨床獣医保健看護学

- 獣医衛生学
- 獣医麻酔学
- 画像診断学
- 動物理学療法学
- 動物疾病治療学
- 動物行動学
- 生産獣医療学

## 北海道内高校の農業系科目教員の約66%が酪農学園大学出身

北海道の高校に勤務する農業系科目の教員が248名。その約66%にあたる165名が酪農学園大学の卒業生です。



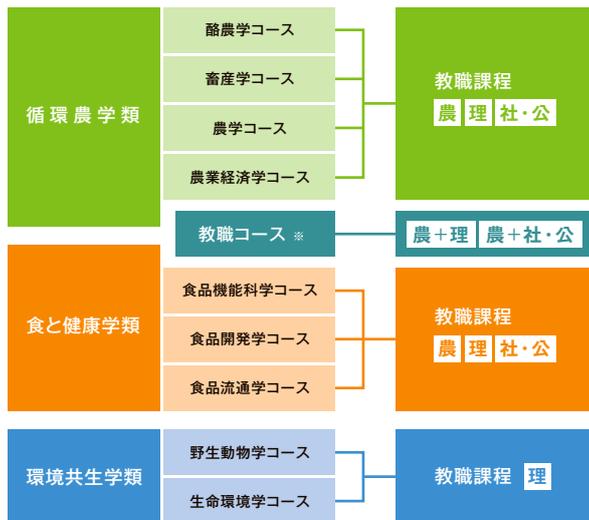
全道に広がる同窓生の輪

## 2018年度酪農学園卒業生教員任用者数

道内		道外	
農業系	165名	農業系	160名
理科	72名	理科	15名
農業系・理科以外	130名	農業系・理科以外	88名

※管理職、実習助手は含まず

## コースごとに見た取得可能な免許



※教員免許取得のための単位は、教職コースでは卒業要件に含まれますが、教職課程生については卒業要件に含まれません。教職コースの学生は、循環農学類、食と健康学類のどちらかに所属します。

※管理栄養士コースでは教員免許を取得することはできません。

# 酪農学園大学で

# 教員を目指す

酪農学園大学では教員免許取得のために2つの道があります。

「農食環境学群」の各学類(管理栄養士コースを除く)で専門的に学びながら教職課程生として教員免許を取る方法と、もう一つは教員採用試験の突破を目標に「循環農学類」と「食と健康学類」(管理栄養士コースを除く)に設置された「教職コース」に進む方法です。

「教職コース」では1年次終了時の選抜を経て、教員の道を目指す仲間たちと教員採用に向けた専門的な授業や指導を受けることが可能です。卒業時に農業科の教員免許に加え、理科(中学)、理科(高校)、社会科(中学、公民科(高校)免許のいずれか一つ以上を取得させ、農業科教員あるいは理科(中学・高校)教員を養成します。

## 酪農学園大学で取得可能な免許

	農業科(高校)	理科(中学・高校)	社会科(中学) 公民科(高校)
循環農学類	●	●	●
食と健康学類	●	●	●
環境共生学類	—	●	—

卒業生からのメッセージ



福島県立相馬農業高校  
土谷 聖奈さん  
食と健康学類(教職コース)  
2017年3月卒業  
北海道/美幌高校出身

## 教職課程で 実際の高校生と向き合う 「アグリトライ」を経験。

私は現在、相馬農業高校で食品科学科の教諭をしています。食品製造や微生物利用の授業のほか、実習で製パン・肉加工・洋菓子製造・アンテナショップ用販売菓子の製造などを行っています。

福島県を選んだのは、大学3、4年次に震災関連の「ふくしまキッズ」というボランティア活動に参加し、辛く苦しかったはずの子どもたちから多くの元気や勇気をもらい、生きていくことの強さまでも教わったことがきっかけです。

大学の教職コースでは、とわの森三愛高校と連携した「アグリトライ」が良い体験でした。またキャリアデザインの授業は、生徒の進路指導にも役立つ



導にも役立っています。全国各地から色々な人が集まる酪農学園大学だからこそ選択肢も広がり、自分を成長させてくれました。

# キャリアサポート

満足度100%の就職へ向けて、入学直後から細やかにサポートします。

“就活”を勝ち抜く実践力を身につけるために、  
講座やセミナーをはじめ多角的な支援体制を構築。

## キャリアセンターからのメッセージ

酪農学園大学では、学生が高い目的意識を持ちながら、人生観や職業観を養い、的確な進路や職業の選択が果たされるよう学生の希望に沿ったキャリア支援を行っています。3年次（獣医学類は5年次）に個人面談をすべての学生と行うことで、一人ひとりより細やかな信頼関係が確立できるよう努めています。インターンシップの紹介や資格・検定受験の支援、就職活動全般のノウハウを学ぶ「キャリア支援アワー」をはじめ、学内業界セミナー、公務員試験対策講座、面接対策講座、話し方講座、ビジネスマナー講座など各種講座を開催しています。この他、内定を得ている4年生から情報を得る報告会を行うなど多角的にサポートしています。学生の個性や適性、志望を生かした進路実現を支援しています。



## 2019年度の主な就職支援スケジュール

### 1・2年次

- 就職ガイダンス
- 公務員受験対策講座
- 食品衛生責任者養成講習会
- 日商簿記検定
- 家畜商講習会



### 3年次

- 就職ガイダンス
- 就職支援アワー（下記参照）
- 証明写真撮影会
- 公務員受験対策講座
- 技術・ビジネス交流会  
「ビジネスEXPO」見学
- SPI対策講座、WEBテスト
- 履歴書対策講座
- 業界セミナー
- 食品衛生責任者養成講習会
- 日商簿記検定
- 家畜商講習会
- 個人面談

#### 資格・検定受験を支援

■食品衛生責任者  
飲食店や食品製造業など食品の営業施設において、施設の衛生管理を担う責任者。その資格を取得するための講習会を学内で開催します。

■家畜商  
日本においての家畜の取引を行うために必要な免許。家畜商法に基づき公的資格です。

学年学類問わず受験ができる上記の資格などについての告知、申込受付を行っています。

### 4年次

- 就職支援アワー（下記参照）
- 就職ガイダンス
- 面接対応力向上セミナー
- 集団面接・GD対策講座
- 合同企業説明会
- 公務員獣医師説明会
- 食品衛生責任者養成講習会
- 日商簿記検定
- 家畜商講習会
- 社会人準備セミナー



社会へ

## 2018年度のキャリア支援アワーの主なテーマ

### 3年次（獣医5年）

- 4月 ●就職活動スタートアップ講座  
●インターンシップ参加準備講座
- 5月 ●インターンシップ受入企業/団体紹介  
●公務員になるための準備講座
- 6月 ●日本の産業界の全てがわかる業界MAPがもらえる！  
インターンシップに行くための業界の見方・企業、仕事の探し方  
●公募型インターンシップ活用講座  
●就職筆記試験対策講座  
●SPI開発元の解説と模試体験！  
「SPI(言語非言語Webテスト)受検会」
- 7月 ●ワークルールの基礎知識講座  
●インターンシップのためのコンプライアンス講座  
●インターンシップのためのビジネスマナー講座
- 9月 ●就活解禁に向けての準備講座

- 10月 ●就職活動体験報告会  
●採用面接対策講座  
●スマホ(PC)就活の攻略法と落とし穴  
●エントリーシート対策講座①基礎編
- 11月 ●エントリーシート対策講座②自己PR作成編  
●エントリーシート対策講座③志望動機作成編  
●インターンシップ参加報告会  
●業界・企業研究を効果的に進める  
秋冬インターンシップ活用講座  
●SPI模擬試験解説会
- 12月 ●女性のメイクアップ/  
男性の身だしなみ
- 1月 ●酪農学園東京オフィス/  
大学キャリアセンター活用講座
- 2月 ●就職活動直前総まとめ講座

### 4年次（獣医6年）

- 4月 ●聞いて得する就活講座  
～就活スタート前の方、  
選考中の方へ～  
●GD対策講座  
●採用担当者が見ているスーツの  
着こなし、ヘアスタイル、歩き方講座
- 5月 ●採用面接対策講座  
●女性限定 就職活動メイク講座
- 6月 ●自分に最適な企業選びの  
ポイント講座

3年生の夏休みからインターンシップに参加し、2月から面接練習も始めました。3月は多くの企業の単独説明会に行きつつエントリーシートを提出し、4月に一次面接、5月に二次、最終という流れでした。就職活動では自己分析と、色々な話を聞くことが大事でした。私はアルバイト先でお客様の表情を見て接客していた時に一番やりがいを感じていたことを思い出し、食品小売での将来を考え始めました。またキャリアセンターの方、親や友人、ジョブカフェ等の就職支援センターの方と、幅広く意見をいただきました。将来は幅広い分野で活躍できる「食のプロ」を目指しています。就職活動中は挫折する時が来ると思いますが、何のためにこの進路を選んだのかを思い出し、頑張ってください。



食と健康学類 食品開発学コース  
北海道／札幌北陵高校出身  
後藤 美弥さん

株式会社 明治屋



獣医学類  
東京都／東京都市大学附属高校出身  
大関 和也さん

東京都(産業労働局)

入学時には動物病院を考えていましたが、大学で獣医師が多様な活躍ができることを知り、特に公衆衛生分野に興味がありました。地域住民と密に関わる職場に魅力を感じ、東京都を選びました。ゼミの先生は公務員出身だったので詳しい話を聞くことができ、また面接シートの確認と添削、アドバイスをいただき、とても助かりました。キャリアセンターの方には面接練習をしていただき、適度な緊張で面接に臨めました。筆記試験も大切ですが、面接が最も重要だと感じました。私の場合、動物ボランティアサークルの代表、ゼミ決め委員長、研究や国家試験対策委員長の活動が、プラスになったと感じています。就職活動と卒業論文の作成や学会での発表準備が重なりましたが、1つずつ確実にこなすよう努力しました。

就職活動にあたり楽しかった実習や興味を持った授業を振り返り、細かい作業や人とコミュニケーションを取る場が好きなので、動物の臨床検査技師を目指しました。就職の相談では、検査会社に就職した先輩に面接の内容や1日のスケジュール、検査項目などを教えていただきました。面接で一番大切なのは、自分らしくいること。緊張すると思いますが、私は会社の求める人材像はあまり気にせず、ありのままの自分を出し、笑顔を大切にしました。もちろん、会社の詳細や大学で頑張っていることなどの話題を持つておくことも大切ですが、将来は、技術と知識を身につけ、学会にも出られるようになります。給料なども大切ですが、自分が一番やりたい仕事を目標として頑張ってください。



獣医保健看護学類  
北海道／藤女子高校出身  
菊地 杏菜さん

株式会社 サンリツセルコバ検査センター

私はもともと子どもが好きで、離乳食に関する卒業論文に取り組んでおり、保育の場での管理栄養士を目指しました。実習後に進路を決めたいと考えていたので、4年生の10月上旬から就職活動を開始。スケジュール体調管理が大変でしたが、幸い1カ月内で内定をいただきました。キャリアセンターの方々は、たった一枚の求人情報からでも施設の特徴や雰囲気を読み取り、私自身がどのようにその場所で力を発揮できるのか、親身になってアドバイスをいただきました。自分を見失わず一番やりたいことは何かをじっくり考えることで、納得のいく決断ができたと感じます。今後は、離乳食幼児食に携わる中で、食育に貢献していきたいです。就職活動では、いつでも自分を信じるのが大切だと思います。



食と健康学類 管理栄養士コース  
北海道／千歳高校出身  
信太 裕紀子さん

社会福祉法人 石狩友愛福祉会

私は幼少のころから野生動物や森林、河川など自然環境が好きで、それらに関わる仕事に就きたいと考え、自然や動物との距離が近く、多様な勉強ができる酪農学園大学に入学しました。就職活動では3年生の2月から情報収集を始め、3月に会社説明会、4年生の4月から道内外で試験を受け、6月に内定をいただきました。試験内容については、友人や研究室の先生にアドバイスをもらって準備しました。何ができて、何ができないのかを見極めて、面接で自分という人間をしっかり伝えられるようにしました。また、この業界は求人募集が一斉には出ないため、気になる企業は常に情報を収集し続けました。これからは自分の仕事に、ベストを追求し、成長し続けたいです。なりたいたい姿、なりたいたい職業を夢見て頑張ってください。



環境共生学類 野生動物学コース  
茨城県／水戸啓明高校出身  
湯浅 貴行さん

太平洋総合コンサルタント 株式会社

私は3年生の12月から1月にかけて、3社のインターンシップに参加。その中の1社に、書類審査や3回の面接を経て、内定をいただきました。就職活動中には、友だちや親よりも素直に話せたため、キャリアセンターの方に大変お世話になりました。特に初めのころは書類の基本的な書き方や考え方を教えていただき、慣れたころに自分の個性を出していけたと思います。就職活動を通じて思うのは、「自分に嘘をつかないこと」と「付け焼刃はバレる」ということ。また、友だちが内定をもらったら、心から喜んでください。学校でもアルバイト先でも、就職活動と関係ないことで笑える友だちに救われました。選考が上手く進まなかった時は自分を否定された気にもなりますが、周りの人に助けられながらさっさと進んでいけます。



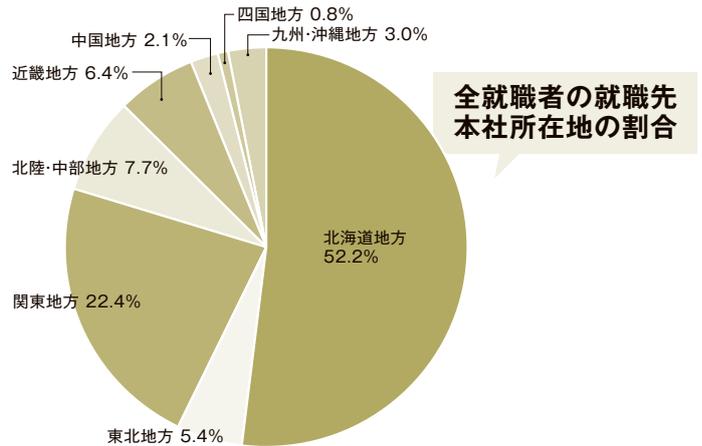
循環農学類 農学コース  
神奈川県／大原高校  
伊藤 宇宙さん

全国酪農業協同組合連合会

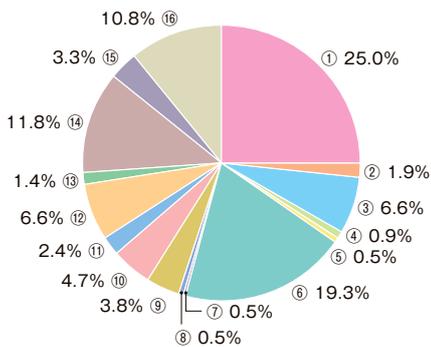
# 就職実績

## 就職先分野別グラフ (2018年3月卒業生)

- ① 農業・林業
- ② 建設業
- ③ 製造業
- ④ 情報通信業
- ⑤ 運輸業・郵便業
- ⑥ 卸売業・小売業
- ⑦ 金融業・保険業
- ⑧ 不動産業・物品賃貸業
- ⑨ 学術研究・専門・技術サービス業
- ⑩ 宿泊業・飲食サービス業
- ⑪ 生活関連サービス業・娯楽業
- ⑫ 教育・学習支援業
- ⑬ 医療・福祉
- ⑭ 複合サービス事業
- ⑮ サービス業
- ⑯ 公務



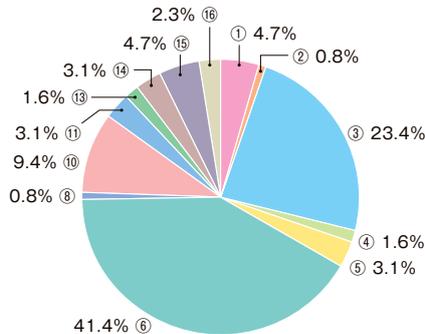
### 循環農学類 **99.5%** 就職率



就職者数 **212人**  
(うち自営者数 35人)  
進学者数 **5人**

### 食と健康学類 **99.2%** 就職率

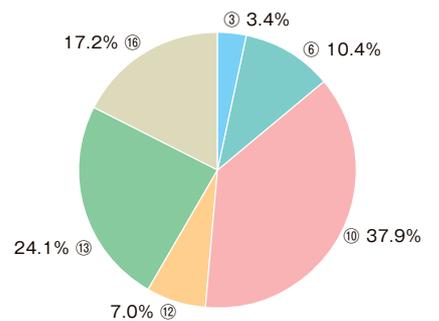
※管理栄養士コースを除く



就職者数 **128人**  
(うち自営者数 2人)  
進学者数 **2人**

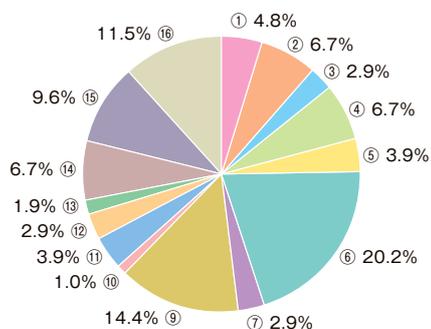
### 食と健康学類 **85.3%** 就職率

管理栄養士コース



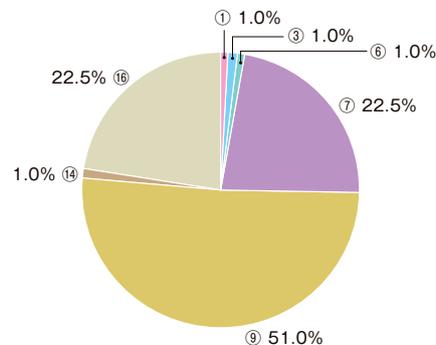
就職者数 **29人**  
(うち自営者数 0人)  
進学者数 **1人**

### 環境共生学類 **98.1%** 就職率



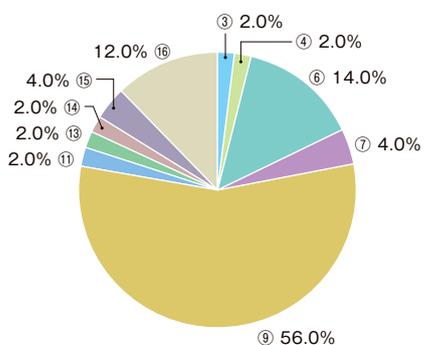
就職者数 **104人**  
(うち自営者数 1人)  
進学者数 **13人**

### 獣医学類 **96.2%** 就職率



就職者数 **102人**  
(うち自営者数 0人)  
進学者数 **6人**

### 獣医保健看護学類 **98.0%** 就職率



就職者数 **50人**  
(うち自営者数 0人)  
進学者数 **3人**

# 卒業生の就職企業等一覧

(過去3年分より抜粋)

## 循環農学類

農事組合法人Jリード	北海道	住化農業資材株式会社	大阪府	株式会社セブン-イレブン・ジャパン	東京都
株式会社ノベルズ	北海道	北海道旅客鉄道株式会社	北海道	株式会社コメリ	新潟県
ノーザンファーム	北海道	株式会社丹波屋	北海道	地方独立行政法人北海道立総合研究機構	北海道
一般社団法人家畜改良事業団	東京都	株式会社野澤組	東京都	公益社団法人日本食肉格付協会	東京都
株式会社フリーデン	神奈川県	株式会社SCミート	千葉県	一般社団法人ジェネティクス北海道	北海道
阪神畜産株式会社	大阪府	伊藤ハムミート販売西株式会社	兵庫県	株式会社ノースブル	宮城県
日本クリア株式会社	東京都	金港青果株式会社	神奈川県	公益財団法人軽種馬育成調教センター	東京都
日本ホワイトファーム株式会社	青森県	日本ニューホランド株式会社	北海道	株式会社小樽水族館公社	北海道
株式会社北海道フーズ	北海道	株式会社コーンズ・エージー	北海道	株式会社北海道畜産公社	北海道
北海道糖業株式会社	東京都	株式会社中セキ北陸	石川県	農業共済組合	
スターゼン株式会社	東京都	株式会社北海道クボタ	北海道	農業協同組合	
森永乳業株式会社	東京都	ヤンマーアグリジャパン株式会社	大阪府	北海道(普及職員)ほか公務員	
日本ハム北海道ファクトリー株式会社	北海道	オールジャパンリーダーズサービス株式会社	北海道	高等学校教員	
雪印種苗株式会社	北海道	株式会社ホクレン商事	北海道		など
住商アグリビジネス株式会社	東京都	コーナン商事株式会社	大阪府		

## 食と健康学類

株式会社牧家	北海道	日糧製パン株式会社	北海道	株式会社セコマ	北海道
サンマルコ食品株式会社	北海道	米久株式会社	静岡県	株式会社ファミリーマート	東京都
よつ葉乳業株式会社	北海道	六花亭製菓株式会社	北海道	株式会社サッポロドラッグストア	北海道
伊藤ハムデイリー株式会社	宮城県	科研製菓株式会社	東京都	株式会社ニトリ	東京都
株式会社ケイシイシイ	北海道	本部三慶株式会社	大阪府	株式会社アレフ(びっくりドンキー)	北海道
株式会社バイオニアジャパン	北海道	SBSフレック株式会社	東京都	エームサービス株式会社	東京都
株式会社モリタン	北海道	国分北海道株式会社	北海道	株式会社LEOC	東京都
株式会社もりもと	北海道	大槻食材株式会社	北海道	病院・福祉施設	
株式会社豊富牛乳公社	北海道	日本アクセス北海道株式会社	北海道	公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会	北海道
株式会社北菓楼	北海道	ホシザキ北海道株式会社	北海道	農業協同組合	
株式会社明治	東京都	イオン北海道株式会社	北海道	北海道(管理栄養士)ほか公務員	
関東グリコ株式会社	埼玉県	マックスバリュ北海道株式会社	北海道	高等学校教員	
札幌バルナハフーズ株式会社	北海道	株式会社東急百貨店	東京都		など
雪印メグミルク株式会社	東京都	生活協同組合コープさっぽろ	北海道		

## 環境共生学類

株式会社ホクリヨウ	北海道	ハミューレ株式会社	北海道	株式会社東海建設コンサルタント	静岡県
株式会社アルファ技研	北海道	株式会社北海道銀行	北海道	株式会社北海道朝日航洋	北海道
大洋技研工業株式会社	愛知県	株式会社環境保全サイエンス	北海道	株式会社野生動物保護管理事務所	東京都
三和土質基礎株式会社	北海道	特定非営利活動法人南知床・ヒグマ情報センター	北海道	環境保全株式会社	青森県
北海道消防機材株式会社	北海道	FRSコーポレーション株式会社	北海道	新日本環境調査株式会社	東京都
株式会社太平エンジニアリング	東京都	株式会社エル技術コンサルタント	北海道	鶴雅グループ株式会社阿寒グランドホテル	北海道
ホクレン肥料株式会社	北海道	株式会社ルーラルエンジニア	北海道	株式会社江東微生物研究所	東京都
北海道旅客鉄道株式会社	北海道	株式会社東洋コンサルタント	東京都	独立行政法人国際協力機構(JICA)	東京都
株式会社丹波屋	北海道	株式会社シン技術コンサル	北海道	農業協同組合	
株式会社岩崎	北海道	株式会社ズコーシャ	北海道	環境省北海道地方環境事務所ほか公務員	北海道
ファームエイジ株式会社	北海道	株式会社福田水文センター	北海道	高等学校教員	
株式会社モンベル	大阪府	アジア航測株式会社	神奈川県		など
生活協同組合コープさっぽろ	北海道	株式会社パスコ	東京都		

# 卒業生の就職企業等一覧

(過去3年分より抜粋)

## 獣医学類

日本クリア株式会社	東京都	有限会社牛の病院キーストン動物病院	沖縄県	福岡夜間救急動物病院	福岡県
一般財団法人化学及血清療法研究所	熊本県	藤原動物病院	岐阜県	南が丘動物病院(日研産業株式会社)	兵庫県
日本全薬工業株式会社	福島県	オリーブ動物医療センター病院	京都府	ノア動物病院	北海道
一般財団法人阪大微生物病研究会	大阪府	有限会社キャッツ(おだ動物病院グループ)	広島県	上記のほか動物病院に多数就職	
国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構	茨城県	ビジョン動物愛護病院	埼玉県	東武レジャー企画東武動物公園株式会社	埼玉県
独立行政法人家畜改良センター	福島県	ワールド動物病院	山口県	株式会社京都動物検査センター	京都府
株式会社札幌総合動物病院	北海道	株式会社ノア動物病院	山梨県	独立行政法人国際協力機構(JICA)	東京都
一般財団法人日本食品分析センター	東京都	タやけの丘動物病院	神奈川県	農業共済組合ならびに農業共済組合連合会	
株式会社日本動物医療センター	東京都	沢村獣医科病院	千葉県	厚生労働省、農林水産省ほか公務員	
ダイゴベットクリニック	愛知県	有限会社オネスティ小儀動物病院	大阪府		など
ブンブン動物病院	愛知県	倉吉動物医療センター・山根動物病院	鳥取県		
やさか動物病院	岡山県	奈良動物医療センター	奈良県		

## 獣医保健看護学類

公益財団法人日本小動物医療センター	埼玉県	株式会社テリアもりやま犬と猫の病院	愛知県	オホーツク農業共済組合	北海道
ラバス動物病院	北海道	上記のほか動物病院に多数就職		株式会社猛禽類医学研究所	北海道
江別白樺通りアニマルクリニック	北海道	東海プリーディング株式会社	静岡県	酪農学園大学附属動物病院	北海道
株式会社どうぶつ眼科専門クリニック	大阪府	株式会社ノースペット	北海道	株式会社JPR	東京都
千葉西動物医療センターファミリー動物病院	千葉県	あすか製菓株式会社	東京都	株式会社サンリツセルコバ検査センター	神奈川県
有限会社ユウ動物病院	静岡県	株式会社ベル・ケール研究所	北海道	富士フィルムモノリス株式会社	東京都
株式会社日本動物高度医療センター	神奈川県	ジャベル株式会社	愛知県	シミックファーマサイエンス株式会社	東京都
オノ動物病院	秋田県	MPアグロ株式会社	北海道	公益財団法人日本盲導犬協会 神奈川訓練センター	神奈川県
ルナ動物病院	三重県	株式会社ジョイフルエーケー	北海道	農業協同組合	
株式会社竜之介(竜之介動物病院)	熊本県	イオンベット株式会社	千葉県	公務員	
西京極どうぶつ病院	京都府	株式会社コジマ	栃木県		など
株式会社ウイル動物病院グループ	宮城県	アニコム損害保険株式会社	東京都		

## 在学生の就職活動をサポート 酪農学園東京オフィス

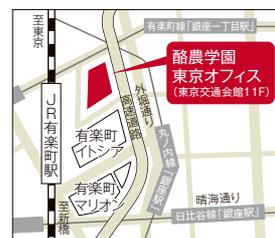
交通の便が良い有楽町駅前の東京交通会館に本学東京オフィスを設置。30名収容のミーティングルームなどを完備し、キャリアカウンセラーのアドバイスなど就職活動のサポート体制を整えています。



〒100-0006  
東京都千代田区有楽町2丁目10-1  
東京交通会館11F 1112号  
TEL: 03-6269-9955  
FAX: 03-6269-9944

### 【交通のご案内】

- JR有楽町駅(京橋口、中央口(銀座側))
- 地下鉄有楽町線 有楽町駅直結(出口D③)  
(千代田線・都営三田線の日比谷駅と地下で連絡)
- 丸ノ内線・銀座線・日比谷線 銀座駅(出口C③)





部活・サークル / キャンパス / 暮らし / 仲間の夢

# CAMPUS LIFE



どれがあなたのキャンパスライフを彩るだろう  
ドキドキがいっぱいの学園生活があなたを待っています。



## 中央館



1F



**ロビー** お弁当を食べたり、友人とおしゃべりしたり、自習したり。学生たちが自由に入出りできるフリースペースです。

Campus

# キャンパス

あなたの「好き」を「かたち」にするサポート体制も充実しています。学び・食・健康など学生生活のすべてを支援する施設と職員が揃っています。

2F



カラフルな椅子が並ぶ明るいスペース。ゆったりと自習するのに最適。

1F



### 生協中央店

軽くお昼をすませたい方はこちらへ。おにぎりやお弁当、パンなどがあります。



## 3F ~ 7F 附属図書館

図書館は情報の宝庫。約35万冊の蔵書数で書籍だけではなく、雑誌や新聞、DVDや語学CDなども揃っているのでフルに活用しましょう。

- 図書・雑誌フロア(3F~5F) 一般図書から論文まで充実。静かな環境で勉強がはかどります。
- マルチメディアフロア(6F) DVDや語学CDなど視聴覚資料が満載。AVブースで視聴できます。
- オープンPCフロア(7F) パソコンが自由に使える。インターネットにも接続できます。



1F

### 学生相談室

カウンセラーが常駐して、学生一人ひとりがより良い学生生活を送れるようサポートします。勉強のこと、健康のこと、対人関係など、相談できます。



## 学生サービスセンター

1F

### 医務室

保健師さんが常駐しており、学生の日常の健康をサポート。ケガの応急処置のほか、健康や病気の相談にもってくれます。



1F



### 生協旅行店・ルームガイド店

帰省や就職活動の時など飛行機、ホテルのチケットを手配してくれます。卒業旅行もここでチェック。物件探しもラクラクです。

## 酪農学園ホール



1F

### ホール

1Fのスペースは、食事でも、学生のいこいの場になっています。



1F



### ATM

ゆうちょ銀行と北洋銀行のATM。財布が空っぽになっても、慌てなくて済みます。

1F



### 生協購買店・書籍店

酪農大ブランド製品がここだけで買えます。またソフトクリームも販売しています。



2F

### 食堂

カフェテリア方式で、1日70品以上のメニューを用意。季節に応じて色々なフェアメニューが登場するなど、通い続けても飽きがきません。



チキン竜田丼



ピリカレーメン



チキンチーズカツ

ヘルシーメニュー!?



カレーライス



牛とろ丼



フェアメニュー



### 元祖ワンコイン (100円) 朝食

学生の食生活改善のため不定期で開催。2007年から先駆けて実施。

※写真は例です。

## トレーニングセンター



1F

### トレーニングルーム

ランニングやウエイトトレーニングなど多彩なマシンがあり、無料で使用できるので気軽に汗を流せます。シャワー室も完備。



本学職員のトレーナーの堤さんからトレーニングの指導を受けることができる。



第3回北海道フィットネスピキニオープン選手権「東北・北海道地区163cm超級で、本学獣医学類3年の姚麗花さんが優勝。

2F

## B4号館

### 学習支援室

勉強のことで悩んだり、困ったりしたらここへ。英語と数学の専門学習支援アドバイザーが常駐し、学生の習熟度に合わせてサポート。





弓道部 (42名)



フリークライミングサークル (49名)

日々の学びとともに、生涯にわたる仲間ができる  
 各種のクラブ・サークル活動も盛んです。  
 大学間の交流や、社会人との交流も広がります。

# 部活動

## クラブ & Circle



スキー部 (29名)



男子アイス  
ホッケー部

(45名)

ラクロス部

(44名)



熱気球愛好会 (16名)



馬術部 (34名)



合気道部 (16名)

### その他のクラブ・サークル

- ソフトテニス部 (36名)
- 剣道部 (25名)
- 男子バスケットボール部 (20名)
- ラグビー部 (33名)
- 山岳部 (11名)
- 男子バレーボール部 (26名)
- 柔道部 (35名)
- バドミントン部 (40名)
- ワンダーフォーゲル部 (32名)
- ウェイトリフティング部 (9名)
- サッカー部 (25名)
- 陸上競技部 (28名)
- 少林寺拳法部 (17名)
- 日本拳法部 (7名)
- フルコンタクト空手部 (6名)
- 硬式野球部 (37名)
- 空手道部 (15名)
- アーチェリー部 (32名)
- 水泳部酪泳会 (35名)
- 硬式テニス部 (27名)
- ハザードクラブ (11名)
- アウトドアライフ研究会 (25名)
- 軟式野球部 (25名)
- 女子バスケットボール部 (9名)
- フリースタイルスキークラブ (9名)
- 女子バレーボール部 (11名)
- North Paddler (14名)
- 卓球部 (25名)
- ハンドボール部 (13名)
- ビリヤードサークルNumber9 (21名)
- フットサルサークル「R-Foot」 (13名)
- 準硬式野球部 (21名)
- 自転車部 (23名)
- 女子アイスホッケー部 (27名)

※人数は2019年2月現在



肉牛研究会 (51名)



YOSAKOIサークル  
“祭” (116名)



中小家畜  
研究会

(27名)



どうぶつ  
ボランティア  
幸せなしっぽ

(138名)



吹奏楽団

(58名)

ブルーグラス研究所 (29名)



ア・カペラサークル  
『唄種』

(42名)



### その他のクラブ・サークル

- 合唱団 (6名)
- 軽音楽同好会 (45名)
- 写真部 (23名)
- 絵画研究会 (23名)
- 音楽研究会 (20名)
- 近代演劇 (30名)
- キリスト者学生会 (4名)
- 旅行サークル“The travelers” (77名)
- 漫画倶楽部 (12名)
- 創作文化研究会 (14名)
- 社会科見学サークル (6名)
- 手話サークルもみじの会 (15名)
- 酪農学園ボランティアクラブ (21名)
- ESS (62名)
- 酪農茶道部 (23名)
- 棋道部 (26名)
- 野菜サークル (V.R) (63名)
- 植林研究会 (28名)
- 室内楽団 (18名)
- 野生動物生態研究会 (69名)
- 野生動物との共存支援サークル (19名)
- 国際交流サークル“SukaRela” (18名)
- サマーアグリキャンプ (17名)



乳牛研究会

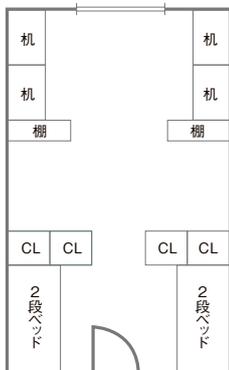
(51名)





## 希望寮 [男子寮]

4人部屋間取り例



全国から集まった友人たちとともに「好き」をかたちにしていくもう一つの場所。深い付き合いのなかから貴重な経験が得られます。

Student Life  
**暮らし**

### 快適な環境で、学びと友だちづくりができる男子学生寮

「希望寮」はキャンパスの西側にある男子寮です。隣接する附属高校との共同寮という特徴がありますが、生活時間が異なることから、高校生のスペースと大学生のスペースは完全に分けて配置。4年生以上は1人部屋を利用できます。また、共用スペースとして、食堂、談話室、集会室、多目的室、学習室、浴室、洗濯室、乾燥室、フリースペースなど快適な環境が整っています。



談話室



食堂



学習室

## 学生寮

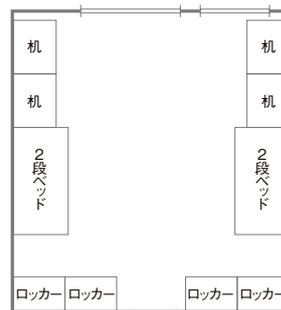
色々な面で安心して暮らせるのが寮の魅力。大学の敷地内にあるから通学もラクラク。



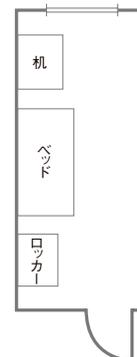
4人部屋

## 清温寮 [女子寮]

4人部屋間取り例



1人部屋間取り例



### 学年を超えた輪が広がる、安心・便利な共同女子寮



1人部屋



学習室

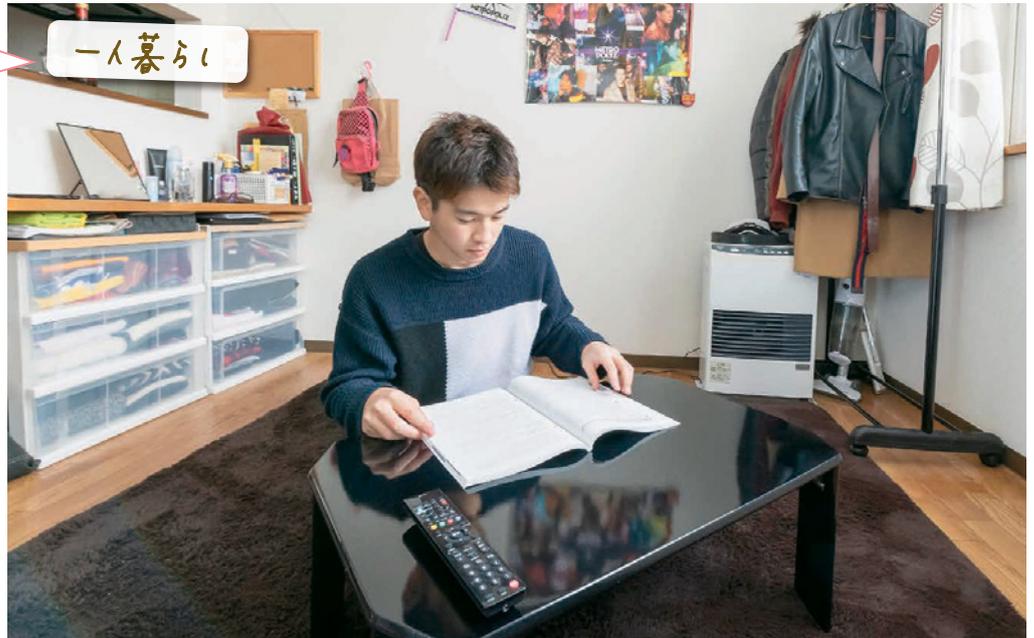
キャンパスの中心部ほど近くに建つ「清温寮」。1人部屋、2人部屋、4人部屋があり、バランスのとれた食事を提供する食堂や多目的室、無料の洗濯室などが整えられ、充実した学生生活をサポート。寮生が企画運営するイベントや男子寮（希望寮）との交流会も開催されます。学年・学類の枠を超えた友人たちとの共同生活は、成長していくための大きな財産となるでしょう。

# 暮らし

大学へ入学してからはじまる新たな生活。学生に感想を聞いてみました。

循環農学類 2年  
高椋 香輔さん  
熊本県 / 高名高校

- ① 1 これまでの親のありがたみを改めて知れたこと
- ② 2 いつでも友だちを呼べること
- ③ 3 サークル活動にいつでも参加できること
- ④ 2 風邪を引いたときも一人で全部やらないといけない
- ⑤ 3 20分
- ⑥ 4 COOP
- ⑦ 5 バイト代70,000円
- ⑧ 6 31,000円
- ⑨ 7 YOSAKOIサークル



## QUESTION

- ① 1 良かったことベスト3
- ② 2 嫌だったこと
- ③ 3 大学まで徒歩何分?
- ④ 4 よく行くスーパー
- ⑤ 5 生活費 (バイト代、仕送り、奨学金)
- ⑥ 6 家賃
- ⑦ 7 部活



循環農学類 (農学コース) 3年  
長島 沙絵さん  
千葉県 / 植草学園大学附属高校

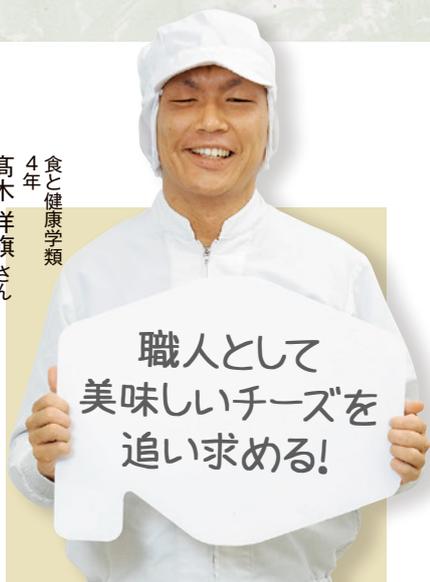
循環農学類 (酪農学コース) 3年  
尾藤 瑞菜さん  
北海道 / とわの森三愛高校

- ① 1 自由なこと
- ② 2 生活力がつくこと
- ③ 3 猫と友だちがいるので家に帰ってもさびしくないこと
- ④ 2 病気で一人のときは、家事をこなさなければならない
- ⑤ 3 20分
- ⑥ 4 大塚駅前のラルズ、ホクレンショップ
- ⑦ 5 仕送り60,000円(長島)、70,000円(尾藤)
- ⑧ 6 2人合わせて64,000円
- ⑨ 7 バドミントン部(長島)、乳牛研究会(尾藤)



# 日本全国 47都道府県から 「夢」が集まる大学

日本全国から集まってくる仲間たち！  
卒業後は各地に同じ好きさを持った  
つながりができます。



食と健康学類  
4年  
高木 洋旗さん  
〔北海道七飯町〕大野農業高校出身

職人として  
美味しいチーズを  
追い求める!



獣医学類  
2年  
山本 胡桃さん  
〔北海道札幌市〕札幌啓成高校出身

全てのヒトと  
動物に  
愛と希望を!



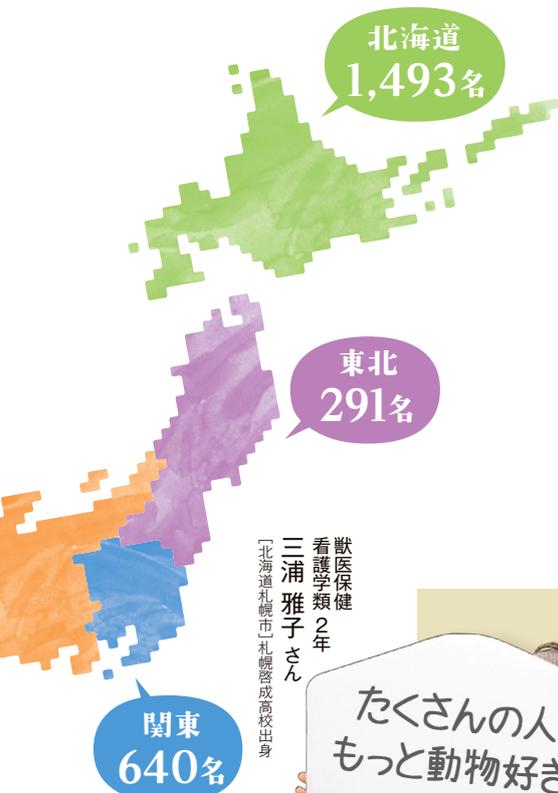
食と健康学類  
4年  
小松 侑生さん  
〔北海道七飯町〕大野農業高校出身

大農(母校)に  
帰って  
恩師に恩返し♪



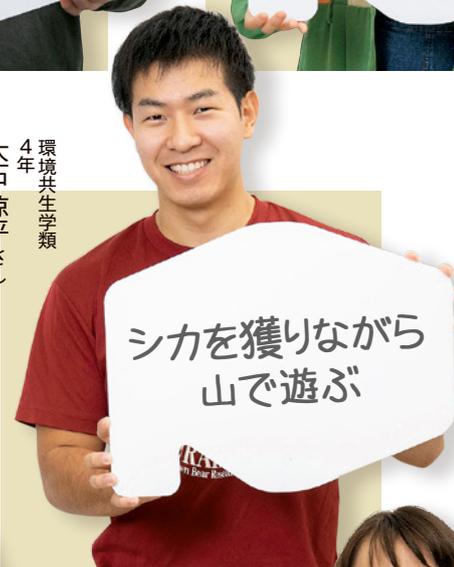
食と健康学類  
(管理栄養士コース)3年  
武佐 あやかさん  
〔北海道小樽市〕小樽潮陵高校出身

管理栄養士として  
みんなの健康を  
支えたい!



獣医保健  
看護学類 2年  
三浦 雅子さん  
〔北海道札幌市〕札幌啓成高校出身

たくさんの人を  
もっと動物好きに  
したい!



環境共生学類  
4年  
大石 涼平さん  
〔北海道釧路市〕釧路別高校出身

シカを獲りながら  
山で遊ぶ



循環農学類  
3年  
鈴木 星麗さん  
〔埼玉県〕筑波大学附属坂戸高校出身

動物との触れ合い  
を通してさまざまな  
人に情報発信



獣医学類  
1年  
長瀬 萌々子さん  
〔東京都〕国際基督教大学高校出身

広大な  
北の大地で  
馬と戯れたい!



獣医保健  
看護学類 4年  
中川 優さん  
〔北海道札幌市〕札幌舞子高校出身

笑顔の輪を  
広げたい!

環境共生学類  
4年  
津田 涼夏さん  
〔兵庫県〕甲子園学院高校出身



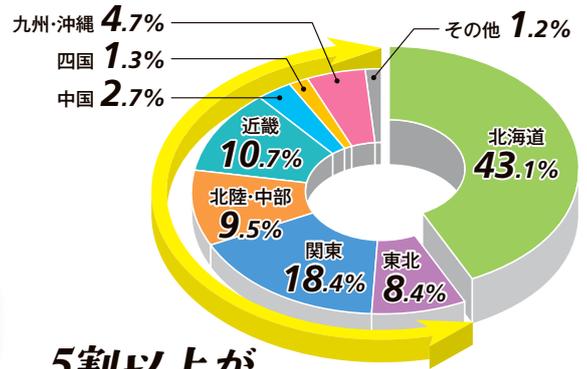
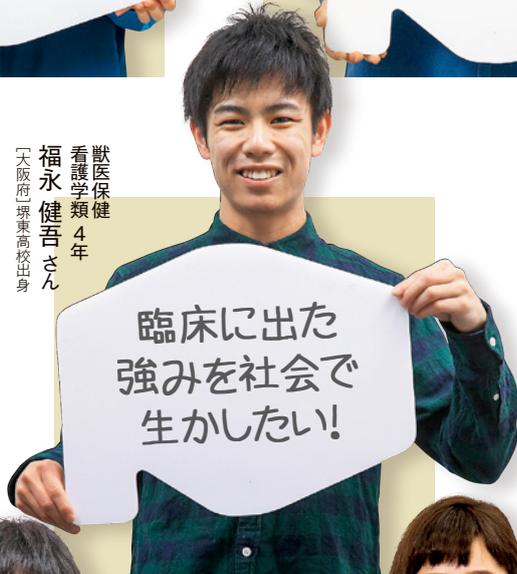
循環農学類  
3年  
山下 大智さん  
〔兵庫県〕兵庫県立農業高校出身



環境共生学類  
4年  
齋藤 優衣さん  
〔宮城県〕玉巻高校出身

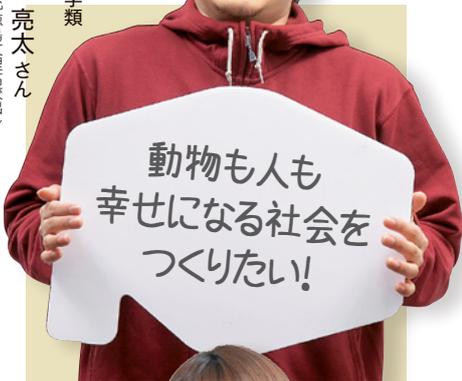


獣医保健  
看護学類 4年  
福永 健吾さん  
〔大阪府〕堺東高校出身

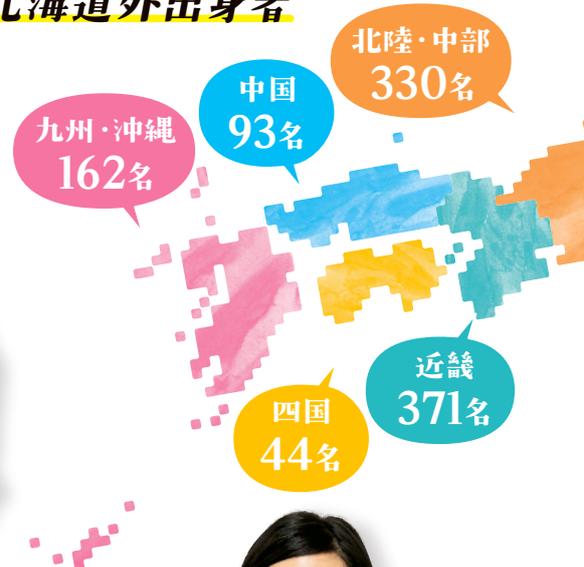


**5割以上が  
北海道外出身者**

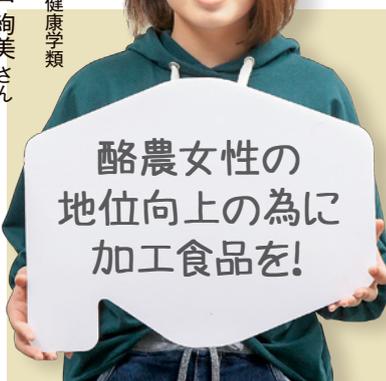
獣医学類  
3年  
田村 亮太さん  
〔徳島県〕徳島文理高校出身



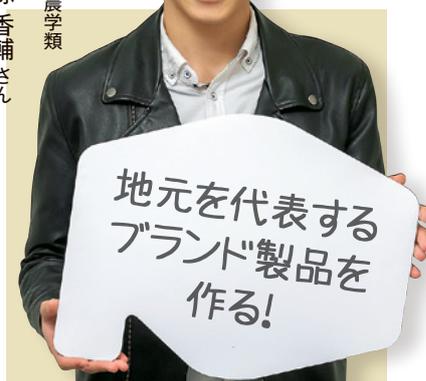
獣医学類  
6年  
杉田 千尋さん  
〔愛知県〕秀明高校出身



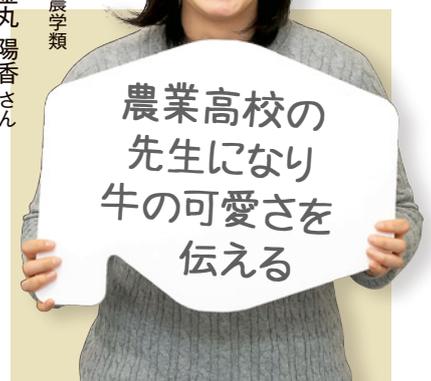
食と健康学類  
4年  
富田 絢美さん  
〔熊本県〕熊本マリスト学園高校出身



循環農学類  
2年  
高橋 香輔さん  
〔熊本県〕玉名高校出身



循環農学類  
3年  
小金丸 陽香さん  
〔福岡県〕糸島農業高校出身



## 学類イベント



**まずは受付**  
 学生コンシェルジュから  
 あなたに合った  
 「今日1日のスケジュール」を  
 提案してもらおう！きつとステキな  
 1日になります！！



## オープニングイベント



## 学食体験

お腹が空いたらおいしい  
 ランチ! アイスももらえる。



じっくり相談してみよう

### 学生相談



### 教員相談



### 入試相談



皆さんこんにちは🌟

オープンキャンパススタッフです👋

私たちは来てくれる方全員が笑顔で楽しかった!と思いながら帰れるオープンキャンパスを目標にしています🌟

これを見ている皆さんは今進路に悩んでいる真っ最中だと思いますが、大学案内見てワクワクした人!楽しそう👍と少しでも感じた人!この先輩に会ってみたい💖と思った人!是非オープンキャンパスや説明会に来て私たち学生と話してみてください👍 私たち学生は大学で体験してきたこと学んだこと良いところ悪いところ包み隠さず話します👍

遠いので北海道に行くのが不安、一人で行く人いるの? 学校までどうやって行けば...などオープンキャンパスや説明会に来る前に不安なことがある方は@rakuno\_oc (Twitter)まで気軽に連絡ください👍 私たち学生がお答えします👍

遠くてオープンキャンパスまで行けない...日程が合わない...でも話が聞きたい!そんな方の相談もお待ちしています👍

でもやっぱり直接会ってお話したいのが本心です👍なので、お時間のある方は北海道の観光がてらオープンキャンパスに来てみてください👍

最高に楽しいオープンキャンパスをお届けします👍

皆さんに会えるのを楽しみにしています💖



## 体験見学イベント



\*イベント内容は一部変更になる場合がございます。HPをご確認ください。

フォローしてね!



OCスタッフ Twitter



OCスタッフ Instagram

酪農学園大学 大学案内ムービー  
「動物たちの証言」

YouTubeで公開中!  
<https://youtu.be/LGdTsq8ChtU>



出張オープンキャンパス in 大阪

8/24<sup>土</sup>  
開催



出張オープンキャンパス in 東京

8/26<sup>月</sup>  
開催



第1回 オープンキャンパス

6/15<sup>土</sup>

第2回 オープンキャンパス

7/20<sup>土</sup> 21<sup>日</sup>

第3回 オープンキャンパス

9/21<sup>土</sup>

開催時間 各日とも10:00~16:00



**E**  
清温寮 (女子寮)  
詳しくは91ページをご覧ください



**D**  
黒澤記念講堂



**C**  
中央館  
(学生ロビー・学生ホール)



**B**  
附属動物医療センター  
詳しくは15ページをご覧ください



**A**  
酪農生産ステーション  
詳しくは20ページをご覧ください



**O**  
体育施設  
(トレーニングセンター)



**N**  
附属図書館



**M**  
実習棟



**L**  
作物生産ステーション  
詳しくは22ページをご覧ください



**K**  
D1号館



キャンパスマップ  
 私大トップクラスの敷地面積135万㎡  
 Campus Map



**J**  
C1号館



**I**  
希望寮(男子寮)  
詳しくは91ページをご覧ください



**H**  
食品加工実習室  
詳しくは17ページをご覧ください



**G**  
乳製品製造実験実習室  
詳しくは18ページをご覧ください



**F**  
B4号館



**S**  
肉畜生産ステーション  
所在地/北海道江別市元野幌1107  
詳しくは21ページをご覧ください



**R**  
酪農学園ホール



**Q**  
緑音館



**P**  
健身館  
(格技・体育系部室)



**Q**  
健身館



北海道立  
野幌総合運動公園

**B** 附属動物医療センター

野球場

**Q** 健身館 (格技・体育系部室)

グラウンド

**○** 体育施設 (トレーニングセンター)

**D** 黒澤記念講堂

**R** 緑音館

テニスコート

**P** 健身館

学生サービスセンター (キャリアセンター)

酪農学園本館 (入試広報センター)

**E** 清温寮 (女子寮)

**A** 酪農生産ステーション

バス停  
「酪農学園前」

至江別

公式Facebook



公式LINE



公式Instagram



公式Twitter



# ACCESS

JR札幌駅から  
乗車約13分



## 酪農学園大学への主な交通機関

### (1) 全国主要空港から

- 仙台空港～新千歳空港 (約70分)
- 伊丹空港～新千歳空港 (約105分)
- 羽田空港～新千歳空港 (約95分)
- 福岡空港～新千歳空港 (約135分)
- 中部国際空港～新千歳空港 (約105分)

### (2) 新千歳空港から

- 空港地下のJR新千歳空港駅から「快速エアポート」で
- JR新札幌駅 (約30分) 下車→(3) 参照
  - JR札幌駅 (約40分) 下車→(4) 参照

### (3) JR新札幌駅・札幌市営地下鉄新さっぽろ駅から

新札幌バスターミナルからジェイ・アール北海道バスまたは夕鉄バスの野幌・江別・南幌・あけぼの団地方面行きに乗り、とわの森三愛高校前または酪農学園前 (約15分) 下車、徒歩10分

### (4) JR札幌駅から

函館本線江別・岩見沢方面行き  
 「快速いしかりライナー」(約13分) または  
 「普通列車」(約20分) に乗り  
 JR大塚下車→JR大塚駅南口から徒歩約15分

### (5) 札幌市営地下鉄では

地下鉄東西線新さっぽろ駅下車→(3) 参照

### 酪農学園東京オフィス

〒100-0006  
 東京都千代田区有楽町2丁目10-1  
 東京交通会館11F 1112号  
 TEL : 03-6269-9955  
 FAX : 03-6269-9944

#### 【交通のご案内】

- JR有楽町駅 (京橋口、中央口 (銀座側))
- 地下鉄有楽町線 有楽町駅直結 (出口D⑧)
- (千代田線・都営三田線の日比谷駅と地下で連絡)
- 丸ノ内線・銀座線・日比谷線 銀座駅 (出口C⑨)



RAKUNO GAKUEN UNIVERSITY

# 酪農学園大学

- 農食環境学群 (循環農学類 | 食と健康学類 | 環境共生学類)
- 獣医学群 (獣医学類 | 獣医保健看護学類)
- 大学院 (獣医学研究科 | 酪農学研究科)

<https://www.rakuno.ac.jp>

〒069-8501 北海道江別市文京台緑町582番地

入試広報センター

TEL (011) 388-4138 ☎ 0120-771-663

FAX (011) 386-1220

【障がいのある方への支援について】 受験や就学については、事前にご相談ください。

酪農学園大学では、健康増進法の第25条に受動喫煙防止が規定されたことを受け、教育・研究・医療機関としての法の精神に鑑みて、2011年4月1日から敷地内を全面禁煙としています。